

SONY®

Camera Extension System

CBK-3621XS

SONY®

Camera Extension System

CBK-3621XS

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な
注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、

製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書 _____ **JP**Operating Instructions _____ **EN**Mode d'emploi _____ **FR**Bedienungsanleitung _____ **DE**Istruzioni per l'uso _____ **IT**Instrucciones de funcionamiento _____ **ES**使用说明书 _____ **CS**Инструкция по эксплуатации _____ **RU**Hướng dẫn vận hành _____ **VN**

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 異常な音、におい、煙が出たら
- 落下させたら



- ① 接続機器の電源を切る。
- ② 接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



指示

**撮影時は周囲の状況に注
意をはらう**

周囲の状況を把握しないまま撮
影を行うと、事故やけがなどの
原因となります。



禁止

運転中に使用しない

自動車やオートバイなどの運転
をしながら記録再生をすること
はおやめください。交通事故の
原因となります。



禁止

**内部に水や異物を入れな
い**

水や異物が入ると火災や感電の
原因となることがあります。万
一、水や異物が入ったときは、
すぐに電源を切り、電源コードや接続コード
を抜いて、ソニーのサービス担当者または営
業担当者にご相談ください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさいだまま使用す
ると、内部に熱がこもり、火災や
故障の原因となることがありま
す。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に損害を
与えることがあります。



禁止

**油煙、湯気、湿気、ほこ
りの多い場所には設置し
ない**

上記のような場所に設置する
と、火災や感電の原因となりま
す。



指示

安定した場所に設置する

ぐらついた台の上など不安定な
場所に置くと、機器が落下して
けがをすることがあります。



指示

**コネクターはきちんと接
続する**

- コネクター（接続端子）の内
部に金属片を入れないでくだ
さい。ピンとピンがショート
（短絡）して、火災や故障の
原因となることがあります。
- コネクターは真っ直ぐに差し込んで接続し
てください。斜めに差し込むと、ピンとピ
ンがショート（短絡）して、火災や故障の
原因となることがあります。
- コネクターに固定用のスプリングやネジが
ある場合は、それを用いて確実に固定して
ください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクターには必ずアース
を接続してください。



指示

**コード類は正しく配置す
る**

電源コードや接続ケーブルを足
に引っかけると、本機の落下や
転倒などによりけがをすること
があります。



指示

指定された取り付け方法 で設置する

指定以外の取り付け方法で設置すると、強度不足により機器が落下してけがをすることがあります。



指示

機器や部品を正しく取り 付ける

別売り機器や部品の取り付け方法を誤ると、機器が落下してけがをすることがあります。別売り機器や部品を取り付けるときは、マニュアルどおりに確実に取り付けてください。



禁止

2 台以上積み重ねない

ラックを使用せずに 2 台以上積み重ねると、機器が落下してけがをすることがあります。



指示

雷が鳴り出したら、使用 を中止する

落雷すると、感電のおそれがあります。雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して本機から離れてください。



指示

運搬するときは、ハンド ルを持つ

ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因となることがあります。



手を挟ま
れないよう注意

指のはさみ込みに注意 する

本機のパネルを開閉するときには、指を挟まないように注意してください。パネルを開いたときは、マニュアルの指示にしたがい、パネルを正しく固定してください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



プラグをコン
セントから抜く

お手入れの際は AC アダプターのプラグ をコンセントから抜 く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

保管するときは安定した 場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。

日本語

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



このシンボルは、「注意：詳細は取扱説明書を参照してください。」ということを意味します。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

注意

この製品は、以下のポートで3メートル未満の接続ケーブルを使用した場合にEMC規制で定められた制限に準拠していることがテストで確認されています:

- 24 V OUT
- LENS META IN

警告

本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

注意

本製品に対し光学機器を使用すると、目に対する危険が高まります。



JIS C6802:2014
クラス1 レーザー製品

使用上のご注意

- 本機を使用するにはカメラ（本体）を以下のソフトウェアバージョンにしてください。
MPC-3628/MPC-3626：V4.0以降
バージョンアップは、本機を取り外して元に戻した状態で行ってください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。
- NDフィルターの検出スイッチの寿命は約5年です。
- カメラ本体およびセンサーブロックとの結合コネクタにゴミやほこりが付着したままの使用は故障或不具合の原因となります。保管するときはゴミの付着を防止してください。
- ファンは有寿命部品として定期的な交換が必要です。
5年を目安に交換してください。
(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はサービスにご相談ください。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

ご注意

撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したように見えることがあります。

NDフィルターに関する注意事項

● クリーニング方法

表面についたほこりやごみはブラシ、柔らかいハケを使って取るか、プロアーを使って吹き飛ばしてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、軽く拭きとってください。

● 保管方法

NDケースに入れて保管してください。

- NDフィルターを直射日光に長時間放置すると、特性劣化や性能劣化の原因になります。

特長

CBK-3621XSは、別売のMPC-3628/MPC-3626と接続できるイメージャー延長キットです。

イメージャーの性能を落とすことなく延長できるため、多彩な撮影状況に対応できます。

- **最大12 mまで延長可能**

MPC-3628/MPC-3626のイメージャーブロックを取り外して、CBK-3621XSを装着することにより、4.5 mに延長して使用することができます。また、CBK-12C3621（別売）を装着することにより、12 mに延長して使用することができます。

- **ドロップイン式NDフィルターに対応**

9種類のNDフィルター（Clear、0.3、0.6、0.9、1.2、1.5、1.8、2.1、2.4）を取り換えて使用することができます。

- **PLマウント/Eマウントレンズに対応**

本機にPLマウントレンズまたはEマウントレンズを取り付けて使用できます。MPC-3628/MPC-3626と同じレンズに対応しています。

- **外部機器との接続に対応**

イメージャー信号だけでなく、イメージャーブロック側に24 V電源を伝送することによりレンズサーボの電源に使用できます。

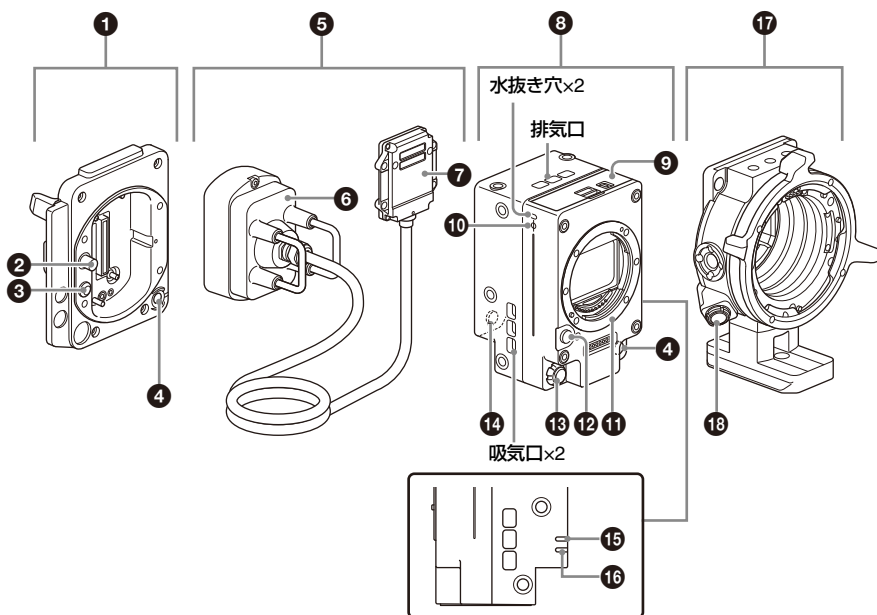
- **レンズメタデータ入力に対応**

レンズメタデータを入力することにより、外部からレンズ情報を取得できます。

- **8.6K CMOSイメージセンサーを搭載**

MPC-3628と同じイメージセンサーを搭載しているため、MPC-3628の設定値を基準に運用できます。

各部の名称と働き



① カメラボディアダプター

カメラ本体に取り付けてイメージャブロックを延長するためのアダプターです。

② MONITOR IN端子 (BNC型)

使用できません。

③ 24 V IN端子 (Fischer 3ピン)

イメージャブロックアダプターに外部電源を供給するためのDC電源入力端子です。

④ ASSIGN 3 (アサインナブル3) ボタン

押すたびに、割り当てられた機能のオン(有効)とオフ(無効)を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。割り当てられた機能がオン(有効)または起動している場合はオレンジ色に点灯します。

機能の割り当て方法については、MPC-3628/MPC-3626の取扱説明書をご覧ください。

⑤ 着脱式ケーブル

カメラボディアダプターとカメラヘッドを接続するための着脱式の延長ケーブル(4.5 m)です。

⑥ レシーバー

カメラボディアダプターに接続する受信アダプターです。

⑦ トランシーバー

カメラヘッドに接続するアダプターです。

⑧ カメラヘッド

8.6K CMOSイメージセンサーを搭載したイメージャーブロックです。

⑨ NDフィルタースロット部

付属のNDフィルターを挿入するスロットです。

⑩ φ (ファイ) マーク

φ (ファイ) マークがイメージセンサー面の位置になります。

本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークの位置を参考にしてください。

⑪ Eマウント部

⑫ レンズ取り外しボタン

⑬ 24 V OUT端子 (Fischer 3ピン)

外部電源出力用端子です。

カメラボディアダプターの24 V IN端子に接続した電源が出力されます。

レンズサーボなどの外部機器の電源として接続できます。また、REC Trigger信号を入力することができます。

ご注意

- 出力電流と着脱式ケーブルの長さにより、この端子から出力される電源は24 V IN端子に接続した電源よりも電圧が低下する場合があります。
 - 着脱式ケーブル 4.5 m : 1 A 出力で約 0.50 V 低下、2 A 出力で約 1.00 V 低下
 - 着脱式ケーブル 12 m (別売) : 1 A 出力で約 1.40 V 低下、2 A 出力で約 2.80 V 低下
- Fischer 3ピンの仕様についてはMPC-3628/MPC-3626の取扱説明書を参照してください。

⑭ ASSIGN 5 (アサインabl5) ボタン

押すたびに、割り当てられた機能のオン (有効) とオフ (無効) を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。割り当てられた機能がオン (有効) または起動している場合はオレンジ色に点灯します。

機能の割り当て方法については、MPC-3628/MPC-3626の取扱説明書をご覧ください。

⑮ LED (赤)

RECランプおよびエラー、ワーニング表示として機能します。

⑯ LED (緑)

電源起動時に点灯します。

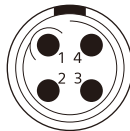
⑰ PLマウントアダプター

⑱ LENS META IN端子 (LEMO 4ピン)

レンズメタデータの入力端子です。

本機で使用しているコネクタ:

LEMO製 EGG.0B.304.CLL



No.	信号
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

通信プロトコル: Cooke/i

通信レベル: RS232C

適用コネクタ例 (参考):

LEMO製 FGG.0B.304.CLAD56

ご注意

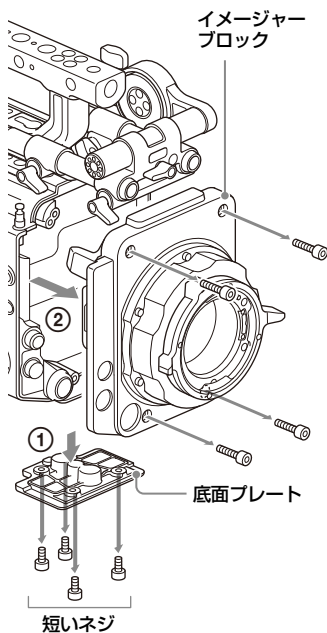
- アクセサリ取り付けネジ穴については巻末を参照してください。
- 接続時は本機と接続する機器の両方の電源をオフにしてから接続してください。
- 必ずRS232C対応のレンズメタデータ通信機器と正しく接続してください。信号を誤接続すると機器が破損する可能性があります。

カメラに取り付ける

ご注意

- 本機の取り付け/取り外しは、カメラの電源を切ったあと30分以上待って内部温度が十分に冷めた状態で行ってください。
また、カメラやアダプターの内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- 端子や部品を破損しないよう注意して取り付けてください。
- 各アダプターの端子にほこりなどが付着していると伝送エラーが発生します。この場合は、端子をクリーニングしてください。

- 1 底面の六角ネジ（4本）を外して底面プレートを取り外し（①）、前面の六角ネジ（4本）を外してカメラ本体からイメージャーブロックを取り外す（②）。

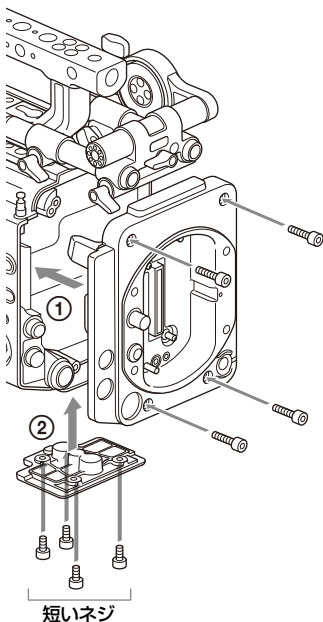


ご注意

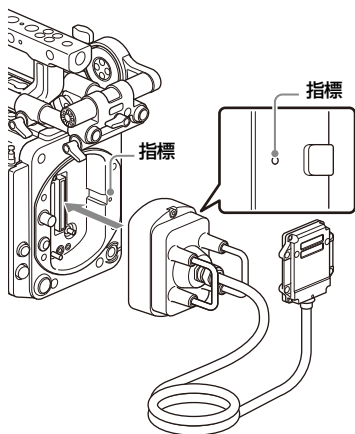
取り外したイメージャーブロックを置くときは、レンズ側を下向きにして置いてください。ヒートシンク側を下向きにして置くとフランジバック長が変化するおそれがあります。

- 2 カメラボディにアダプターを取り付け（①）、底面プレートを取り付ける（②）。

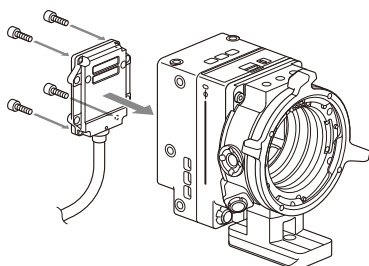
真っ直ぐに取り付け、六角レンチを使用して、手順2で外した六角ネジ（8本）を締め付けます（締め付けトルク $1.4\text{N} \cdot \text{m}$ ）。



- 3** カメラボディアダプターに着脱式ケーブルのレシーバーを取り付ける。
レシーバーの側面の指標を合わせて真っ直ぐに取り付け、六角レンチを使用して、六角ネジ（2本）を締め付けます（締め付けトルク $1.4\text{N}\cdot\text{m}$ ）。



- 4** カメラヘッドに着脱式ケーブルのトランシーバーを取り付ける。
真っ直ぐに取り付け、六角レンチを使用して、同梱の六角ネジ（4本）を締め付けます（締め付けトルク $1.4\text{N}\cdot\text{m}$ ）。



ご注意

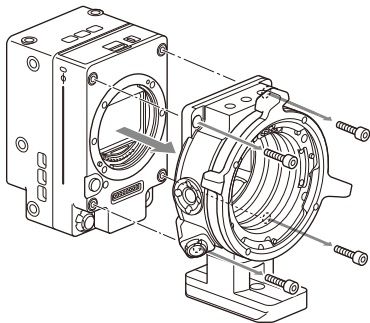
カメラボディアダプタや着脱式ケーブル、カメラヘッドがしっかり取り付けられていない場合は、MPC-3628/MPC-3626が起動しません。しっかりと取り付けてください。

カメラから取り外すには

- 1 カメラヘッドからトランシーバーを取り外す。
- 2 カメラボディアダプターからレシーバーを取り外す。
- 3 カメラ本体からカメラボディアダプターを取り外す。
- 4 イメージャブロックをカメラ本体に取り付ける（締め付けトルク $1.4\text{N}\cdot\text{m}$ ）。

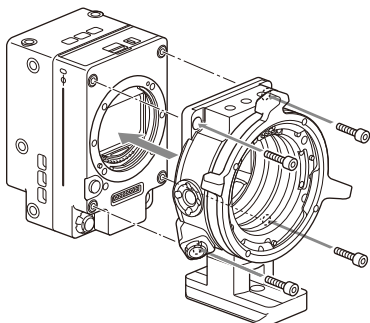
PLマウントアダプターを取り外す

六角レンチを使用して、六角ネジ（4本）を外し、カメラヘッドからPLマウントアダプターを取り外します。



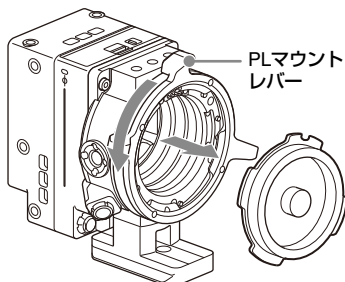
PLマウントアダプターを取り付けるには

真っ直ぐに取り付け、六角レンチを使用して、同梱の六角ネジ（4本）を締め付けます（締め付けトルク1.4N・m）。



PLマウントレンズを取り付ける

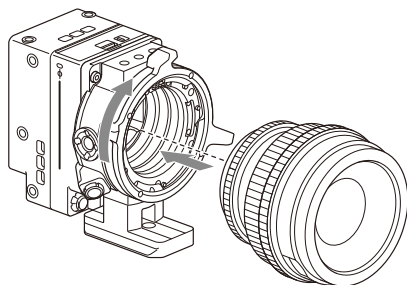
- 1 PLマウントレバーを反時計方向に回して、レンズマウントからマウントキャップを外す。



ご注意

PLマウントレバーを反時計回りにストッパーの位置まで回してください。

- 2 レンズマウント上面右の位置決めピンに、レンズの凹部を合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 3 レンズを支えながら、PLマウントレバーを時計方向に回して、レンズを固定する。



ご注意

PLレンズを装着の際は、レンズを回さないでください。レンズを回すと、ホットシューピン折れの原因となります。

Cooke /i レンズを取り付けるには
レンズ側のコンタクトと本機側のホットシューの位置を合わせてください。

レンズを取り外すには

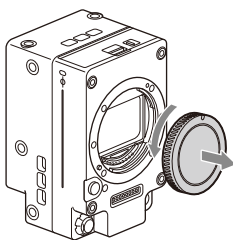
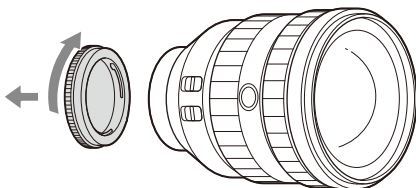
- 1 レンズを下から支えて、PLマウントレバーを反時計方向に回す。
- 2 レンズを前方に引き抜く。

ご注意

- 別のレンズをすぐに取り付けないときは、マウントキャップの凹部を確実に合わせて、PLマウントレバーを時計方向に回して固定してください。
- レンズとのIF通信を正しく行うために、MPC-3628/MPC-3626でLens Configurationの設定を、使用するレンズに合わせて設定してください。設定方法については、MPC-3628/MPC-3626の取扱説明書をご覧ください。

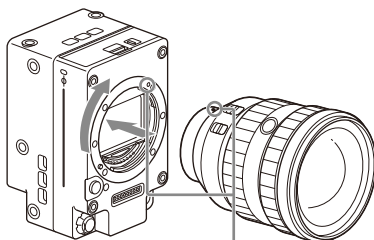
Eマウントレンズを取り付ける

- 1 本体とレンズから、キャップやカバーを外す。



- 2 本体とレンズのマウント標点（白色）を合わせ、レンズを軽く本体に押し付けながら、時計方向にゆっくり回す。

「カチッ」と音がしてロックし、取り付けが完了します。



マウント標点（白色）

ご注意

レンズを取り付けるときは、レンズリリースボタンを押さないでください。

レンズを取り外すには

次の手順で取り外してください。

- 1 レンズリリースボタンを押したまま、レンズをしっかり支えながらレンズを反時計方向に回す。
- 2 レンズを前方に引き抜く。

ご注意

- レンズを取り外すときは、レンズロックリングの標点と本体の標点を揃えてください。
- レンズを落とさないように、レンズを手でしっかりと持って取り外してください。
- 別のレンズをすぐに取り付けないときは、必ずボディキャップを取り付けてください。

フランジバックを調整する

本機はフランジバックを調整した状態で出荷しています。フランジバックの調整を行いたい場合は、レンズマウントを取り外し、シムを適切な厚みのものと交換してください。0.01 mm単位で±0.1 mmの調整ができます。

シムについて

本機には以下のシムが同梱されています

0.05 mm × (1 円弧型)

0.01 mm × 15 (1/3円弧型)

1/3円弧型シムは3枚組でご使用ください。

フランジバックを長く調整する場合は、シムを挿入してください。本機は出荷時に以下の3種類のシムによってフランジバックを調整した状態で出荷しています。

0.10 mm (円弧型)

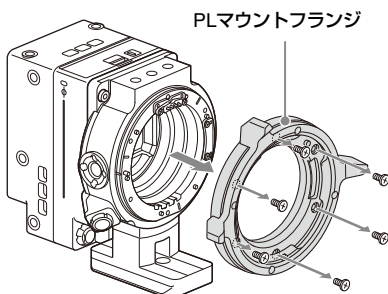
0.05 mm (円弧型)

0.01 mm (1/3円弧型)

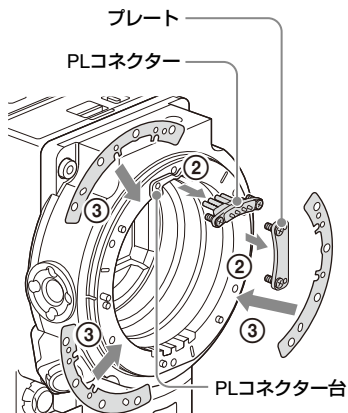
また、出荷時のシム厚みを示すシールが貼られています。

フランジバックの調整

- 1 トルクスネジ (6本) を外してPLマウントフランジを取り外す。

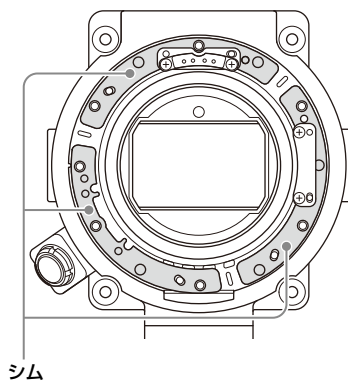


- 2 PLコネクターとプレートの十字ネジ (4本) を緩めてPLコネクターとPLコネクター台、プレートを取り外す。
- 3 PLマウントアダプター (3か所) にシムを取り付ける。



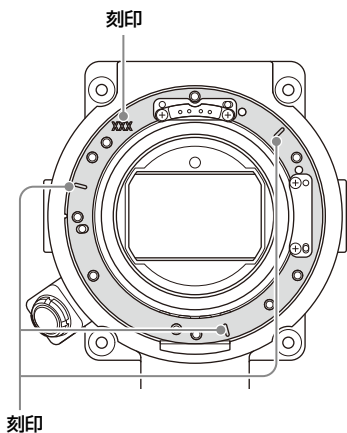
1/3円弧型のシムを使用する場合

3か所とも同じ厚みになるようにシムを取り付けます。



円弧型のシムを使用する場合

刻印がある面を表にして取り付けます。



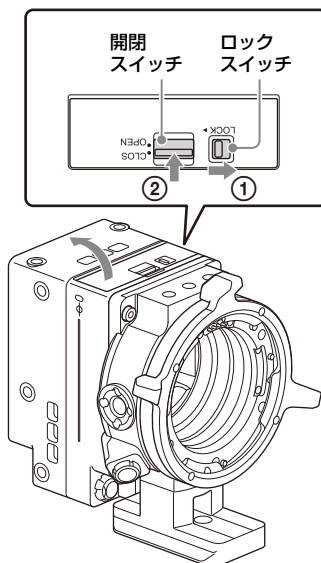
NDフィルターを取り出す

ご注意

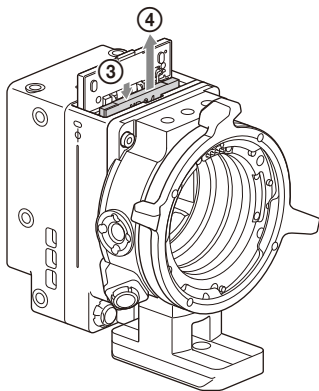
フィルターにキズや指紋汚れなどを付けないよう、表面を直接触らないようにしてください。取り付け/取り外しの際は、枠を持って行ってください。

1 NDフィルタースロット部のカバーを開ける。

ロックスイッチを右に押し、ロックを解除し ①、開閉スイッチを奥に押し「OPEN」側にします ②。
わずかにNDフィルターが押し出されています。



- 2 NDフィルターを軽く押す (③)。
ロックが解除され、NDフィルターが完全に押し出されます。
- 3 NDフィルターを取り出す (④)。

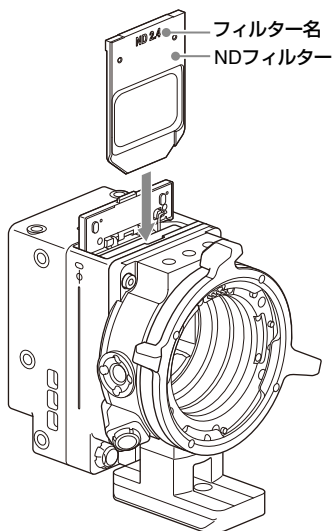


ご注意

NDフィルターを押し込むと再度ロックします。ロックした場合は、NDフィルタースロット部のカバーを一度閉めて手順1からやり直してください。

NDフィルターを入れる

- 1 NDフィルタースロット部のカバーを開ける。
- 2 NDフィルターを、フィルター名が記載されている面を前にしてNDフィルタースロットに差し込み、「カチッ」と音が鳴るまで押し込む。
NDフィルターの上下の向きと表裏に注意して、下図のように差し込んでください。



- 3 カバーを閉め、開閉スイッチを「CLOSE」側にする。
カバーを閉める際、わずかにNDフィルターが押し出されますが故障ではありません。
- 4 ロックスイッチを左に押ししてロックする。

ご注意

- 挿入したNDフィルターの濃度が、カメラ本体のビューファインダー・モニター画面に表示されます。
- NDフィルターが未挿入の場合や、NDフィルターの種別が認識できない場合は、カメラ本体

のサブディスプレイ画面にメッセージが表示されRECランプが点滅します。

起動時間について

MPC-3628/MPC-3626本体とCBK-3621XSを初めて接続したとき、プロジェクトフレームレートおよびイメージャーモードの設定によって、カメラが起動するまでに5分程度の時間がかかる場合があります。

APR動作時間について

APR (Auto Pixel Restoration) 完了後、データ保存に120秒程度の時間がかかります。そのため、この間に電源を切っても、電源がオフになるまでに120秒程度の時間がかかります。また、設定変更を行うことによってリポートが発生した場合は、リポート動作が120秒程度長くなります。

点検と保守について

撮影前の点検について

撮影する前に本機の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。

お手入れについて

外装の汚れや取り付け・取り外しで生じた金属粉などは乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。ブローヤーによるお手入れは行わないでください。空気中に含まれるほこりなどが部品に入り込み、故障の原因となることがあります。また、エアダスターなどの高風圧機器を使ったお手入れは光学部位の損傷につながりますのでお控えください。

- カメラ本体およびセンサーブロックとの結合コネクタにゴミやほこりが付着したままの使用は故障や不具合の原因となります。保管するときはゴミの付着を防止してください。
- ポゴピンタイプのコネクタは端子部が汚れると接触不良を起こし、動作不良の原因となります。エラーが発生した場合は、柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- ケーブルの巻き取りは順巻きをした場合、ねじれや絡まりが発生することがありますので、8の字巻きで巻き取りしてください。

接続機器についてのご注意

- CBK-3621XS接続時、ソニー製オーディオワイヤレスレシーバーは使用できません。

ケーブルの取り扱いに関するご注意

- ケーブルを強く押しつぶしたり、強く折り曲げたり、傷つけたりしないでください。
- ケーブルが強く捻れないように、ケーブルの巻き取り時および設置時に注意してください。
- ケーブル動作保証最小径 ϕ ：45 mm以上

仕様

一般

消費電力

最大約15 W (5.5K 2.39:1 120FPS)

動作温度

0 °C~40 °C

保存温度

-20 °C~+60 °C

外形寸法

巻末を参照

質量

カメラヘッド

約0.54 kg

カメラヘッド+PLマウントアダプター

約1.05 kg

ケーブル4.5 m

約0.86 kg

カメラボディアダプター

約0.36 kg

入出力端子

24 V IN端子 (Fischer 3ピン) (1)

24 V OUT端子 (Fischer 3ピン) (1)

LENS META IN端子 (LEMO 4ピン)

(1)

付属品

NDフィルター (9)

シム (円弧型) (1) (4-730-328-11)

シム (1/3円弧型) (15) (4-730-328-21)

Eマウントレンズキャップ (1)

PLマウントレンズキャップ (1)

レシーバー用ネジ (2) (5-000-390-02)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- **調子が悪いときは**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときは**
お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

FOR CUSTOMERS IN CANADA (INCLUDING IN THE PROVINCE OF QUEBEC)

ALL INSTRUCTIONS AND STATEMENTS WHICH ARE NECESSARY FOR CANADIAN CUSTOMERS ARE PROVIDED IN ENGLISH AND FRENCH. OTHER INSTRUCTIONS AND STATEMENTS NOT PROVIDED IN ENGLISH AND FRENCH ARE NOT FOR CANADIAN CUSTOMERS (INCLUDING IN THE PROVINCE OF QUEBEC).

This equipment is not suitable for use in locations where children are likely to be present.



This symbol means "Caution: Please refer for further information to the user manual."

Caution

This product has been tested and found compliant with the limits set out in the EMC regulation when using connection cables shorter than 3 meters for the following port(s):

- 24 V OUT
- LENS META IN

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if

not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

If you have any questions about this product, you may call: Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>

Supplier's Declaration of Conformity

Trade Name	: SONY
Model	: CBK-3621XS
Responsible party	: Sony Electronics Inc.
Address	: 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number	: 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

WARNING

Operation of this equipment in a residential environment could cause radio interference.

Not intended for use in residential environments.

ATTENTION

The electromagnetic fields at the specific frequencies may influence the picture and sound of this unit.

For the customers in Europe

This apparatus shall not be used in the residential area.

Information for CU LI TR
Product name: Filter Case

Model name: FILTER CASE_A

Country or region of manufacturing:
Vietnam

Material: polyester/synthetic leather

Caution

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.

Caution

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.



IEC 60825-1:2014
CLASS 1 LASER
PRODUCT

2235 Sheppard Avenue East, Suite
700, Toronto, Ontario M2J 5B5,
Canada

주의

본 제품은 다음 포트에 3 m 미만의 연결 케이블을 사용할 때 EMC 규정에 명시된 제한 사항을 준수하는 것으로 테스트되고 확인되었습니다.

- 24 V OUT
- LENS META IN

경고문

특정 주파수에서 전자장치가 본 기기의 영상 및 사운드에 영향을 미칠 수 있습니다.

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

식별부호 : R-R-SOK-CBK-3621XS
제품명칭 : Camera Extension System
모델명 : CBK-3621XS
제조사 : Sony Corporation
상호 : 소니코리아(주)
제조년월 : 포장 상자에 표시
Made in Japan

Увага!

Цей виріб було перевірено та визнано таким, що відповідає обмеженням, встановленим у регламенті щодо електромагнітної сумісності, у разі використання з'єднувальних кабелів коротше 3 метрів для наступних портів:
- 24 V OUT
- LENS META IN

The distributor in Canada:
Sony of Canada ULC

Reduction in the Use of Hazardous Substances in Electrical & Electronic Equipment (Applicable in Republic of India)

This product and its components, consumables, parts or spares comply with the hazardous substances restriction of India's E-Waste (Management) Rules. The maximum allowable concentrations of the restricted substances are 0.1% by weight in homogenous materials for Lead, Mercury, Hexavalent Chromium, Polybrominated Biphenyls (PBB) and Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE), and 0.01% by weight in homogenous materials for Cadmium, except for the exemptions specified in Schedule II of the aforesaid Rules.

For the customers in the U.S.A.

SONY LIMITED WARRANTY- Please visit www.sony.com/psa/warranty for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Canada

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit www.sony.com/psa/warranty for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Europe

Sony Europe B.V. - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty. Please visit <https://pro.sony/support-services/primesupport/support-professional-solutions-europe-standard-product-warranty> for important information and complete terms and conditions.

For the customers in Korea

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit https://pro.sony/ko_KR/support-services for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

WARNING

Failure to follow these precautions may result in death or serious injury due to fire or electric shock.

- Shooting without being aware of your surroundings may result in accidents or injuries.
- Do not record or play video while driving a car or motorcycle. This may cause traffic accidents.
- Water or foreign objects entering the unit may cause a fire, electric shock, or injury. If water or foreign objects enter the unit, immediately turn off the unit, remove the power cord and connection cords, and contact your Sony service or sales representative.
- If the ventilation holes are blocked during use, heat will accumulate inside the unit and may cause a fire or malfunction.

CAUTION

Failure to follow these precautions may result in injury due to electric shock or accidents, or cause damage to surrounding objects.

- Installing the unit in locations, such as those above, may result in fire or electric shock.
- Placing the unit on an unstable surface, such as a wobbly stand, may cause the unit to fall and result in injury.
- Do not insert any metallic objects into the connectors (connection terminals). Doing so may cause a short-circuit between pins and result in a fire or malfunction.
- Insert connectors straight in when connecting cables. Inserting connectors at an angle may cause a short-circuit between pins and result in a fire or malfunction.
- If a connector has a locking spring or screw, use it to securely fasten the connector in place. This will prevent poor connection.
- Connect connectors with a ground wire to ground.
- Tripping over the power cord or connection cables may cause the unit to fall and result in injury.
- Mounting the unit using a method other than that specified may cause the unit to fall due to insufficient strength and result in injury.
- Attaching optional devices or parts incorrectly may cause the unit to fall and result in injury. When attaching optional devices or parts, be sure to attach them exactly as described in the manual.
- Stacking two or more units without using a rack may cause the unit to fall and result in injury.
- If lightning strikes, there is a risk of electric shock. If you hear nearby thunder, immediately stop using the unit and move away from it.

- Carrying the unit by holding any part other than the handle may cause the unit to fall and result in injury.
- When opening or closing the panel of this unit, be careful not to pinch your fingers. When opening the panel, be sure to properly secure it as described in the manual.
- Disassembling or modifying the unit may cause a fire, electric shock, or injury. For internal inspection or repairs, contact the store where you purchased the unit or your Sony service representative.
- Cleaning the unit while it is connected to the power supply may result in electric shock.
- Storing the unit on an unstable or inclined surface may cause the unit to fall and result in injury.

Usage Precautions

- The camera must be updated to the following software version or later to use this unit.
MPC-3628/MPC-3626: V4.0 or later
Disconnect the unit and reassemble the camera to its normal state before updating.
- Do not leave the unit in a location exposed to direct sunlight. Sunlight may be focused on nearby objects and cause a fire. If leaving the unit exposed to direct sunlight is unavoidable, always attach the lens cap.
- If the unit is suddenly taken from a cold to a warm location, or if ambient temperature suddenly rises, moisture may form on the outer surface of the unit and/or inside of the unit. This is known as condensation. If condensation occurs, turn off the unit and wait until the condensation clears before operating the unit. Operating the unit while condensation is present may damage the unit.
- The life expectancy of the ND filter detection switch is about 5 years.
- Using the unit with dirt or dust adhering to the connector between the camera body and sensor block may cause a failure or malfunction. When storing, be careful not to let dirt accumulate.
- The fan is a consumable part that will need periodic replacement.
When operating at room temperature, a normal replacement cycle will be about 5 years (8 hours per day; 25 days per month). If usage exceeds the above normal usage frequency, the life expectancy may be reduced correspondingly.
However, this replacement cycle represents only a general guideline and does not imply that the life expectancy of this part is guaranteed. For details on parts replacement, contact your dealer.

To prevent electromagnetic interference from portable communications devices

The use of portable telephones and other communications devices near this unit can result in malfunctions and interference with audio and video signals.

It is recommended that the portable communications devices near this unit be powered off.

Camera CMOS image sensor phenomena

Note

The following phenomena that may occur in images are specific to image sensors. They do not indicate a malfunction.

White flecks

Although the image sensors are produced with high-precision technologies, fine white flecks may be generated on the screen in rare cases, caused by cosmic rays, etc.

This is related to the principle of image sensors and is not a malfunction.

The white flecks especially tend to be seen in the following cases:

- When operating at a high environmental temperature
- When you have raised the gain (sensitivity)

Flicker

If shooting under lighting produced by fluorescent lights, sodium lamps, mercury-vapor lamps, or LEDs, the screen may flicker or colors may vary.

Precautions relating to the ND filters

- **Cleaning method**
Remove dust and dirt from the surface with a soft brush or with an air blower. If the surface is very dirty, moisten a soft cloth or lens tissue with lens cleaner and gently wipe the surface.
- **Storage method**
Store in an ND filter case.
- **Exposing the ND filter to direct sunlight for long intervals can cause the characteristics and performance to degrade.**

Features

The CBK-3621XS is an imager extension kit that can be connected to an MPC-3628/MPC-3626 (sold separately).

The extension can be used in various shooting situations without degrading the performance of the imager.

- **Extension up to 12 m (39.4 ft)**

The CBK-3621XS attaches between the MPC-3628/MPC-3626 and the imager block to extend the block by approximately 4.5 m (14.8 ft). You can also extend to 12 m (39.4 ft) by attaching the CBK-12C3621 (option).

- **Supports drop-in type ND filters**

Nine interchangeable-type ND filters (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4) are supported.

- **Supports PL-mount/E-mount lens**

The unit can be used with a PL-mount or E-mount lens. It supports the same lenses as the MPC-3628/MPC-3626.

- **Supports connection with external devices**

In addition to the imager signal, it relays 24 V power to the imager block which can be used to power a lens servo.

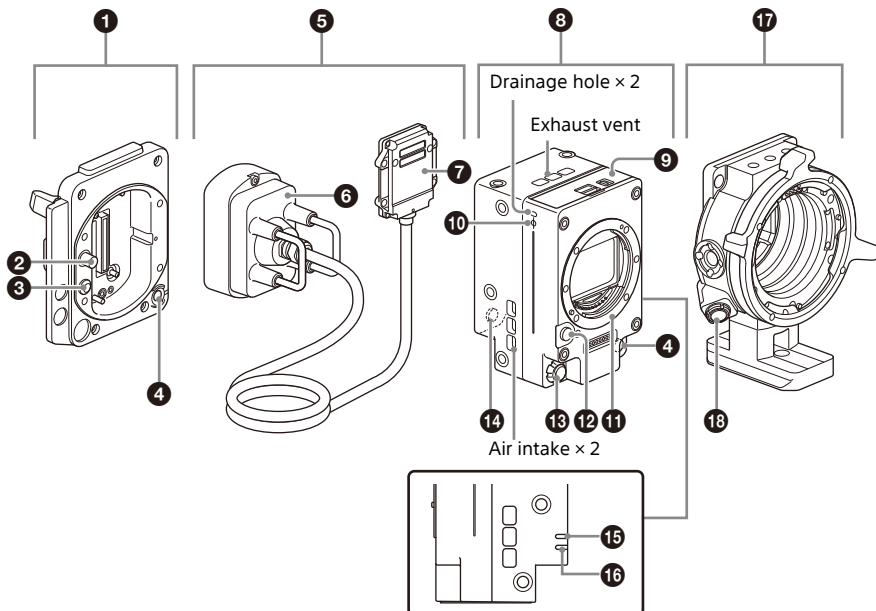
- **Supports lens metadata input**

Lens information can be obtained by inputting lens metadata from an external source.

- **Equipped with an 8.6K CMOS image sensor**

Equipped with the same image sensor as the MPC-3628, allowing the unit to be operated based on the settings of the MPC-3628.

Location and Function of Parts



❶ Camera body adaptor

Adaptor that attaches to the camera body to extend the imager block.

❷ MONITOR IN connector (BNC type)

Not supported.

❸ 24 V IN connector (Fischer 3-pin)

DC power supply input connector that supplies the external power supply to the imager block adaptor.

❹ ASSIGN (assignable) button 3

Toggles the assigned function between on/off (enable/disable) or activates the function with each press.

The lamp is lit orange when the assigned function is on (enabled) or activated.

For details about function assignment, refer to the MPC-3628/MPC-3626 Operating Instructions.

❺ Detachable cable

4.5 m detachable extension cable for connection between the camera body adaptor and camera head.

❻ Receiver

Receiver adaptor that connects to the camera body adaptor.

❼ Transceiver

Adaptor that connects to the camera head.

❽ Camera head

Imager block equipped with an 8.6K CMOS image sensor.

9 ND filter slot block

Slot for inserting the supplied ND filters.

10 ϕ (phi) mark

The ϕ (phi) mark indicates the position of the image sensor surface.

Use this mark as a reference to accurately measure the distance from the camera to the subject.

11 E-mount block

12 Lens release button

13 24 V OUT connector (Fischer 3-pin)

External power supply output connector. It outputs the power supply connected to the 24 V IN connector of the camera body adaptor.

It can be connected as an external power supply for a lens servo or other device. It can also be used to input a REC Trigger signal.

Notes

- Depending on the output current and the length of the detachable cable, the voltage of the power supply output from this connector may be lower than the voltage of the power supply connected to the 24 V IN connector.
 - Detachable cable (4.5 m (14.8 ft)):
Approximately 0.50 V drop at 1 A output or 1.00 V drop at 2 A output
 - Detachable cable (12 m (39.4 ft)) (option):
Approximately 1.40 V drop at 1 A output or 2.80 V drop at 2 A output
- For details about Fischer 3-pin connector specifications, refer to the MPC-3628/MPC-3626 Operating Instructions.

14 ASSIGN (assignable) button 5

Toggles the assigned function between on/off (enable/disable) or activates the function with each press.

The lamp is lit orange when the assigned function is on (enabled) or activated.

For details about function assignment, refer to the MPC-3628/MPC-3626 Operating Instructions.

15 LED (red)

Functions as REC lamp and error/warning indicator.

16 LED (green)

Lit when the power supply is on.

17 PL-mount adaptor

18 LENS META IN connector (LEMO 4-pin)

Lens metadata input connector. Connector used on the unit: LEMO EGG.0B.304.CLL



No.	Signal
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Communications protocol: Cooke/i

Communications levels: RS-232C

Typical compatible connector (reference only): LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Notes

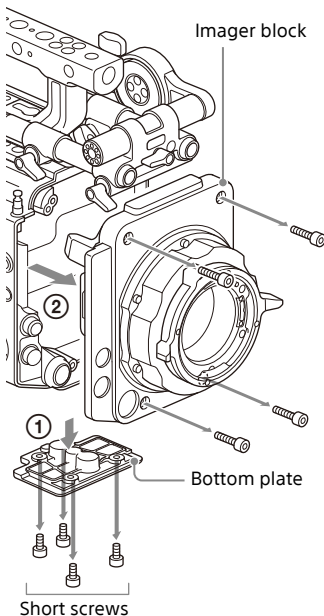
- For details about accessory mounting holes, see the external dimensions drawing at the back of this document.
- Before connecting, turn off both the unit and the device to which you are connecting.
- Be sure to connect an RS-232C compatible lens metadata communications device correctly. Incorrect signal connection may damage the device.

Attaching to the Camera

Notes

- Turn off the camera and wait 30 minutes or longer to allow it to cool sufficiently before attaching/removing the unit. Perform the operation quickly in a dust-free location to prevent dust and other matter from entering the camera and adaptors.
- Take care not to damage the connectors and parts.
- A data transfer error may occur if there is any dust or other matter adhering to the adaptor connectors. If this occurs, clean the connector.

- 1 Remove the four hex screws on the bottom and remove the bottom plate (①), then remove the four hex screws on the front and remove the imager block from the camera body (②).**

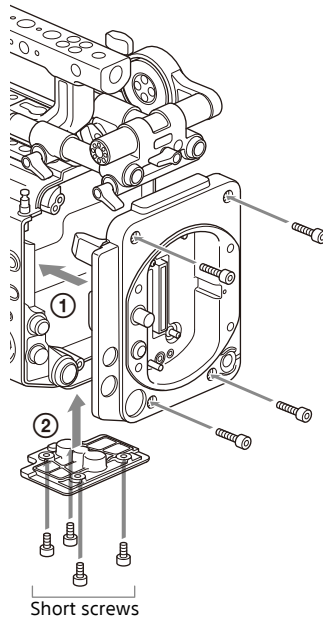


Note

Orient the lens side face down when placing the removed imager block on a flat surface. If the heat sink side is placed face down, the flange back distance (flange focal distance) may change.

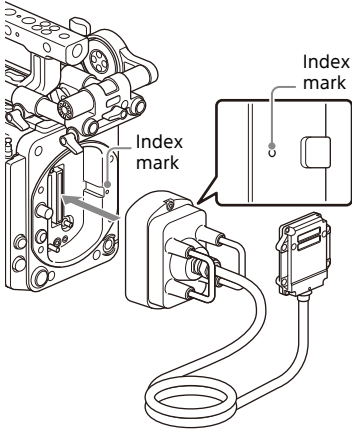
- 2 Attach the camera body adaptor (①) and then attach the bottom plate (②).**

Align and attach using the eight hex screws, removed in step 2, and tighten using a hex wrench (tightening torque of 1.4 N·m).



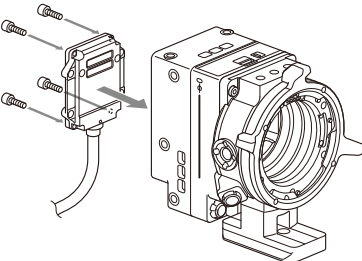
3 Attach the detachable cable receiver to the camera body adaptor.

Align with the index marks on the sides of the receiver, and attach using the two hex screws, and tighten using a hex wrench (tightening torque of 1.4 N·m).



4 Attach the transceiver of the detachable cable to the camera head.

Align and attach using the four supplied hex screws, and tighten using a hex wrench (tightening torque of 1.4 N·m).



Note

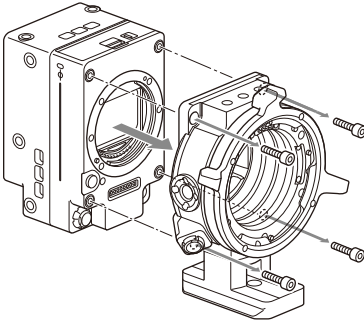
If the camera body adaptor, detachable cable, and camera head are not securely attached, the MPC-3628/MPC-3626 will not start up. Attach the devices securely.

Removing from camera

- 1 Remove the transceiver from the camera.
- 2 Remove the receiver from the camera body adaptor.
- 3 Remove the camera body adaptor from the camera body.
- 4 Attach the imager block to the camera body (tightening torque of 1.4 N·m).

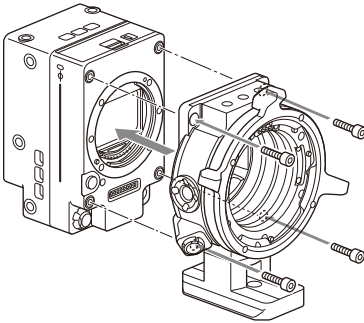
Removing the PL-mount adaptor

Remove the four hex screws using a hex wrench and remove the PL-mount adaptor from the camera head.



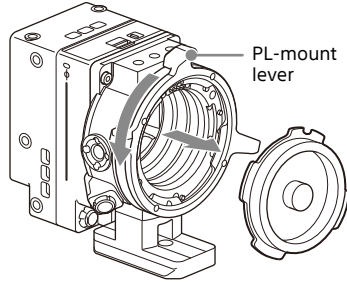
To attach the PL-mount adaptor

Align and attach using the four supplied hex screws, and tighten using a hex wrench (tightening torque of 1.4 N·m).



Attaching a PL-mount lens

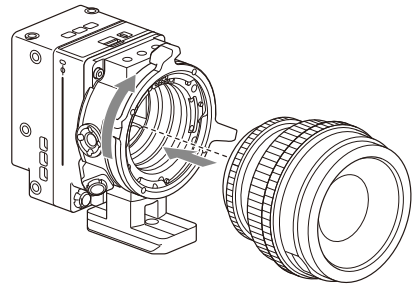
- 1 Remove the mount cover from the lens mount by turning the PL-mount lever counterclockwise.



Note

Turn the PL-mount lever counterclockwise to the stopper position.

- 2 Insert the lens into the lens mount by aligning the concave part of the lens with the positioning pin on the upper right of the lens mount.
- 3 Secure the lens by turning the PL-mount lever clockwise while holding the lens.



Note

Do not turn the lens when attaching the PL-mount lens. It may cause damage to the hot shoe pin.

To attach a Cooke /i lens

Align the contacts on the lens with the hot shoe of the unit.

To remove the lens

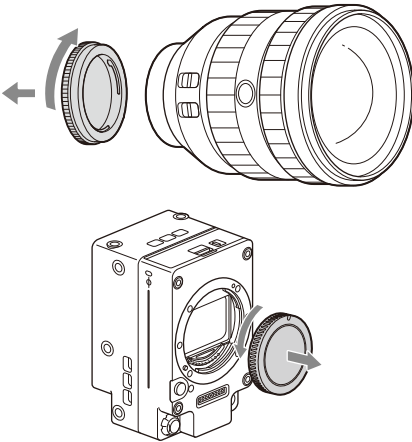
- 1 Turn the PL-mount lever counterclockwise while holding the lens from underneath.
- 2 Pull the lens forward.

Notes

- If another lens will not be attached soon, carefully align the concave part of the mount cover, then secure the mount cover by turning the PL-mount lever clockwise.
- For correct I/F communication with the lens, set the Lens Configuration settings on the MPC-3628/MPC-3626 to match the lens in use. For details about configuration, refer to the MPC-3628/MPC-3626 Operating Instructions.

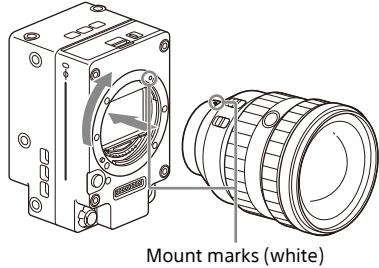
Attaching an E-mount lens

- 1 Remove the cap and cover from the unit and the lens.



- 2 Align the lens mount mark (white) with the unit, carefully insert the lens, and then turn the lens clockwise.

A click sound can be heard when it locks into position.



Note

Do not press the lens release button when attaching a lens.

To remove the lens

Remove a lens using the following procedure.

- 1 Press and hold the lens release button and turn the lens counterclockwise while supporting the lens.
- 2 Pull the lens forward.

Notes

- When removing a lens, align the mount mark on the lens lock ring with the mount mark on the camcorder.
- Grasp the lens securely in your hand to prevent the lens from falling.
- If another lens will not be attached immediately, always attach the body cap.

Adjusting the flange focal length

The unit is shipped with the flange focal length already adjusted. If you need to adjust the flange focal length, remove the lens mount, and change the shims with those of the appropriate thickness. You can adjust the thickness by ± 0.1 mm in 0.01 mm increments.

Shims

The following shims are supplied with the unit.

0.05 mm \times 1 (circular)

0.01 mm \times 15 (1/3 arc)

1/3 arc shims should always be used as a set of three shims. Insert shims to increase the flange focal length. The unit is shipped with the flange focal length already adjusted using the following three types of shims.

0.10 mm (circular)

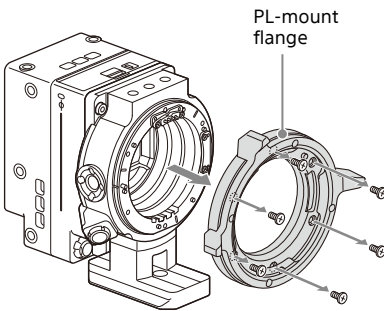
0.05 mm (circular)

0.01 mm (1/3 arc)

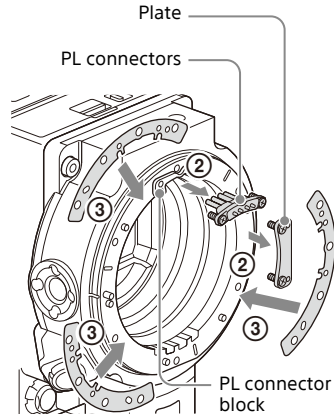
A seal is attached showing the shim thickness when shipped.

Adjusting the flange focal length

- 1 Remove the six Torx screws and remove the PL-mount flange.

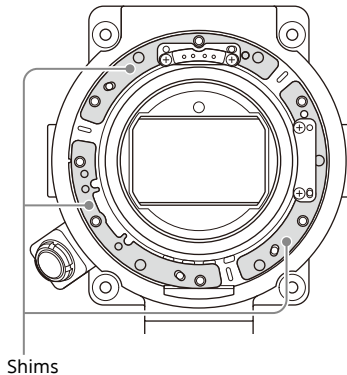


- 2 Loosen the four Phillips screws securing the PL connectors and plate, and remove the PL connectors, PL connector block, and plate.
- 3 Attach shims to the PL-mount adaptor (three locations).



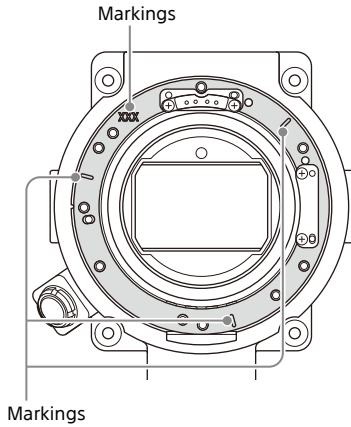
When using 1/3 arc shims

Attach shims so that they have the same thickness in all three locations.



When using circular shims

Attach with the surface that has markings on it facing the front.



Removing the ND filter

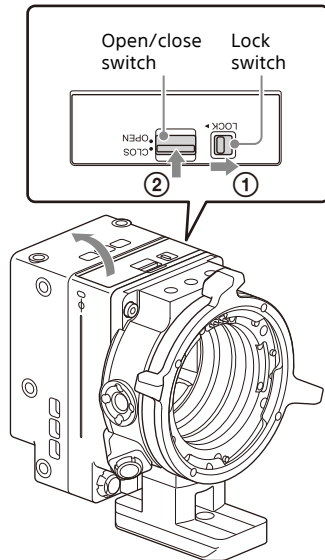
Note

Avoid touching the surface directly to avoid scratching or leaving fingerprints on the filter. When installing or removing the filter, hold it by the frame.

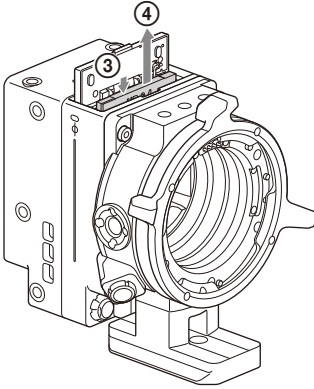
1 Open the cover of the ND filter slot block.

Push the lock switch to the right to unlock the cover (①) and push the open/close switch to the OPEN position (②).

The ND filter is ejected slightly.



- 2 **Gently press the ND filter (③).**
The lock is released and the ND filter is fully ejected.
- 3 **Remove the ND filter (④).**



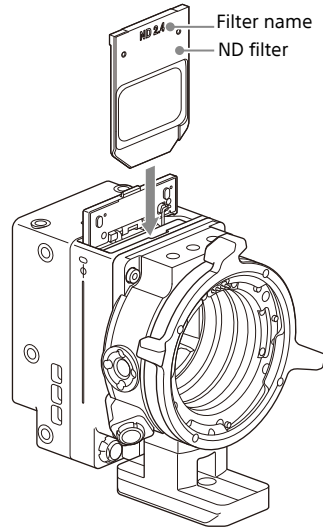
Note

If the ND filter is pushed in, it will be relocked. If locked, close the cover of the ND filter slot block and start again from step 1.

Inserting an ND filter

- 1 **Open the cover of the ND filter slot block.**
- 2 **Insert the ND filter with the side with the filter name facing the front into the ND filter slot until it clicks into place.**

Insert the ND filter as shown in the following diagram, paying attention to the vertical orientation and front/rear surfaces.



- 3 **Close the cover and push the open/close switch to the CLOSE position.**
When closing the cover, the ND filter will be pushed out slightly, but this is not a malfunction.
- 4 **Push the lock switch to the left to lock the cover.**

Notes

- The density of the inserted ND filter is displayed on the viewfinder/monitor screen of the camera.
- If an ND filter is not inserted or if the type of ND filter cannot be recognized, a message will be

displayed on the sub-display screen of the camera and the REC lamp will start flashing.

About the startup time

When you connect the MPC-3628/ MPC-3626 main unit and the CBK-3621XS for the first time, it may take about 5 minutes for the camera to start up, depending on the project frame rate and imager mode settings.

About APR operation time

After APR (Auto Pixel Restoration) execution finishes, it takes about 120 seconds to save data. Consequently, it will take about 120 seconds for the power to turn off if you turn off the power during this time. Also, if a reboot occurs as a result of changing settings, the reboot operation will be extended by about 120 seconds.

Inspection and Maintenance

Inspection before shooting

Inspect the unit before shooting to make sure that the system is operating normally.

Cleaning

Wipe off dirt on the exterior and any metallic powder created by attachment/removal using a soft, dry cloth. In extreme cases, use a cloth moistened in a little neutral detergent, then wipe dry.

Do not use organic solvents, such as alcohol or thinners, as these may cause discoloration or other damage to the finish of the unit.

Do not clean the unit with an air blower. Dust and other particles suspended in the air may enter the unit and cause a malfunction. Also, refrain from cleaning with high air pressure equipment, such as an air duster, as these may damage optical components.

- Using the unit with dirt or dust adhering to the connector between the camera body and sensor block may cause a failure or malfunction. When storing, be careful not to let dirt accumulate.
- If the contacts of the pogo pin type connectors become dirty, poor connection may cause a malfunction. If an error or other problem occurs, gently wipe off any dirt with a soft cloth or cotton swab.
- The cable may become twisted and tangled if coiled in a single loop. Wind the cable in a figure of eight.

Notes on Device Connections

- A Sony audio wireless receiver cannot be used for connecting the CBK-3621XS.

Notes on Handling Cables

- Do not crush, bend, or damage the cable.
- Be careful when coiling and installing the cable so that the cable is not subject to strong twisting.
- Minimum coil diameter for guaranteed cable operation: 45 mm (1 13/16 inches) or higher

Specifications

General

Power consumption

Approx. 15 W (max) (5.5K 2.39:1 120 FPS)

Operating temperature

0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)

Storage temperature

-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)

External dimensions

Refer to the back of this document.

Mass

Camera head

Approx. 0.54 kg (1 lb 3.0 oz)

Camera head + PL-mount adaptor

Approx. 1.05 kg (2 lb 5.0 oz)

4.5 m cable

Approx. 0.86 kg (1 lb 14.3 oz)

Camera body adaptor

Approx. 0.36 kg (12.7 oz)

Input/output connectors

24 V IN connector (Fischer 3-pin) (1)

24 V OUT connector (Fischer 3-pin) (1)

LENS META IN connector (LEMO 4-pin)
(1)

Supplied accessories

ND filters (9)

Shim (circular) (1) (4-730-328-11)

Shims (1/3 arc) (15) (4-730-328-21)

E-mount lens cap (1)

PL-mount lens cap (1)

Screws for receiver (2) (5-000-390-02)

Operating Instructions (1)

Warranty (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

Notes

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR CLAIMS OF ANY KIND MADE BY USERS OF THIS UNIT OR MADE BY THIRD PARTIES.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE TERMINATION OR DISCONTINUATION OF ANY SERVICES RELATED TO THIS UNIT THAT MAY RESULT DUE TO CIRCUMSTANCES OF ANY KIND.

Français

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

POUR LES CLIENTS AU CANADA (Y COMPRIS DANS LA PROVINCE DE QUÉBEC)

TOUTES LES INSTRUCTIONS ET DÉCLARATIONS NÉCESSAIRES POUR LES CLIENTS CANADIENS SONT FOURNIES EN ANGLAIS ET EN FRANÇAIS. LES AUTRES INSTRUCTIONS ET ÉNONCÉS NON FOURNIS EN ANGLAIS ET EN FRANÇAIS NE SONT PAS DESTINÉS AUX CLIENTS CANADIENS (Y COMPRIS AU QUÉBEC).

Cet équipement ne convient pas pour une utilisation dans des endroits où se trouvent des enfants.



Ce symbole signifie « Attention: Prière de vous reporter au mode d'emploi pour plus d'informations. »

Attention

Ce produit a été testé et est en conformité avec les limitations définies dans la réglementation EMC dans le cas d'une utilisation avec des câbles de connexion de moins de 3 mètres pour le ou les port(s) suivant(s) :

- 24 V OUT
- LENS META IN

Pour les clients au Canada

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

AVERTISSEMENT

L'utilisation de cet appareil dans un environnement domestique risque de provoquer des interférences radio.

Non destiné à une utilisation dans des environnements domestiques.

ATTENTION

Il est possible que des champs électromagnétiques à des fréquences spécifiques influencent l'image et le son de cet appareil.

Pour les clients en Europe

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

Attention

L'emploi de commandes ou ajustements ou l'exécution de procédures autres que celles spécifiées ici peut provoquer une exposition dangereuse au rayonnement.

Attention

L'emploi d'instruments optiques avec ce produit augmentera les risques pour les yeux.



IEC 60825-1:2014
PRODUIT LASER
DE CLASSE 1

Distributeur au Canada :

Sony of Canada ULC
2235 Sheppard Avenue East, Suite
700, Toronto, Ontario M2J 5B5,
Canada

Pour les clients au Canada

GARANTIE LIMITÉE DE SONY -

Rendez-vous sur www.sony.com/psa/warranty pour obtenir les informations importantes et l'ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

AVERTISSEMENT

Le non-respect de ces précautions peut entraîner la mort ou des blessures graves dues à un incendie ou à un choc électrique.

- Effectuer une prise de vue sans être conscient de l'environnement peut provoquer des accidents ou des blessures.
- N'enregistrez et ne visionnez aucune vidéo alors que vous conduisez une voiture ou une moto. Cela pourrait provoquer un accident de la route.
- La pénétration d'eau ou d'objets étrangers dans l'appareil peut provoquer un incendie, un choc électrique ou des blessures. Si de l'eau ou des objets étrangers pénètrent dans l'appareil, arrêtez-le immédiatement, débranchez le cordon d'alimentation et les autres cordons de raccordement, et contactez un représentant commercial ou du service Sony.
- Si les orifices de ventilation sont obstrués pendant l'utilisation, de la chaleur s'accumulera dans l'appareil, risquant de provoquer un incendie ou un dysfonctionnement.

ATTENTION

Le non-respect de ces précautions peut entraîner des blessures dues à un choc électrique ou à un accident, ou endommager des objets à proximité.

- Installer l'appareil dans des endroits tels que ceux indiqués ci-dessus peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- L'installation de l'appareil sur une surface instable, par exemple un support bancal, risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures.
- N'insérez aucun objet métallique dans les connecteurs (bornes de connexion). Cela pourrait provoquer un court-circuit entre les broches et entraîner un incendie ou un dysfonctionnement.
- Lorsque vous branchez des câbles, insérez les connecteurs bien droits. Si vous insérez les connecteurs de travers, cela pourrait provoquer un court-circuit entre les broches et entraîner un incendie ou un dysfonctionnement.
- Si un connecteur est équipé d'une vis ou d'un ressort de verrouillage, utilisez ce dispositif pour fixer fermement le connecteur. Cela évitera les mauvaises connexions.
- Raccordez les connecteurs avec un fil de terre relié à la terre.
- Trébucher sur le cordon d'alimentation ou les câbles de connexion risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures.
- Si vous montez l'appareil en utilisant une méthode autre que celle décrite, le manque de solidité risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures.
- La fixation incorrecte de dispositifs ou de pièces en option risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures. Lors de la fixation de dispositifs ou de pièces en option, veillez à les fixer

exactement comme indiqué dans le manuel.

- Si vous empilez deux appareils ou plus sans utiliser de rack, cela risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures.
- Il existe un risque de choc électrique si la foudre tombe lors d'un orage. Si vous entendez des coups de tonnerre à proximité, cessez immédiatement d'utiliser l'appareil et éloignez-vous de celui-ci.
- Saisissez l'appareil uniquement par la poignée pour le transporter, sinon cela risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures.
- Lorsque vous ouvrez ou fermez le panneau de l'appareil, veillez à ne pas vous pincer les doigts. Lorsque vous ouvrez le panneau, veillez à bien le fixer comme indiqué dans le manuel.
- Le démontage ou la modification de l'appareil risque de provoquer un incendie, un choc électrique ou une blessure. Pour une inspection interne ou des réparations, contactez le magasin où vous avez acheté l'appareil ou votre représentant de service Sony.
- Nettoyer l'appareil lorsqu'il est connecté à l'alimentation risque de provoquer un choc électrique.
- Ranger l'appareil sur une surface instable ou inclinée risque de faire tomber l'appareil et d'entraîner des blessures.

Précautions d'utilisation

- La caméra doit être mise à jour avec la version suivante ou ultérieure du logiciel pour utiliser cet appareil.
MPC-3628/MPC-3626 : V4.0 ou version ultérieure
Déconnectez l'appareil et remettez la caméra dans son état normal avant la mise à jour.
- Ne laissez pas l'appareil dans un endroit exposé à la lumière directe du soleil. Les rayons du soleil pourraient se concentrer sur des objets à proximité et déclencher un incendie. Si vous devez laisser l'appareil exposé à la lumière directe du soleil, installez toujours le capuchon d'objectif.
- Si l'appareil est soudainement déplacé d'un endroit froid à un endroit chaud, ou si la température ambiante augmente brusquement, de l'humidité peut se former sur la surface externe de l'appareil et/ou à l'intérieur de l'appareil. Ce phénomène est connu sous le nom de condensation. Si de la condensation se produit, mettez l'appareil hors tension et patientez le temps que la condensation disparaisse avant d'utiliser l'appareil. L'utilisation de l'appareil avec de la condensation pourrait endommager l'appareil.
- La durée de vie du commutateur de détection du filtre ND est d'environ 5 ans.
- L'utilisation de l'appareil lorsque de la saleté ou de la poussière adhère au connecteur entre le boîtier de caméra et le bloc de capteur peut provoquer une panne ou un dysfonctionnement. Veillez à ranger l'appareil de manière à éviter toute accumulation de poussière.
- Le ventilateur est une pièce consommable qui nécessitera un remplacement périodique. Lorsque vous utilisez l'appareil à température ambiante, le cycle de

remplacement est d'environ 5 ans (8 heures par jour, 25 jours par mois). Si l'utilisation dépasse la fréquence d'utilisation normale, la durée de vie peut être réduite en conséquence. Mais, ce cycle de remplacement ne représente qu'une indication et ne garantit pas la durée de vie de ce consommable. Pour plus de détails sur le remplacement de ces pièces, veuillez contacter votre revendeur.

Pour empêcher les interférences électromagnétiques dues aux dispositifs de communication portables

L'utilisation des téléphones portables et d'autres dispositifs de communication à proximité de cet appareil peut provoquer des dysfonctionnements et des interférences avec les signaux audio et vidéo.

Il est recommandé de désactiver les dispositifs de communication portables à proximité de cet appareil.

Phénomènes spécifiques aux capteurs d'images CMOS de caméra

Remarque

Les phénomènes suivants, qui peuvent se produire sur les images, sont propres aux capteurs d'images. Ils n'indiquent en aucun cas un dysfonctionnement.

Taches blanches

Bien que les capteurs soient fabriqués à l'aide de technologies de haute précision, il peut arriver (dans de rares cas) que des petites taches blanches apparaissent sur l'écran, celles-ci sont causées par les rayons cosmiques, etc.

Ce phénomène est inhérent à la technologie des capteurs d'images et ne signale en aucun cas un dysfonctionnement.

Les taches blanches sont surtout visibles dans les cas suivants :

- Lors du fonctionnement à haute température ambiante
- Lorsque vous avez augmenté le gain (la sensibilité)

Scintillement

Si l'enregistrement est effectué sous un éclairage fluorescent, des lampes au sodium, à vapeur de mercure ou LED, l'écran peut scintiller ou les couleurs peuvent varier.

Précautions quant aux filtres ND

- **Méthode de nettoyage**
Utilisez une brosse douce ou un souffleur d'air pour éliminer les dépôts de poussière et de saleté à la surface. Si la surface est très sale, humidifiez un chiffon doux ou un chiffon pour objectif avec du nettoyant pour objectif, puis essuyez délicatement la surface.
- **Méthode de stockage**
Rangez dans un boîtier de filtre ND.
- **L'exposition du filtre ND à la lumière directe du soleil pendant de longues périodes** risque d'entraîner une dégradation de ses caractéristiques et de ses performances.

Caractéristiques

Le CBK-3621XS est un kit de rallonge d'imageur qui peut être raccordé à une MPC-3628/MPC-3626 (vendue séparément).

La rallonge peut être utilisée dans diverses situations de prise de vue sans dégrader la performance de l'imageur.

- **Rallonge jusqu'à 12 m (39,4 pi)**

Le CBK-3621XS se fixe entre la MPC-3628/MPC-3626 et le bloc d'imageur pour rallonger le bloc d'environ 4,5 m (14,8 pi). Vous pouvez également rallonger jusqu'à 12 m (39,4 pi) en installant le CBK-12C3621 (option).

- **Compatible avec les filtres ND encastrables**

Neuf filtres ND interchangeables (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4) sont compatibles.

- **Compatible avec un objectif à monture PL/monture E**

Vous pouvez utiliser l'appareil avec un objectif à monture PL ou E. Il prend en charge les mêmes objectifs que le MPC-3628/MPC-3626.

- **Compatible avec une connexion à des périphériques externes**

En plus du signal d'imageur, il transmet au bloc d'imageur une alimentation de 24 V qui peut être utilisée pour alimenter un servo d'objectif.

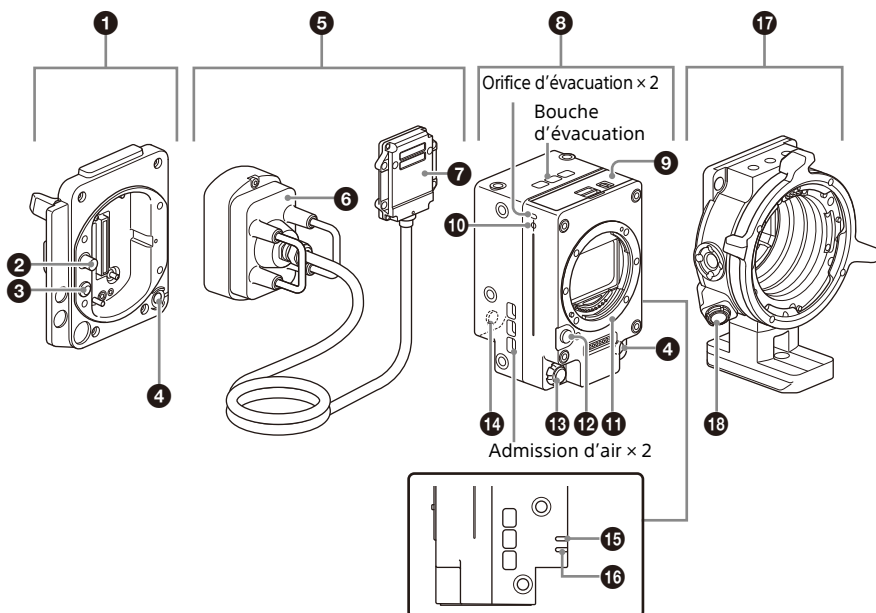
- **Compatible avec l'entrée des métadonnées de l'objectif**

Vous pouvez obtenir des informations d'objectif en entrant des métadonnées d'objectif depuis une source externe.

- **Équipé d'un capteur d'image CMOS 8.6K**

Équipé du même capteur d'image que le MPC-3628, permettant à l'appareil d'être utilisé sur la base des réglages du MPC-3628.

Nomenclature et fonction des pièces



❶ Adaptateur de boîtier de caméra

L'adaptateur se fixe au boîtier de caméra pour rallonger le bloc d'imageur.

❷ Connecteur MONITOR IN (type BNC)

Incompatible.

❸ Connecteur 24 V IN (Fischer 3 broches)

Le connecteur d'entrée d'alimentation CC fournit l'alimentation externe de l'adaptateur de bloc d'imageur.

❹ Bouton ASSIGN (assignable) 3

Fait basculer la fonction assignée entre on/off (activée/désactivée) ou active la fonction à chaque pression.

Le témoin est allumé en orange lorsque la fonction assignée est sur on (activée) ou en cours d'activation.

Pour plus de détails sur l'attribution de fonction, consultez le mode d'emploi de la MPC-3628/MPC-3626.

❺ Câble amovible

Câble de rallonge amovible de 4,5 m pour le raccordement entre l'adaptateur de boîtier de caméra et la tête de caméra.

❻ Récepteur

L'adaptateur de récepteur se raccorde à l'adaptateur de boîtier de caméra.

❼ Émetteur-récepteur

Adaptateur à relier à la tête de la caméra.

❽ Tête de la caméra

Bloc d'imageur équipé d'un capteur d'image CMOS 8.6K.

9 Bloc de fente du filtre ND

Fente permettant d'insérer les filtres ND fournis.

10 Symbole ϕ (phi)

Le symbole ϕ (phi) indique la position de la surface du capteur d'image.

Utilisez ce symbole comme référence pour mesurer avec précision la distance entre la caméra et le sujet.

11 Bloc de monture E

12 Bouton de déverrouillage de l'objectif

13 Connecteur 24 V OUT (Fischer 3 broches)

Connecteur de sortie d'alimentation externe.

Il délivre l'alimentation raccordée au connecteur 24 V IN de l'adaptateur de boîtier de caméra.

Il peut être raccordé en tant qu'alimentation externe pour un servo d'objectif ou autre périphérique. Il peut également être utilisé pour entrer un signal REC Trigger.

Remarques

- En fonction du courant de sortie et de la longueur du câble amovible, la tension de l'alimentation sortant de ce connecteur peut s'avérer inférieure à la tension de l'alimentation connectée au connecteur 24 V IN.
 - Câble amovible (4,5 m (14,8 pi)) : chute d'environ 0,50 V à une sortie de 1 A ou chute de 1,00 V à une sortie de 2 A
 - Câble amovible (12 m (39,4 pi)) (option) : chute d'environ 1,40 V à une sortie de 1 A ou chute de 2,80 V à une sortie de 2 A
- Pour plus de détails sur les spécifications du connecteur Fischer 3 broches, consultez le mode d'emploi de la MPC-3628/MPC-3626.

14 Bouton ASSIGN (assignable) 5

Fait basculer la fonction assignée entre on/off (activée/désactivée) ou active la fonction à chaque pression.

Le témoin est allumé en orange lorsque la fonction assignée est sur on (activée) ou en cours d'activation.

Pour plus de détails sur l'attribution de fonction, consultez le mode d'emploi de la MPC-3628/MPC-3626.

15 LED (rouge)

Sert de voyant REC et d'indicateur d'erreur/avertissement.

16 LED (verte)

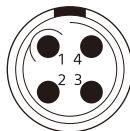
S'allume lorsque l'appareil est sous tension.

17 Adaptateur de monture PL

18 Connecteur LENS META IN (LEMO à 4 broches)

Connecteur d'entrée des métadonnées de l'objectif.

Connecteur utilisé sur l'appareil : LEMO EGG.0B.304.CLL



N°	Signal
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Protocole de communication : Cooke/i

Niveaux de communication : RS-232C

Connecteur compatible typique (référence uniquement) : LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Remarques

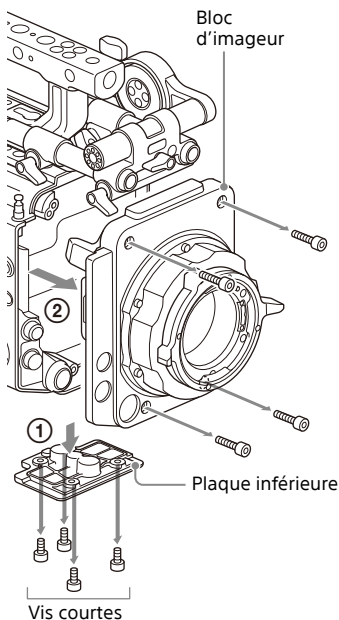
- Pour plus de détails sur les trous de fixation d'accessoires, consultez le dessin des dimensions externes au verso de ce document.
- Avant tout branchement, arrêtez l'appareil et le périphérique à brancher.
- Veillez à connecter correctement un périphérique des communications de métadonnées de l'objectif compatible RS-232C. Une mauvaise connexion du signal risque d'endommager le périphérique.

Fixation à la caméra

Remarques

- Éteignez la caméra et attendez 30 minutes ou plus afin qu'elle refroidisse suffisamment avant de fixer/retirer l'appareil. Effectuez l'opération rapidement dans un endroit sans poussière afin d'éviter toute pénétration de poussière et autre matière dans la caméra et les adaptateurs.
- Prenez garde à ne pas endommager les connecteurs et les pièces.
- Une erreur de transfert de données risque de se produire si de la poussière ou une autre matière s'est déposée sur les connecteurs de l'adaptateur. Si c'est le cas, nettoyez le connecteur.

- 1 Retirez les quatre vis hexagonales sur la partie inférieure et retirez la plaque inférieure (①), puis retirez les quatre vis hexagonales sur la partie avant et retirez le bloc d'imageur du boîtier de la caméra (②).**

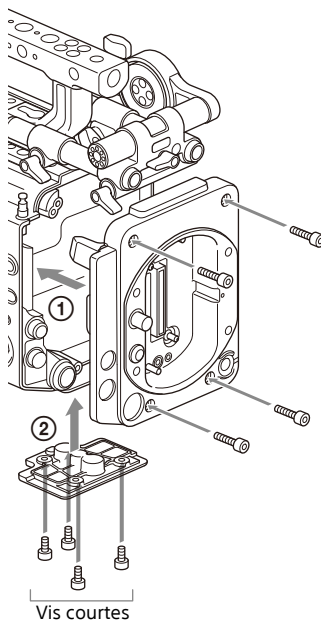


Remarque

Orientez le côté de l'objectif vers le bas lorsque vous placez le bloc d'imageur retiré sur une surface plane. Si le dissipateur thermique est placé vers le bas, la distance de tirage mécanique (longueur focale de collerette) peut changer.

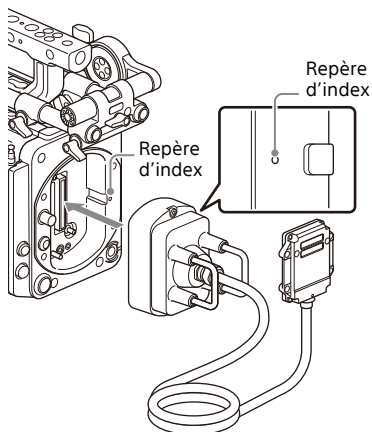
- 2 Fixez l'adaptateur de boîtier de caméra (①), puis fixez la plaque inférieure (②).**

Alignez-les et attachez-les à l'aide des huit vis hexagonales, retirées à l'étape 2, et serrez-les à l'aide d'une clé hexagonale (couple de serrage de 1,4 N·m).



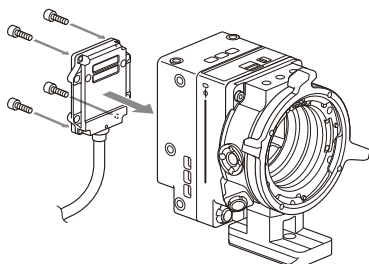
3 Fixez le récepteur du câble amovible à l'adaptateur de boîtier de caméra.

Alignez-le avec les repères d'index sur les côtés du récepteur, et fixez-le à l'aide des deux vis hexagonales, puis serrez-le à l'aide d'une clé hexagonale (couple de serrage de 1,4 N·m).



4 Fixez l'émetteur-récepteur du câble amovible à la tête de la caméra.

Alignez et fixez avec les quatre vis hexagonales fournies, et serrez-les à l'aide d'une clé hexagonale (couple de serrage de 1,4 N·m).



Remarque

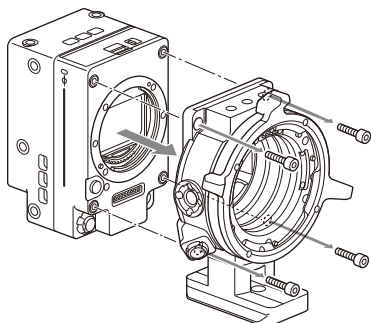
Si vous ne fixez pas solidement l'adaptateur de boîtier de caméra, le câble amovible et la tête de la caméra, la MPC-3628/MPC-3626 ne démarrera pas. Fixez solidement les périphériques.

Retrait de la caméra

- 1 Retirez l'émetteur-récepteur de la caméra.
- 2 Retirez le récepteur de l'adaptateur de boîtier de caméra.
- 3 Retirez l'adaptateur de boîtier de caméra du boîtier de caméra.
- 4 Fixez le bloc d'imageur au boîtier de caméra (couple de serrage de 1,4 N·m).

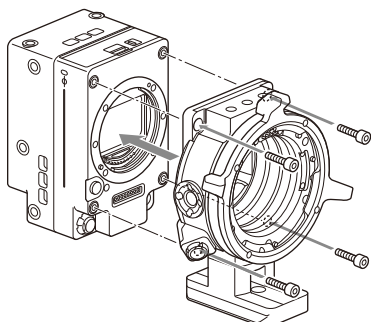
Retrait de l'adaptateur de monture PL

Retirez les quatre vis hexagonales à l'aide d'une clé hexagonale et retirez l'adaptateur de monture PL de la tête de la caméra.



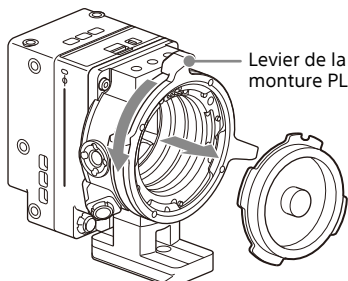
Pour fixer l'adaptateur de monture PL

Alignez et fixez avec les quatre vis hexagonales fournies, et serrez-les à l'aide d'une clé hexagonale (couple de serrage de 1,4 N·m).



Fixation d'un objectif à monture PL

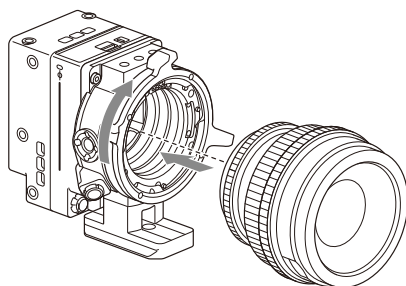
- 1 Retirez le cache de la monture de l'objectif en faisant tourner le levier de la monture PL dans le sens contraire des aiguilles d'une montre.



Remarque

Tournez le levier de la monture PL dans le sens contraire des aiguilles d'une montre jusqu'à la butée.

- 2 Insérez l'objectif dans la monture de l'objectif en alignant la partie concave de l'objectif avec la broche de positionnement dans le coin supérieur droit de la monture de l'objectif.
- 3 Fixez fermement l'objectif en faisant tourner le levier de la monture PL dans le sens des aiguilles d'une montre en soutenant l'objectif.



Remarque

Ne tournez pas l'objectif lorsque vous fixez l'objectif à monture PL. Cela risquerait d'endommager la broche du sabot.

Pour fixer un objectif Cooke /i

Alignez les contacts de l'objectif avec la griffe de l'appareil.

Pour retirer l'objectif

1 Tournez le levier de la monture PL dans le sens contraire des aiguilles d'une montre en soutenant le dessous de l'objectif.

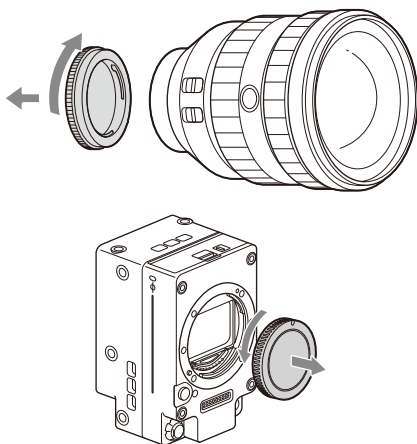
2 Tirez l'objectif vers l'avant.

Remarques

- Si vous ne fixez pas rapidement un autre objectif, alignez avec soin la partie concave du cache de la monture, puis fixez fermement le cache de la monture en tournant le levier de la monture PL dans le sens des aiguilles d'une montre.
- Pour une communication I/F correcte avec l'objectif, configurez les réglages Lens Configuration sur la MPC-3628/MPC-3626 pour qu'ils correspondent à l'objectif utilisé. Pour plus de détails sur la configuration, consultez le mode d'emploi de la MPC-3628/MPC-3626.

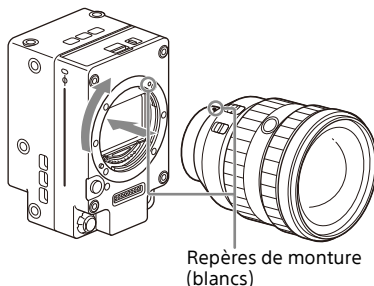
Fixation d'un objectif à monture E

1 Retirez le capuchon et le cache de l'appareil et de l'objectif.



2 Alignez le repère de monture d'objectif (blanc) sur l'appareil, insérez délicatement l'objectif et tournez-le dans le sens horaire.

Un cliquetis retentit lorsqu'il se verrouille en position.



Remarque

N'appuyez pas sur le bouton de déverrouillage de l'objectif lorsque vous installez un objectif.

Pour retirer l'objectif

Appliquez la procédure suivante pour retirer l'objectif.

1 Pressez et maintenez enfoncé le bouton de déverrouillage de l'objectif, puis tournez l'objectif dans le sens contraire des aiguilles d'une montre tout en le soutenant.

2 Tirez l'objectif vers l'avant.

Remarques

- Lorsque vous retirez l'objectif, alignez le repère de monture situé sur la bague de verrouillage de l'objectif avec le repère de monture situé sur le caméscope.
- Saisissez fermement l'objectif pour l'empêcher de tomber.
- Si vous ne prévoyez pas d'installer immédiatement un autre objectif, fixez toujours le capuchon du corps.

Réglage de la longueur focale de collerette

L'appareil est expédié avec la longueur focale de collerette déjà réglée. Si vous avez besoin de régler la longueur focale de collerette, retirez la monture de l'objectif et remplacez les cales par d'autres de l'épaisseur appropriée. Vous pouvez régler l'épaisseur de $\pm 0,1$ mm, par incréments de $0,01$ mm.

Cales

Les cales suivantes sont fournies avec l'appareil.

0,05 mm \times 1 (circulaire)

0,01 mm \times 15 (tiers de cercle)

Les cales en tiers de cercle doivent toujours être utilisées par trois. Insérez les cales pour augmenter la longueur focale de collerette. L'appareil est expédié avec la longueur focale de collerette déjà réglée à l'aide des trois types de cales suivants.

0,10 mm (circulaire)

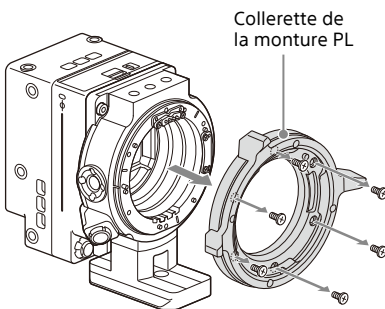
0,05 mm (circulaire)

0,01 mm (tiers de cercle)

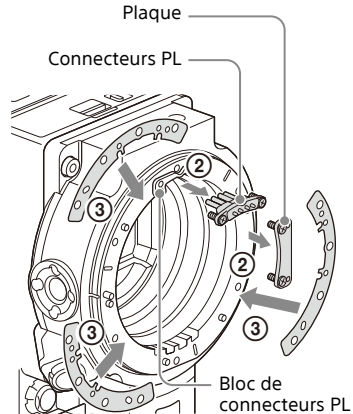
Un sceau indiquant l'épaisseur de la cale est fixé lors de l'expédition.

Réglage de la longueur focale de collerette

- 1 Retirez les six vis Torx et retirez la collerette de la monture PL.**

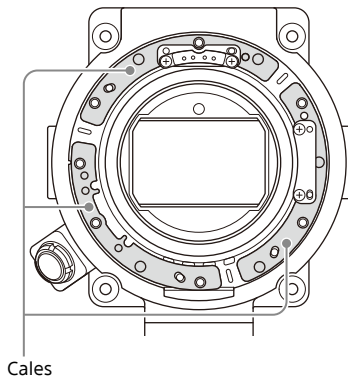


- 2 Desserrez les quatre vis cruciformes maintenant les connecteurs PL et la plaque, puis retirez les connecteurs PL, le bloc des connecteurs PL et la plaque.**
- 3 Fixez les cales à l'adaptateur de la monture PL (trois emplacements).**

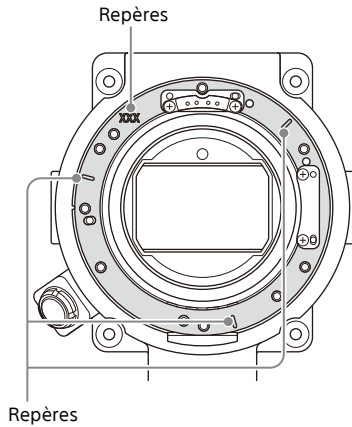


Lors de l'utilisation de cales en tiers de cercle

Fixez des cales de façon à ce qu'ils aient la même épaisseur aux trois emplacements.



Lors de l'utilisation de cales circulaires
Fixez-les à la surface portant des repères vers l'avant.



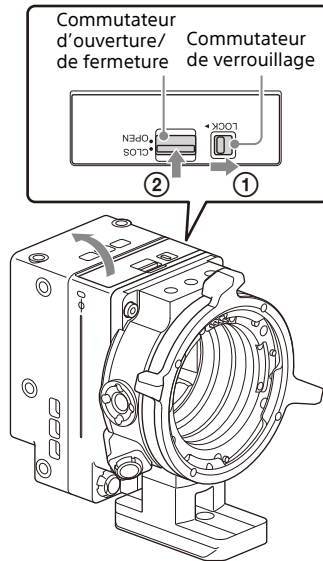
Retrait du filtre ND

Remarque

Évitez de toucher directement la surface afin de ne pas rayer le filtre ou y laisser des traces de doigts. Lorsque vous installez ou retirez le filtre, tenez-le par son cadre.

1 Ouvrez le couvercle du bloc de fente du filtre ND.

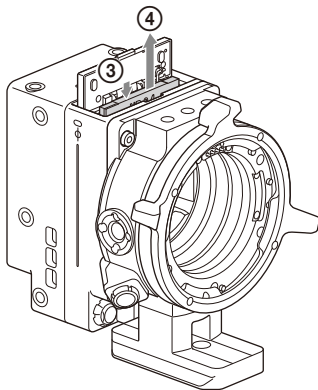
Poussez le commutateur de verrouillage à droite pour déverrouiller le couvercle (①) et poussez le commutateur d'ouverture/fermeture sur la position OPEN (②). Le filtre ND sort légèrement de son emplacement.



2 Appuyez doucement sur le filtre ND (③).

Le verrou est libéré et le filtre ND est complètement éjecté.

3 Retirez le filtre ND (④).



Remarque

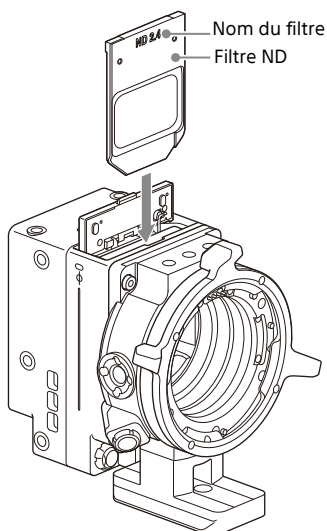
Si vous appuyez sur le filtre ND, il sera à nouveau verrouillé. S'il est verrouillé, fermez le couvercle du bloc de fente du filtre ND et reprenez depuis l'étape 1.

Insertion d'un filtre ND

1 Ouvrez le couvercle du bloc de fente du filtre ND.

2 Insérez le filtre ND dans la fente prévue à cet effet, en orientant vers l'avant le côté où son nom est inscrit, jusqu'à entendre un cliquetis.

Insérez le filtre ND comme illustré sur le schéma suivant, en faisant attention à l'orientation verticale et aux surfaces avant/arrière.



3 Fermez le couvercle et pressez le commutateur d'ouverture/de fermeture en position CLOSE.

Le filtre ND est légèrement repoussé lorsque vous fermez le couvercle, mais c'est tout à fait normal.

4 Poussez le commutateur de verrouillage à gauche pour verrouiller le couvercle.

Remarques

- La densité du filtre ND inséré s'affiche sur l'écran du viseur/du moniteur de la caméra.
- Si aucun filtre ND n'est inséré ou si son type n'est pas reconnu, un message s'affiche sur

l'écran d'affichage auxiliaire de la caméra et le voyant REC se met à clignoter.

À propos du temps de démarrage

Lorsque vous connectez l'appareil principal MPC-3628/MPC-3626 et le CBK-3621XS pour la première fois, le démarrage de la caméra peut prendre environ 5 minutes, en fonction de la fréquence d'images du projet et des réglages du mode imageur.

À propos de la durée d'opération de l'APR

Après que l'exécution de l'APR (Auto Pixel Restoration) a terminé, il faut environ 120 secondes pour sauvegarder les données. Par conséquent, la mise hors tension de l'appareil prendra environ 120 secondes si vous mettez l'appareil hors tension pendant ce temps. En outre, si un redémarrage se produit à la suite d'une modification des réglages, l'opération de redémarrage sera prolongée d'environ 120 secondes.

Inspection et maintenance

Inspection avant la prise de vue

Inspectez l'appareil avant la prise de vue pour vous assurer que le système fonctionne normalement.

Nettoyage

À l'aide d'un chiffon doux et sec, essuyez la saleté sur l'extérieur et toute poudre métallique créée par une fixation/un retrait. Dans les cas extrêmes, utilisez un chiffon humidifié avec un peu de détergent neutre, puis essuyez.

N'utilisez pas de produits organiques tels que de l'alcool ou des solvants qui peuvent provoquer une décoloration ou d'autres dommages de la finition de l'appareil.

Ne nettoyez pas l'appareil avec un souffleur d'air. De la poussière et d'autres particules en suspension dans l'air peuvent pénétrer à l'intérieur de l'appareil et provoquer un dysfonctionnement. De plus, évitez de nettoyer l'appareil avec un équipement à haute pression, tel qu'un aspirateur à air comprimé, car cela pourrait endommager les composants optiques.

- L'utilisation de l'appareil lorsque de la saleté ou de la poussière adhère au connecteur entre le boîtier de caméra et le bloc de capteur peut provoquer une panne ou un dysfonctionnement. Veuillez à ranger l'appareil de manière à éviter toute accumulation de poussière.
- Si les contacts des connecteurs de type broche Pogo sont sales, une mauvaise connexion risque d'entraîner un dysfonctionnement. En cas d'erreur ou d'autre problème, essuyez délicatement la saleté avec un chiffon doux ou un coton-tige.
- Le câble peut être tordu et emmêlé s'il est enroulé en une seule boucle. Enroulez le câble en forme de huit.

Remarques relatives aux raccordements du périphérique

- Un récepteur audio sans fil Sony ne peut pas être utilisé pour raccorder le CBK-3621XS.

Remarques sur la manipulation des câbles

- N'écrasez pas, ne pliez pas ou n'endommagez pas le câble.
- Lors de l'enroulement et de l'installation du câble, veillez à ce que celui-ci ne soit pas soumis à une forte torsion.
- Diamètre minimum de l'enroulement pour un fonctionnement garanti du câble : 45 mm (1 13/16 po) ou plus

Caractéristiques techniques

Généralités

Consommation électrique

Environ 15 W (max) (5.5K 2.39:1 120 FPS)

Température de fonctionnement

0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)

Température de stockage

-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

Dimensions externes

Consultez le verso de ce document.

Poids

Tête de la caméra

Environ 0,54 kg (1 lb 3,0 oz)

Tête de la caméra + adaptateur de monture PL

Environ 1,05 kg (2 lb 5,0 oz)

Câble 4,5 m

Environ 0,86 kg (1 lb 14,3 oz)

Adaptateur de boîtier de caméra

Environ 0,36 kg (12,7 oz)

Connecteurs d'entrée/de sortie

Connecteur 24 V IN (Fischer 3 broches)

(1)

Connecteur 24 V OUT (Fischer

3 broches) (1)

Connecteur LENS META IN (LEMO à

4 broches) (1)

Accessoires fournis

Filtres ND (9)

Cale (circulaire) (1) (4-730-328-11)

Cales (tiers de cercle) (15) (4-730-328-21)

Capuchon d'objectif à monture E (1)

Capuchon d'objectif à monture PL (1)

Vis du récepteur (2) (5-000-390-02)

Mode d'emploi (1)

Garantie (1)

La conception et les caractéristiques techniques sont sujettes à modification sans préavis.

Remarques

- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant utilisation. SONY NE PEUT ÊTRE TENUE RESPONSABLE DE TOUT DOMMAGE, DE QUELQUE NATURE QUE CE SOIT, Y COMPRIS MAIS SANS LIMITATION, LA COMPENSATION OU LE REMBOURSEMENT SUITE À LA PERTE DES BÉNÉFICES PRÉSENTS ET À VENIR RÉSULTANT D'UN DYSFONCTIONNEMENT DE CET APPAREIL NI PENDANT LA PÉRIODE DE GARANTIE OU UNE FOIS LE DÉLAI DE GARANTIE EXPIRÉ OU POUR TOUTE AUTRE RAISON QUE CE SOIT.
- SONY N'ASSUMERA PAS DE RESPONSABILITÉ POUR LES RÉCLAMATIONS, QUELLE QU'ELLES SOIENT, EFFECTUÉES PAR LES UTILISATEURS DE CET APPAREIL OU PAR DES TIERCES PARTIES.
- SONY N'ASSUMERA PAS DE RESPONSABILITÉ POUR LA CESSATION OU L'INTERRUPTION DE TOUT SERVICE LIÉ À CET APPAREIL, RÉSULTANT DE QUELQUE CIRCONSTANCE QUE CE SOIT.

Deutsch

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

Das Gerät ist nicht für den Gebrauch in Umgebungen geeignet, in denen sich Kinder aufhalten.



Dieses Symbol bedeutet „Vorsicht: Beachten Sie die weiteren Informationen in der Bedienungsanleitung.“

Vorsicht

Dieses Produkt wurde getestet und entspricht den in den EMV-Vorschriften festgelegten Grenzwerten, wenn Anschlusskabel mit einer Länge von weniger als 3 Metern für den/die folgenden Anschluss/Anschlüsse verwendet werden:

- 24 V OUT
- LENS META IN

WARNUNG

Der Betrieb dieses Geräts in Wohnbereichen kann Funkstörungen verursachen.

Nicht für den Einsatz in Wohnbereichen vorgesehen.

ACHTUNG

Die elektromagnetischen Felder bei den speziellen Frequenzen können das Bild und den Ton dieses Geräts beeinflussen.

Für Kunden in Europa

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.

Vorsicht

Bei Betätigung von Bedien- und Einstellteilen oder Ausführung von Bedienvorgängen, die nicht ausdrücklich in dieser Bedienungsanleitung aufgeführt sind, droht u.U. die Einwirkung gefährlicher Laserstrahlung.

Vorsicht

Der Einsatz von optischen Hilfen bei Benutzung dieses Produktes verstärkt die Gefahr von Augenschäden.



IEC 60825-1:2014
LASERPRODUKT
DER KLASSE 1

Vorsichtsmaßnahmen bei der Verwendung

- Die Kamera muss zur Verwendung dieses Geräts mindestens auf die folgende Softwareversion aktualisiert werden. MPC-3628/MPC-3626: Version 4.0 oder höher
Trennen Sie das Gerät von der Kamera und setzen Sie die Kamera vor dem Update wieder ordnungsgemäß zusammen.
- Lassen Sie das Gerät nicht in einer Umgebung zurück, in der es direkter Sonneneinstrahlung ausgesetzt ist. Sonnenlicht kann auf Gegenstände in der Nähe fokussiert werden und Brände verursachen. Falls es unumgänglich ist, das Gerät dem Sonnenlicht auszusetzen, bringen Sie stets den Objektivdeckel an.
- Wenn das Gerät aus einer kalten Umgebung in einen warmen Raum gebracht wird oder die Umgebungstemperatur schnell ansteigt, kann sich auf der Oberfläche des Geräts bzw. im Inneren des Geräts Feuchtigkeit ansammeln (Kondensation). Schalten Sie in diesem Fall das Gerät aus, und warten Sie, bis die Kondensation verdunstet ist, ehe Sie das Gerät verwenden. Die Verwendung des Gerätes bei gebildetem Kondenswasser kann zu Beschädigungen führen.
- Die Lebensdauer des ND-Filtererkennungsschalters beträgt etwa fünf Jahre.
- Wenn bei der Verwendung des Geräts Schmutz oder Staub am Anschluss zwischen dem Kameragehäuse und dem Sensorblock haftet, kann es zu Ausfällen oder Fehlfunktionen kommen. Achten Sie darauf, dass sich während der Lagerung kein Schmutz ansammelt.
- Der Lüfter ist ein Verschleißteil und muss regelmäßig ersetzt werden. Wenn das Gerät bei Raumtemperatur betrieben wird, sollte das Teil ca. alle 5

Jahre ersetzt werden (8 Stunden pro Tag; 25 Tage pro Monat).

Falls die Nutzung die normale Nutzungshäufigkeit überschreitet, ist die Lebensdauer ggf. entsprechend geringer.

Diese Ersatzfristen stellen jedoch nur eine allgemeine Richtlinie und keine Garantie der Lebensdauer dieses Teils dar. Weitere Informationen zum Austausch von Komponenten erhalten Sie bei Ihrem Händler.

So verhindern Sie elektromagnetische Interferenzen durch tragbare Kommunikationsgeräte

Die Verwendung von Mobiltelefonen und anderen Kommunikationsgeräten in der Nähe dieses Geräts kann zu Fehlfunktionen und der Störung von Audio- und Videosignalen führen.

Es wird empfohlen, mobile Kommunikationsgeräte in der Nähe des Geräts auszuschalten.

CMOS-Bildsensorphänomene der Kamera

Hinweis

Die folgenden Phänomene, die bei Bildern auftreten können, sind typisch für Bildsensoren. Sie stellen keine Fehlfunktion dar.

Weiße Flecken

Obwohl Bildsensoren mit Präzisionstechnologie gefertigt werden, können in seltenen Fällen kleine weiße Flecken auf dem Bildschirm erscheinen, die durch kosmische Strahlungseinflüsse usw. hervorgerufen werden.

Dies ist durch das Funktionsprinzip von Bildsensoren bedingt und stellt keine Fehlfunktion dar.

Diese weißen Flecken treten vornehmlich in folgenden Fällen auf:

- bei Betrieb mit hoher Umgebungstemperatur
- bei erhöhter Verstärkung (höherer Empfindlichkeit)

Flimmern

Beim Aufnehmen unter Beleuchtung von Leuchtstoff-, Natrium- oder Quecksilberdampflampen oder LEDs können Bildschirmflimmern und Farbabweichungen auftreten.

Vorsichtsmaßnahmen bezüglich der ND-Filter

- **Reinigungsmethode**
Entfernen Sie Staub und Schmutz mit einer weichen Bürste oder mit einem Blasebalg von der Oberfläche. Falls die Oberfläche stark verunreinigt ist, feuchten Sie einen weichen Lappen oder ein Objektivreinigungstuch mit Objektivreiniger an und wischen Sie die Oberfläche sanft ab.
- **Lagermethode**
Lagerung in einer ND-Filtertasche.
- Wenn der ND-Filter längere Zeit direkter Sonneneinstrahlung ausgesetzt wird, können sich Charakteristik und Leistung verschlechtern.

Leistungsmerkmale

Das CBK-3621XS ist ein Imager-Verlängerungssatz, der an eine MPC-3628/MPC-3626 (separat erhältlich) angeschlossen werden kann.

Die Verlängerung kann in verschiedenen Aufnahmesituationen verwendet werden, wobei die Leistung des Imagers nicht eingeschränkt wird.

- **Verlängerung von bis zu 12 m**

Das CBK-3621XS wird zwischen der MPC-3628/MPC-3626 und dem Imagerblock angebracht, wodurch dieser um ca. 4,5 m verlängert wird. Sie können diesen auch um bis zu 12 m verlängern, indem Sie das CBK-12C3621 (optional) anbringen.

- **Unterstützt ND-Filter vom Drop-in-Typ**

Es werden neun austauschbare ND-Filter unterstützt (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4).

- **Unterstützt Objektive mit PL-Fassung/ E-Fassung**

Das Gerät kann mit einem Objektiv mit PL- oder E-Fassung verwendet werden. Es unterstützt die gleichen Objektive wie die MPC-3628/MPC-3626.

- **Unterstützt Verbindung mit externen Geräten**

Zusätzlich zum Imager-Signal wird eine Stromversorgung mit 24 V zum Imagerblock hin geliefert, mit der ein Objektivservo betrieben werden kann.

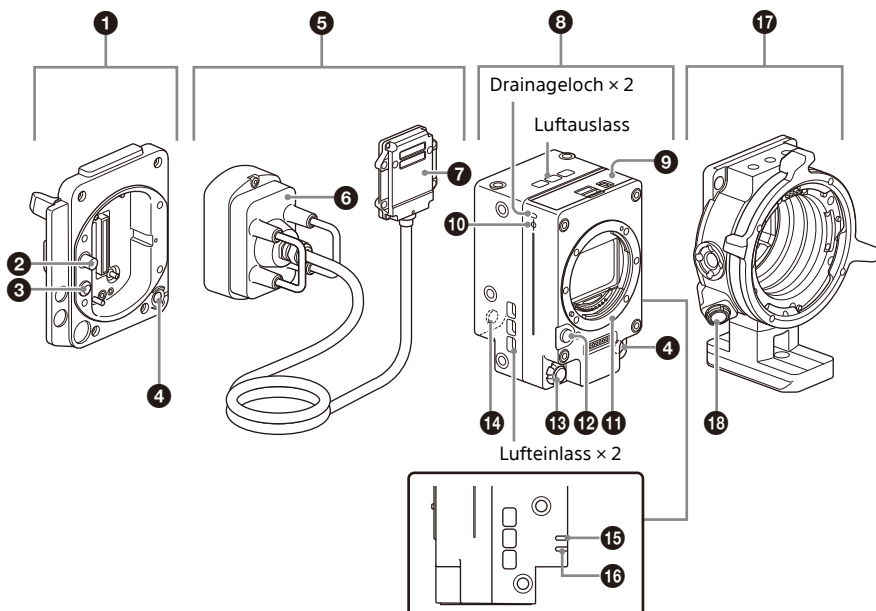
- **Unterstützt Eingabe von Objektiv-Metadaten**

Die Objektivinformationen können abgerufen werden, indem Objektiv-Metadaten von einer externen Quelle eingespeist werden.

- **Ausgestattet mit einem 8.6K-CMOS-Bildsensor**

Das Gerät ist mit dem gleichen Bildsensor wie die MPC-3628 ausgestattet und kann somit auf der Grundlage der Einstellungen der MPC-3628 betrieben werden.

Position und Funktion der Teile



1 Kameragehäuseadapter

Adapter zum Anbringen am Kameragehäuse und zum Verlängern des Imagerblocks.

2 Anschluss MONITOR IN (Typ BNC)

Nicht unterstützt.

3 Anschluss 24 V IN (Fischer 3-polig)

Eingang für externe Gleichspannungsversorgung des Imagerblock-Adapters.

4 Taste ASSIGN 3 (frei belegbare Funktionstaste)

Wechselt die zugewiesene Funktion zwischen Ein/Aus (Aktivieren/Deaktivieren) oder aktiviert die Funktion durch jeden Druck.

Die Leuchte leuchtet orange, wenn die zugewiesene Funktion eingeschaltet (aktiviert) ist.

Einzelheiten zur Funktionszuweisung siehe Bedienungsanleitung zur MPC-3628/ MPC-3626.

5 Abnehmbares Kabel

Abnehmbares Verlängerungskabel mit 4,5 m Länge zur Verbindung zwischen Kameragehäuseadapter und Kamerakopf.

6 Empfänger

Empfängeradapter zum Anschluss an den Kameragehäuseadapter.

7 Transceiver

Adapter, mit dem die Verbindung zum Kamerakopf hergestellt wird.

8 Kamerakopf

Imagerblock mit einem 8.6K-CMOS-Bildsensor.

9 ND-Filter-Einschubblock

Einschub zum Einsetzen der mitgelieferten ND-Filter.

10 Markierung ϕ (Phi)

Die Markierung ϕ (Phi) zeigt die Lage der Oberfläche des Bildsensors an. Verwenden Sie diese Markierung als Referenz, um den Abstand von der Kamera zum Motiv genau zu messen.

11 Block mit E-Fassung

12 Objektivfreigabetaste

13 Anschluss 24 V OUT (Fischer 3-polig)

Ausgangsanschluss für externe Stromversorgung.

Hierüber erfolgt die Versorgung mit dem am Anschluss 24 V IN des Kameragehäuseadapters anliegenden Strom.

Dieser Anschluss kann als externe Stromversorgung für einen Objektivservo oder ein anderes Gerät verwendet werden. Er kann außerdem zur Eingabe eines REC-Auslösesignals verwendet werden.

Hinweise

- Je nach der Ausgangsstromstärke und der Länge des abnehmbaren Kabels kann die Spannung des Netzteilaustrags an diesem Anschluss unter der Spannung des an den 24 V IN-Anschlusses angeschlossenen Netzteils liegen.
 - Abnehmbares Kabel (4,5 m): ca. 0,50 V Spannungsabfall bei einer Ausgangsstromstärke von 1 A bzw. 1,00 V Spannungsabfall bei einer Ausgangsstromstärke von 2 A
 - Abnehmbares Kabel (12 m, optional): ca. 1,40 V Spannungsabfall bei einer Ausgangsstromstärke von 1 A bzw. 2,80 V Spannungsabfall bei einer Ausgangsstromstärke von 2 A
- Einzelheiten zu den Spezifikationen des 3-poligen Fischer-Anschlusses siehe Bedienungsanleitung zu MPC-3628/MPC-3626.

14 Taste ASSIGN 5 (frei belegbare Funktionstaste)

Wechselt die zugewiesene Funktion zwischen Ein/Aus (Aktivieren/Deaktivieren) oder aktiviert die Funktion durch jeden Druck.

Die Leuchte leuchtet orange, wenn die zugewiesene Funktion eingeschaltet (aktiviert) ist. Einzelheiten zur Funktionszuweisung siehe Bedienungsanleitung zur MPC-3628/MPC-3626.

15 LED (rot)

Fungiert als REC-Leuchte und Fehler-/Warnanzeige.

16 LED (grün)

Leuchtet, wenn die Stromversorgung eingeschaltet ist.

17 PL-Fassungsadapter

18 Anschluss LENS META IN (LEMO 4-polig)

Eingangsanschluss für Objektiv-Metadaten.

Steckverbinder am Gerät:

LEMO EGG.0B.304.CLL



Nr.	Signal
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Kommunikationsprotokoll: Cooke/i
Kommunikationspegel: RS-232C
Typischer kompatibler Steckverbinder (nur zur Referenz): LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Hinweise

- Einzelheiten zu den Befestigungslöchern für Zubehör siehe Zeichnung mit äußeren Abmessungen auf der Rückseite dieses Dokuments.
- Schalten Sie vor dem Herstellen der Verbindung beide zu verbindenden Geräte aus.

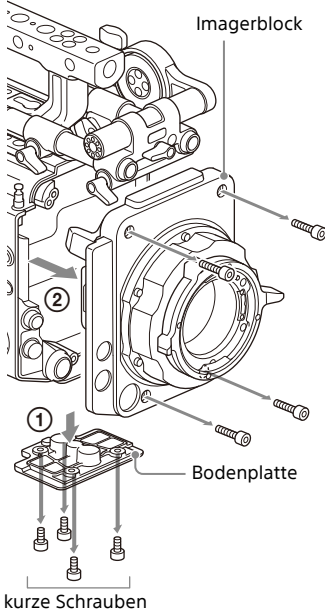
- Achten Sie darauf, ein mit dem Standard RS-232C kompatibles Kommunikationsgerät für die Übertragung von Objektiv-Metadaten korrekt anzuschließen. Durch eine fehlerhafte Signalverbindung kann das Gerät beschädigt werden.

Anbringen an der Kamera

Hinweise

- Schalten Sie die Kamera aus, und lassen Sie sie mindestens 30 Minuten abkühlen, bevor Sie das Gerät anbringen oder abnehmen. Führen Sie den Vorgang an einem staubfreien Ort zügig durch, damit kein Staub und keine sonstigen Fremdkörper in die Kamera und die Adapter gelangen können.
- Achten Sie darauf, die Anschlüsse und Komponenten nicht zu beschädigen.
- Falls die Adapteranschlüsse mit Staub oder anderen Fremdstoffen verunreinigt sind, können Datenübertragungsfehler auftreten. Reinigen Sie in diesem Fall die Anschlüsse.

- 1 Entfernen Sie die vier Innensechskantschrauben an der Unterseite, und nehmen Sie die Bodenplatte ab (①). Entfernen Sie dann die vier Innensechskantschrauben an der Vorderseite, und nehmen Sie den Imagerblock vom Kameragehäuse ab (②).**

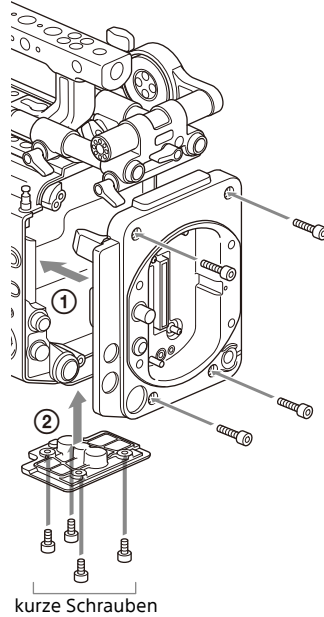


Hinweis

Richten Sie das Objektiv nach unten aus, wenn Sie den entfernten Imagerblock auf eine ebene Oberfläche legen. Falls die Seite mit dem Kühlkörper nach unten weist, kann sich das Auflagemaß (Flanschbrennweite) ändern.

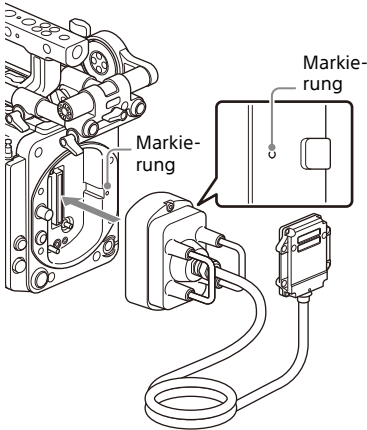
- 2 Bringen Sie den Kameragehäuseadapter an (①). Bringen Sie dann die Bodenplatte an (②).**

Montieren Sie die acht mitgelieferten Innensechskantschrauben vor, die sie in Schritt 2 entfernt haben. Ziehen Sie diese dann mit einem Innensechskantschlüssel fest (Anzugsmoment 1,4 Nm).



3 Bringen Sie den Empfänger für das abnehmbare Kabel am Kameragehäuseadapter an.

Richten Sie ihn mithilfe der beiden Markierungen seitlich am Empfänger aus, und befestigen Sie ihn mithilfe der beiden Innensechskantschrauben. Ziehen Sie die Schrauben mit einem Innensechskantschlüssel an (Anzugsmoment 1,4 Nm).



Hinweis

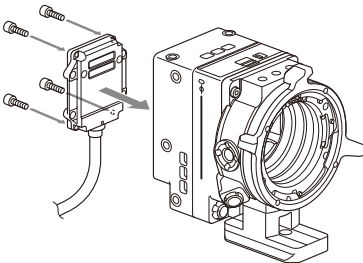
Wenn der Kameragehäuseadapter, das abnehmbare Kabel und der Kamerakopf nicht ordnungsgemäß angebracht sind, startet die MPC-3628/MPC-3626 nicht. Bringen Sie die Komponenten sicher an.

Abnehmen von der Kamera

- 1 Nehmen Sie den Transceiver von der Kamera ab.
- 2 Nehmen Sie den Empfänger vom Kameragehäuseadapter ab.
- 3 Nehmen Sie den Kameragehäuseadapter vom Kameragehäuse ab.
- 4 Bringen Sie den Imagerblock am Kameragehäuse an (Anzugsmoment 1,4 Nm).

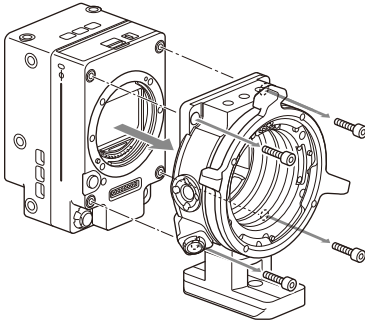
4 Bringen Sie den Transceiver für das abnehmbare Kabel am Kamerakopf an.

Montieren Sie die vier mitgelieferten Innensechskantschrauben vor, und ziehen Sie diese dann mit einem Innensechskantschlüssel fest (Anzugsmoment 1,4 Nm).



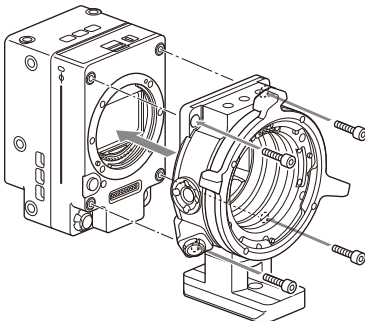
Entfernen des PL-Fassungsadapters

Entfernen Sie die vier Innensechskantschrauben mit einem Innensechskantschlüssel und nehmen Sie den PL-Fassungsadapter vom Kamerakopf ab.



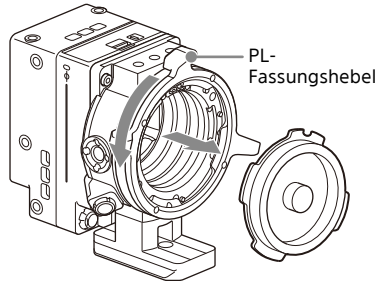
Anbringen des PL-Fassungsadapters

Montieren Sie die vier mitgelieferten Innensechskantschrauben vor, und ziehen Sie diese dann mit einem Innensechskantschlüssel fest (Anzugsmoment 1,4 Nm).



Anbringen eines Objektivs mit PL-Fassung

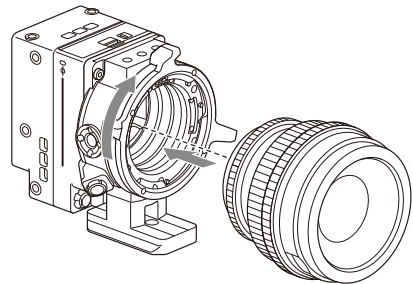
- 1 Nehmen Sie die Fassungsabdeckung von der Objektivfassung ab, indem Sie den PL-Fassungshebel gegen den Uhrzeigersinn drehen.



Hinweis

Drehen Sie den PL-Fassungshebel gegen den Uhrzeigersinn bis zum Anschlag.

- 2 Führen Sie das Objektiv in die Objektivfassung ein, indem Sie den konkaven Teil des Objektivs am Positionierstift oben rechts an der Objektivfassung ausrichten.
- 3 Sichern Sie das Objektiv, indem Sie den PL-Fassungshebel im Uhrzeigersinn drehen und das Objektiv dabei festhalten.



Hinweis

Drehen Sie beim Anbringen eines Objektivs mit PL-Fassung nicht das Objektiv. Andernfalls kann der Hot-Shoe-Stift beschädigt werden.

Anbringen eines Cooke /i-Objektivs

Richten Sie den Kontakt des Objektivs am Hot Shoe des Geräts aus.

Abnehmen des Objektivs

1 Drehen Sie den PL-Fassungshebel gegen den Uhrzeigersinn und halten Sie dabei das Objektiv von unten fest.

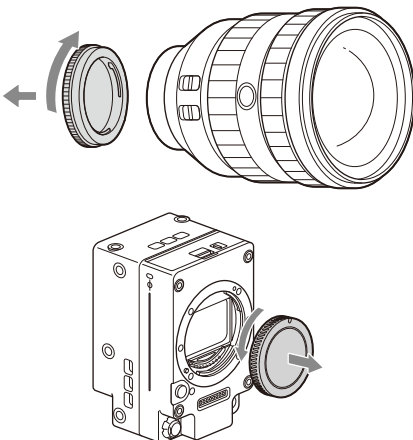
2 Ziehen Sie das Objektiv nach vorne.

Hinweise

- Wenn nicht in Kürze ein anderes Objektiv angebracht wird, richten Sie den konkaven Teil der Fassungsabdeckung vorsichtig aus und sichern Sie diese, indem Sie den PL-Fassungshebel im Uhrzeigersinn drehen.
- Legen Sie zur ordnungsgemäßen Kommunikation über die Objektivschnittstelle die Einstellungen an der MPC-3628/MPC-3626 unter Lens Configuration passend zum verwendeten Objektiv fest. Einzelheiten zur Konfiguration siehe Bedienungsanleitung zur MPC-3628/MPC-3626.

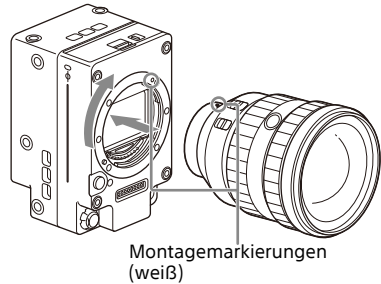
Anbringen eines Objektivs mit E-Fassung

1 Entfernen Sie Deckel und Abdeckung von Gerät und Objektiv.



2 Richten Sie die Objektivmontagemarkierung (weiß) am Gerät aus, führen Sie das Objektiv vorsichtig ein und drehen Sie es dann im Uhrzeigersinn.

Sobald es einrastet, ist ein Klicken zu hören.



Hinweis

Drücken Sie nicht die Objektivfreigabetaste, wenn Sie ein Objektiv anbringen.

Abnehmen des Objektivs

Gehen Sie zum Abnehmen eines Objektivs wie nachfolgend beschrieben vor.

1 Halten Sie die Objektivfreigabetaste gedrückt und drehen Sie das Objektiv gegen den Uhrzeigersinn, während Sie dabei halten.

2 Ziehen Sie das Objektiv nach vorne.

Hinweise

- Wenn Sie ein Objektiv abnehmen, richten Sie das Objektiv so aus, dass die Montagemarkierungen an Objektivverriegelungsring und Camcorder aufeinander aus.
- Fassen Sie das Objektiv sicher mit der Hand, um zu verhindern, dass es herunterfällt.
- Falls Sie nicht unmittelbar danach ein anderes Objektiv anbringen, setzen Sie stets den Gehäusedeckel auf.

Anpassen der Flanschbrennweite

Das Gerät wird mit bereits angepasster Flanschbrennweite ausgeliefert. Falls Sie die Flanschbrennweite anpassen müssen, entfernen Sie die Objektivfassung und wechseln die Distanzstücke gegen solche der richtigen Dicke aus. Sie können die Dicke um $\pm 0,1$ mm in Schritten von 0,01 mm anpassen.

Distanzstücke

Die folgenden Distanzstücke werden mit dem Gerät geliefert.

0,05 mm \times 1 (rund)

0,01 mm \times 15 (1/3 Bogen)

1/3-Bogen-Distanzstücke sollten stets als Satz von drei Stück verwendet werden.

Legen Sie Distanzstücke auf, um die Flanschbrennweite zu vergrößern. Das Gerät wird mit bereits mithilfe dreier Arten Distanzstücke angepasster Flanschbrennweite ausgeliefert.

0,10 mm (rund)

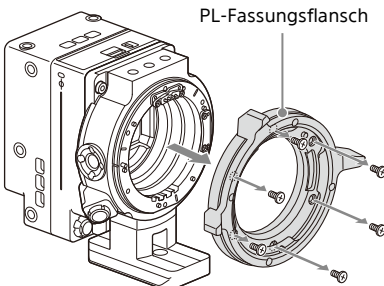
0,05 mm (rund)

0,01 mm (1/3 Bogen)

Bei Auslieferung ist ein Siegel angebracht, auf dem die Dicke der Distanzstücke verzeichnet ist.

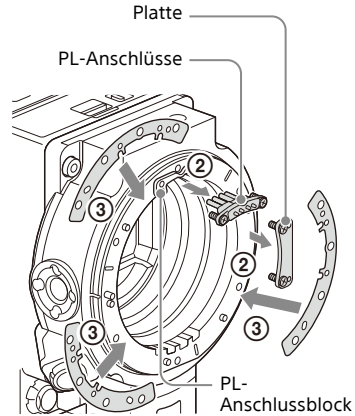
Anpassen der Flanschbrennweite

1 Entfernen Sie die sechs Innensechsrundsrauben und den PL-Fassungsflansch.



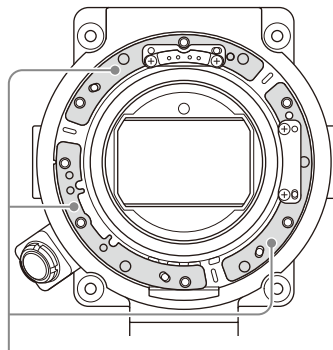
2 Lockern Sie die vier Phillips-Kreuzschlitzschrauben, mit denen PL-Anschlüsse und Platte gesichert sind, und entfernen Sie PL-Anschlüsse, PL-Anschlussblock und Platte.

3 Bringen Sie Distanzstücke am PL-Fassungsadapter an (drei Positionen).



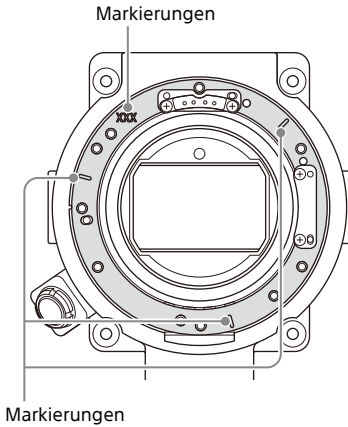
Bei Verwendung von 1/3-Bogen-Distanzstücken

Bringen Sie Distanzstücke so an, dass diese an allen drei Stellen die gleiche Dicke ergeben.



Distanzstücke

Bei Verwendung von runden Distanzstücken
Bringen Sie die Distanzstücke mit der
markierten Oberfläche zur Vorderseite
weisend an.



Entfernen des ND-Filters

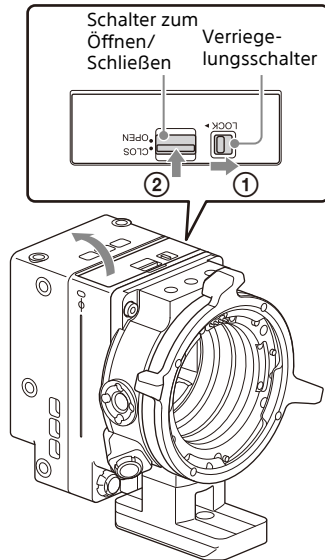
Hinweis

Vermeiden Sie es, die Oberfläche direkt zu berühren, damit der Filter nicht zerkratzt oder durch Fingerabdrücke verunreinigt wird. Halten Sie den Filter beim Einsetzen und Herausnehmen am Rahmen.

1 Öffnen Sie die Abdeckung des ND-Filter-Einschubblocks.

Drücken Sie den Verriegelungsschalter nach rechts, um die Abdeckung freizugeben (①) und drücken Sie den Schalter zum Öffnen/Schließen in die Position OPEN (②).

Der ND-Filter wird etwas ausgeworfen.



Hinweise

- Die Dichte des eingesetzten ND-Filters wird auf dem Sucher/Monitorbildschirm der Kamera angezeigt.
- Falls kein ND-Filter eingesetzt ist oder der Typ des ND-Filters nicht erkannt werden kann, wird eine Meldung auf dem Subdisplay-Bildschirm der Kamera angezeigt und die REC-Leuchte beginnt zu blinken.

Informationen zur Startzeit

Wenn Sie das Hauptgerät der MPC-3628/ MPC-3626 und das CBK-3621XS erstmals verbinden, kann der Start der Kamera je nach Einstellungen für die Projektbildrate und den Imager-Modus bis zu etwa fünf Minuten dauern.

Informationen zur APR-Vorgangsdauer

Nachdem die Ausführung der APR (Auto Pixel Restoration, automatische Pixelwiederherstellung) beendet ist, dauert das Speichern der Daten etwa 120 Sekunden. Wenn Sie während dieser Phase das Gerät ausschalten, dauert es bis zum tatsächlichen Ausschalten somit etwa 120 Sekunden. Außerdem wird ein Neustartvorgang um etwa 120 Sekunden länger, wenn er aufgrund von Einstellungsänderungen ausgelöst wird.

Inspektion und Wartung

Inspektion vor der Aufnahme

Prüfen Sie das Gerät vor der Aufnahme, um sicherzustellen, dass das System ordnungsgemäß funktioniert.

Reinigung

Wischen Sie Schmutz an der Außenseite und ggf. durch das Anbringen/Abnehmen entstandene Metallspäne mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie in extremen Fällen ein leicht mit Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und trocknen Sie das Gehäuse anschließend ab. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Alkohol oder Verdüner, da diese Entfärbungen oder andere Schäden an der Geräteoberfläche hervorrufen können. Reinigen Sie das Gerät nicht mit einem Blasebalg. Staub und andere Partikel in der Luft können in das Gerät gelangen und Fehlfunktionen verursachen. Verwenden Sie außerdem keine Druckluftreiniger wie Air Duster, da die optischen Komponenten hierdurch beschädigt werden können.

- Wenn bei der Verwendung des Geräts Schmutz oder Staub am Anschluss zwischen dem Kameragehäuse und dem Sensorblock haftet, kann es zu Ausfällen oder Fehlfunktionen kommen. Achten Sie darauf, dass sich während der Lagerung kein Schmutz ansammelt.
- Falls die Federkontakte der Steckverbinder verschmutzt werden, kann durch mangelhafte Verbindung eine Fehlfunktion verursacht werden. Falls Fehler oder andere Probleme auftreten, wischen Sie jeglichen Schmutz sanft mit einem weichen Tuch oder Wattestäbchen ab.
- Wenn das Kabel in einer einzigen Schleife aufgewickelt wird, kann es sich verdrehen und verwickeln. Wickeln Sie das Kabel daher in Form einer Acht auf.

Hinweise zu Geräteverbindungen

- Ein drahtloser Sony-Audioempfänger kann nicht zum Anschließen des CBK-3621XS verwendet werden.

Hinweise zum Umgang mit Kabeln

- Vermeiden Sie, das Kabel zu quetschen, zu knicken oder zu beschädigen.
- Achten Sie beim Aufwickeln und Verlegen des Kabels darauf, das Kabel nicht übermäßig zu verdrehen.
- Minimaler Aufrolldurchmesser für garantierte Kabelfunktion: mindestens 45 mm

Technische Daten

Allgemeines

Leistungsaufnahme

ca. 15 W (max.) (5.5K 2.39:1 120 FPS)

Betriebstemperatur

0 °C bis 40 °C

Lagertemperatur

-20 °C bis +60 °C

Äußere Abmessungen

Siehe Rückseite dieses Dokuments.

Gewicht

Kamerakopf

ca. 0,54 kg

Kamerakopf + PL-Fassungsadapter

ca. 1,05 kg

4,5 m Kabel

ca. 0,86 kg

Kameragehäuseadapter

ca. 0,36 kg

Eingangs-/Ausgangsanschlüsse

Anschluss 24 V IN (Fischer 3-polig) (1)

Anschluss 24 V OUT (Fischer 3-polig) (1)

Anschluss LENS META IN

(LEMO 4-polig) (1)

Mitgeliefertes Zubehör

ND-Filter (9)

Distanzstück (rund) (1) (4-730-328-11)

Distanzstücke (1/3 Bogen) (15)

(4-730-328-21)

E-Objektivfassungsdeckel (1)

PL-Objektivfassungsdeckel (1)

Schrauben für Empfänger (2)

(5-000-390-02)

Bedienungsanleitung (1)

Garantie (1)

Gestaltung und technische Daten können jederzeit ohne Ankündigung geändert werden.

Hinweise

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGlichem ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR ANSPRÜCHE JEDER ART VON DEN BENUTZERN DIESES GERÄTS ODER VON DRITTER SEITE ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR DIE BEENDIGUNG ODER EINSTELLUNG VON DIENSTLEISTUNGEN BEZÜGLICH DIESES GERÄTS GLEICH AUS WELCHEM GRUND ÜBERNEHMEN.

Italiano

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

Questo apparecchio non è idoneo per l'uso in ambienti in cui possono essere presenti bambini.



Questo simbolo significa "Attenzione: fare riferimento al manuale utente per ulteriori informazioni".

Attenzione

Questo prodotto è stato testato ed è risultato conforme ai limiti delineati nella normativa EMC quando si utilizzano cavi di collegamento di lunghezza inferiore a 3 metri per le seguenti porte:

- 24 V OUT
- LENS META IN

AVVERTENZA

L'utilizzo di questo apparecchio in un ambiente residenziale potrebbe causare interferenze radio.

Non destinato all'uso in ambienti residenziali.

ATTENZIONE

I campi elettromagnetici di particolari frequenze potrebbero interferire con l'immagine e l'audio di questa unità.

Per i clienti in Europa

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.

Attenzione

L'uso di comandi o regolazioni o l'esecuzione di procedimenti diversi da quelli specificati in questo manuale possono causare esposizione a radiazioni pericolose.

Attenzione

L'uso di strumenti ottici con questo prodotto aumenta il rischio di danni alla vista.



IEC 60825-1:2014
PRODOTTO LASER
DI CLASSE 1

Precauzioni per l'uso

- Per poter utilizzare questa unità, il software della telecamera deve essere aggiornato almeno alla versione indicata di seguito.
MPC-3628/MPC-3626: V4.0 o successiva
Scollegare l'unità e riassemblare la telecamera al suo stato normale prima di procedere con l'aggiornamento.
- Non lasciare l'unità in luoghi esposti alla luce solare diretta. La luce solare può venire focalizzata su oggetti vicini e causare incendi. Se l'esposizione alla luce solare diretta è inevitabile, assicurarsi di montare sempre il coperchietto obiettivo.
- Qualora l'unità venga spostata rapidamente da un ambiente freddo a uno caldo, oppure se la temperatura ambiente dovesse aumentare improvvisamente, è possibile che si formi umidità sulle superfici esterne dell'unità e/o al suo interno. Questo fenomeno è denominato condensazione. In tal caso, spegnere l'unità ed attendere la scomparsa della condensazione prima di riavviarla. L'utilizzo dell'unità mentre è presente condensazione può causare danni all'unità stessa.
- La vita prevista utile prevista per il microswitch di rilevamento del filtro ND è di circa 5 anni.
- L'utilizzo dell'unità mentre è presente sporco o polvere sul connettore fra il corpo della telecamera e il blocco sensore può causare guasti o malfunzionamenti. Evitare l'accumulo di sporco durante la conservazione.
- La ventola è una parte di consumo e necessita di una sostituzione periodica. Se l'apparecchio viene utilizzato a temperatura ambiente, il ciclo normale di sostituzione è di circa 5 anni (8 ore al giorno per 25 giorni al mese). Se le condizioni di utilizzo eccedono i valori normali sopra indicati, la vita

prevista si ridurrà proporzionalmente. Tuttavia, ciò ha un valore puramente indicativo e non implica alcuna garanzia sulla durata di vita prevista di questo componente. Per ulteriori informazioni sulla sostituzione dei componenti, rivolgersi al proprio rivenditore.

Prevenzione delle interferenze elettromagnetiche causate da dispositivi di comunicazione portatili

L'uso di telefoni portatili e di altri dispositivi di comunicazione in prossimità di questa unità potrebbe causare malfunzionamenti ed interferenze con i segnali audio e video. Si consiglia di spegnere eventuali dispositivi di comunicazione portatili nelle vicinanze di questa unità.

Fenomeni intrinseci al sensore immagini CMOS della telecamera

Nota

Di seguito si descrivono alcuni fenomeni che potrebbero apparire nelle immagini. Tali fenomeni sono intrinseci dei sensori di immagine. Non possono essere considerati malfunzionamenti.

Macchiette bianche

I sensori di immagine sono prodotti con tecnologie di elevatissima precisione. Ciononostante possono presentarsi sullo schermo in alcuni rari casi piccole macchiette bianche, causate da raggi cosmici ecc.

Questo fenomeno è intrinseco al principio di funzionamento dei sensori immagine e non indica la presenza di guasti.

Le macchiette bianche tendono ad apparire principalmente nei seguenti casi:

- in caso di elevate temperature ambiente
- se è stato aumentato il guadagno (sensibilità)

Sfarfallio

Nelle riprese effettuate con illuminazione prodotta da lampade fluorescenti o LED o ai vapori di sodio o di mercurio, lo schermo potrebbe presentare fenomeni di sfarfallio e i colori potrebbero apparire alterati.

Precauzioni relative ai filtri ND

- **Metodo di pulizia**
Rimuovere la polvere e lo sporco dalla superficie con un pennello morbido o con un soffietto. Se la superficie è molto sporca, inumidire un panno morbido o una salviettina per lenti con un detergente per lenti e pulire delicatamente la superficie.
- **Metodo di conservazione**
Conservare in una custodia per filtri ND.
- **L'esposizione del filtro ND alla luce solare diretta per lunghi periodi può compromettere le caratteristiche e le prestazioni.**

Caratteristiche

Il modello CBK-3621XS è un kit di estensione per imager per il montaggio su una telecamera MPC-3628/MPC-3626 (venduta separatamente).

L'estensione può essere utilizzata in numerose situazioni di ripresa senza causare alcun degrado nelle prestazioni dell'imager.

- **Estensione fino a 12 m**

Collegando il kit CBK-3621XS alla telecamera MPC-3628/MPC-3626 e al blocco imager, è possibile separare il blocco imager dal corpo della telecamera fino a una distanza di 4,5 m circa. È possibile raggiungere una distanza di 12 m montando il kit CBK-12C3621 (opzionale).

- **Consente l'utilizzo di filtri ND di tipo a discesa**

Sono disponibili nove filtri ND intercambiabili (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4).

- **Supporta obiettivi con attacco PL o E-mount**

L'unità può essere utilizzata con obiettivi con attacco PL o E-mount. Supporta gli stessi obiettivi della telecamera MPC-3628/MPC-3626.

- **Supporta la connessione con dispositivi esterni**

Oltre al segnale dell'imager, trasmette alimentazione a 24 V al blocco imager, utilizzabile per alimentare un servocomando per obiettivo.

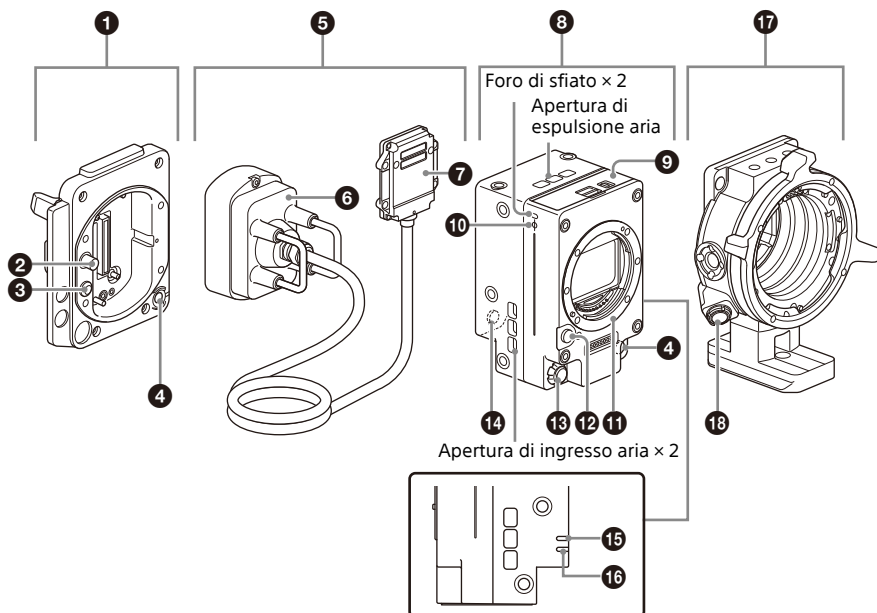
- **Supporta l'ingresso di metadati obiettivo**

Le informazioni sull'obiettivo possono essere ottenute acquisendo i metadati dell'obiettivo da una fonte di ingresso esterna.

- **Con sensore di immagine CMOS 8.6K**

Con lo stesso sensore di immagine della telecamera MPC-3628, che consente il funzionamento dell'unità in base alle impostazioni della telecamera MPC-3628.

Ubicazione e funzione delle parti



1 Adattatore per il corpo della telecamera

L'adattatore viene montato sul corpo della telecamera per consentire la separazione del blocco imager.

2 Connettore MONITOR IN (tipo BNC)

Non supportato.

3 Connettore 24 V IN (Fischer 3 pin)

Connettore di ingresso dell'alimentazione c.c. che fornisce alimentazione esterna all'adattatore del blocco imager.

4 Tasto programmabile ASSIGN 3

Ogni pressione del pulsante attiva o disattiva oppure abilita la funzione programmata.

L'indicatore si illumina con luce arancione quando la funzione assegnata è impostata su On (abilitata) o attivata.

Per informazioni dettagliate sull'assegnazione delle funzioni, fare riferimento alle Istruzioni per l'uso della telecamera MPC-3628/MPC-3626.

5 Cavo rimovibile

Cavo di estensione rimovibile da 4,5 m per il collegamento dell'adattatore per il corpo della telecamera alla testa della telecamera.

6 Ricevitore

Adattatore ricevitore che viene montato sull'adattatore per il corpo della telecamera.

7 Ricetrasmittitore

Adattatore che viene montato sulla testa della telecamera.

8 Testa della telecamera

Blocco imager dotato di sensore di immagine CMOS 8.6K.

9 Sezione vano filtro ND

Apertura per l'inserimento dei filtri ND in dotazione.

10 Simbolo ϕ (fi)

Il simbolo ϕ (fi) segnala la posizione della superficie del sensore di immagine. Utilizzarlo come riferimento per misurare con precisione la distanza fra la telecamera e il soggetto.

11 Blocco E-mount

12 Pulsante di sblocco obiettivo

13 Connettore 24 V OUT (Fischer 3 pin)

Connettore di uscita per alimentazione esterna.

Fornisce in uscita la tensione di alimentazione connessa al connettore 24 V IN dell'adattatore per il corpo della telecamera.

Può essere utilizzato per l'alimentazione esterna del servocomando di un obiettivo o di altri dispositivi. Può essere utilizzato per immettere un segnale di REC Trigger.

Note

- In base all'assorbimento di corrente in uscita e alla lunghezza del cavo rimovibile, la tensione di alimentazione fornita da questo connettore potrà risultare inferiore alla tensione dell'alimentazione connessa al connettore 24 V IN.
 - Cavo rimovibile (4,5 m): Caduta di tensione di circa 0,50 V con uscita di 1 A o 1,00 V con uscita di 2 A
 - Cavo rimovibile (12 m) (opzione): Caduta di tensione di circa 1,40 V con uscita di 1 A o 2,80 V con uscita di 2 A
- Per informazioni dettagliate sulle specifiche tecniche dei connettori Fischer a 3 pin fare riferimento alle Istruzioni per l'uso della telecamera MPC-3628/MPC-3626.

14 Tasto programmabile ASSIGN 5

Ogni pressione del pulsante attiva o disattiva oppure abilita la funzione programmata.

L'indicatore si illumina con luce arancione quando la funzione assegnata è impostata su On (abilitata) o attivata.

Per informazioni dettagliate sull'assegnazione delle funzioni, fare riferimento alle Istruzioni per l'uso della telecamera MPC-3628/MPC-3626.

15 LED (rosso)

Funziona come spia REC e indicatore di errori/avvisi.

16 LED (verde)

Si illumina quando l'unità è accesa.

17 Adattatore attacco PL

18 Connettore LENS META IN (LEMO a 4 pin)

Connettore di ingresso metadati dell'obiettivo.

Connettore utilizzato sull'unità: LEMO EGG.0B.304.CLL



N.	Segnale
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Protocollo di comunicazione: Cooke/i
Livelli di comunicazione: RS-232C

Connettore compatibile tipico (solo come riferimento): LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Note

- Per informazioni dettagliate sui fori di montaggio per accessori, fare riferimento allo schema delle dimensioni esterne alla fine di questo documento.
- Prima di effettuare il collegamento, spegnere sia l'unità che il dispositivo da collegare.

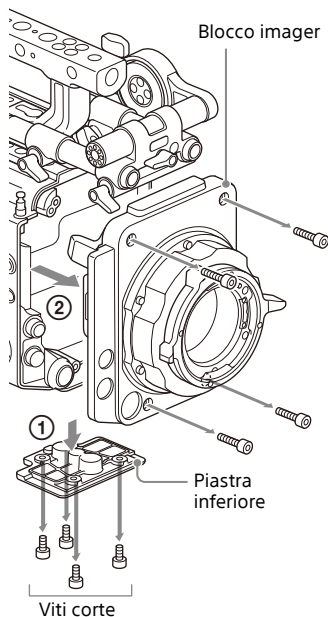
- Collegare correttamente un dispositivo di comunicazione dei metadati dell'obiettivo compatibile RS-232C. Il collegamento errato del segnale potrebbe danneggiare il dispositivo.

Montaggio sulla telecamera

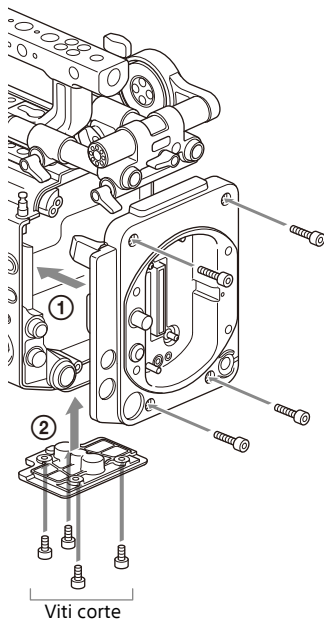
Note

- Spegnere la telecamera ed attendere il raffreddamento per almeno 30 minuti in modo da consentire il montaggio o lo smontaggio dell'unità.
Eeguire l'operazione velocemente in un ambiente privo di polvere per evitare l'ingresso di polvere o sporco nella telecamera e adattatori.
- Prestare attenzione a non danneggiare connettori o componenti.
- La presenza di sporco o polvere sui connettori dell'adattatore potrebbe dare luogo a errori nel trasferimento dei dati. In tal caso, pulire il connettore.

- 1** Rimuovere le quattro viti a esagono incassato sul lato inferiore dell'adattatore e rimuovere la piastra inferiore (①). Rimuovere quindi le quattro viti a esagono incassato sul lato anteriore e rimuovere il blocco imager dal corpo della telecamera (②).



- 2** Montare l'adattatore per il corpo della telecamera (①) e quindi montare la piastra inferiore (②). Allineare e fissare con le otto viti a esagono incassato precedentemente rimosse al punto 2 e stringere con una chiave a brugola, applicando una coppia di serraggio di 1,4 N·m.

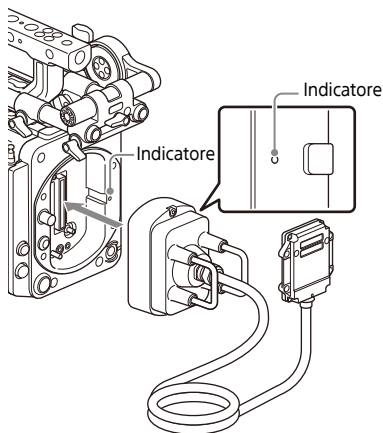


Nota

Appoggiare sempre il blocco imager rimosso su una superficie piana con il lato dell'obiettivo rivolto verso il basso. Se il lato del dissipatore di calore rimane rivolto verso il basso, la distanza focale di flangia potrebbe subire variazioni.

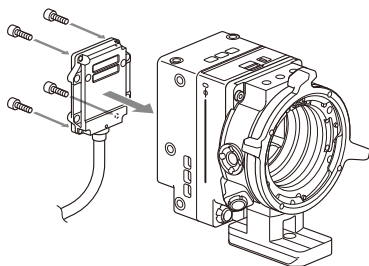
3 Montare il ricevitore del cavo rimovibile sull'adattatore per il corpo della telecamera.

Allineare gli appositi indicatori presenti sui lati superiore, destro e sinistro del ricevitore e fissare con le due viti a esagono incassato, quindi serrare con una chiave a brugola applicando una coppia di serraggio di 1,4 N·m.



4 Montare il ricetrasmittitore del cavo rimovibile sulla testa della telecamera.

Allineare e fissare con le quattro viti a esagono incassato e stringere con una chiave a brugola, applicando una coppia di serraggio di 1,4 N·m.



Nota

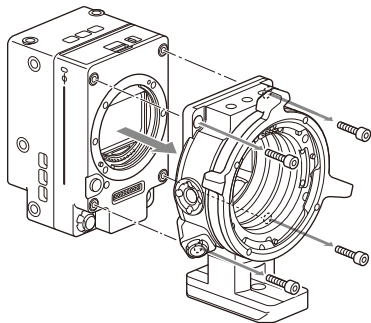
Se l'adattatore del corpo della telecamera, il cavo rimovibile e la testa della telecamera non sono fissati correttamente, la MPC-3628/ MPC-3626 non potrà avviarsi. Fissare saldamente i dispositivi.

Rimozione dalla telecamera

- 1 Rimuovere il ricetrasmittitore dalla telecamera.
- 2 Rimuovere il ricevitore dall'adattatore per il corpo della telecamera.
- 3 Rimuovere l'adattatore per il corpo della telecamera dal corpo della telecamera.
- 4 Montare il blocco imager sul corpo della telecamera (coppia di serraggio 1,4 N·m).

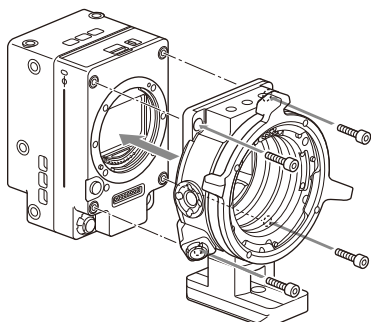
Rimozione dell'adattatore per attacco PL

Rimuovere le quattro viti a esagono incassato utilizzando una chiave a brugola, quindi rimuovere l'adattatore per attacco PL dalla testa della telecamera.



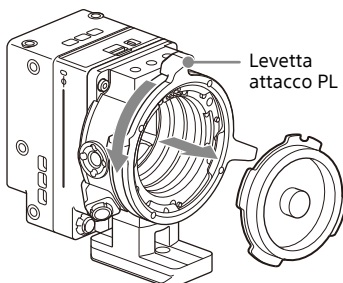
Montaggio dell'adattatore per attacco PL

Allineare e fissare con le quattro viti a esagono incassato e stringere con una chiave a brugola, applicando una coppia di serraggio di 1,4 N·m.



Montaggio di un obiettivo con attacco PL

- 1 Rimuovere il coperchietto dall'attacco dell'obiettivo ruotando la levetta dell'attacco PL in senso antiorario.**

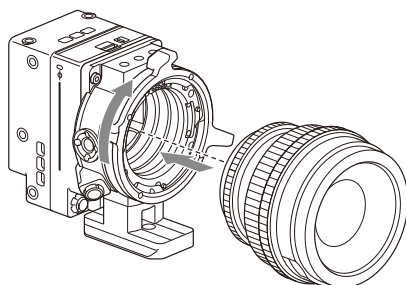


Nota

Ruotare la levetta dell'attacco PL in senso antiorario fino alla posizione di arresto.

- 2 Inserire l'obiettivo nell'attacco allineando il recesso dell'obiettivo con il pernetto di riferimento in alto a destra sull'attacco dell'obiettivo.**

- 3 Fissare l'obiettivo ruotando in senso orario la levetta dell'attacco PL, sostenendo l'obiettivo con la mano.**



Nota

Non ruotare gli obiettivi con attacco PL durante il montaggio. In caso contrario si potrebbe danneggiare il perno della slitta di contatto a caldo.

Montaggio di un obiettivo Cooke /i

Allineare i contatti dell'obiettivo con la slitta a caldo dell'unità.

Rimozione dell'obiettivo

1 Ruotare la levetta dell'attacco PL in senso antiorario sostenendo l'obiettivo da sotto.

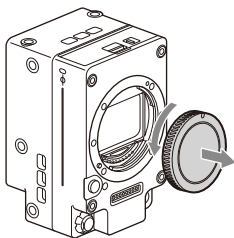
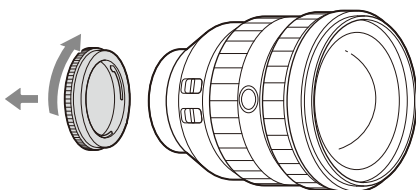
2 Tirare l'obiettivo in avanti.

Note

- Se non viene montato un altro obiettivo immediatamente, montare il coperchietto di protezione dell'attacco allineandone il recesso con cura, quindi bloccare il coperchietto ruotando la levetta dell'attacco PL in senso orario.
- Per garantire la corretta comunicazione I/F con l'obiettivo, configurare le impostazioni di Lens Configuration della MPC-3628/MPC-3626 in base all'obiettivo effettivamente utilizzato. Per informazioni dettagliate sulla configurazione, fare riferimento alle Istruzioni per l'uso della telecamera MPC-3628/MPC-3626.

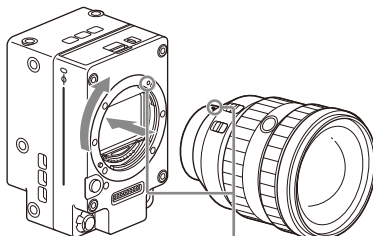
Montaggio di un obiettivo E-mount

1 Rimuovere i coperchietti di protezione dal corpo della telecamera e dall'obiettivo.



2 Allineare l'indicatore (bianco) sull'innesto dell'obiettivo con quello dell'unità, inserire con cura l'obiettivo nell'innesto, quindi ruotare l'obiettivo in senso orario.

Al blocco in posizione si percepirà uno scatto.



Indicatori di allineamento (bianco)

Nota

Non premere il pulsante di sblocco obiettivo durante l'inserimento di un obiettivo.

Rimozione dell'obiettivo

Per rimuovere l'obiettivo, procedere come descritto di seguito.

1 Mantenendo premuto il pulsante di sblocco obiettivo, ruotare l'obiettivo in senso antiorario sostenendolo con la mano.

2 Tirare l'obiettivo in avanti.

Note

- Durante la rimozione, allineare l'indicatore di innesto sulla ghiera di blocco obiettivo con l'indicatore di innesto del camcorder.
- Afferrare saldamente l'obiettivo con la mano per impedirne la caduta.
- Se non viene montato un altro obiettivo immediatamente, montare sempre il coperchietto di protezione del corpo.

Regolazione della lunghezza focale di flangia

L'unità viene fornita con la lunghezza focale di flangia già registrata. Se dovesse essere necessario regolare ulteriormente la lunghezza focale di flangia, rimuovere l'attacco obiettivo e sostituire gli spessori con altri delle dimensioni desiderate. Lo spessore è regolabile da $-0,1$ mm a $+0,1$ mm in incrementi di $0,01$ mm.

Spessori

Con l'unità sono forniti i seguenti spessori:
 $0,05$ mm \times 1 (circolare)
 $0,01$ mm \times 15 (1/3 di arco)

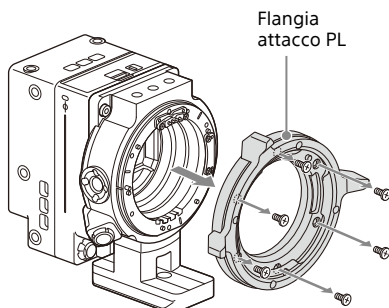
Gli spessori da 1/3 di arco devono essere sempre utilizzati in gruppi di 3. Aggiungere spessori per aumentare la lunghezza focale di flangia. L'unità viene fornita con la lunghezza focale di flangia già regolata utilizzando i seguenti tre tipi di spessori:

$0,10$ mm (circolare)
 $0,05$ mm (circolare)
 $0,01$ mm (1/3 di arco)

Lo spessore di regolazione alla spedizione è indicato da un adesivo.

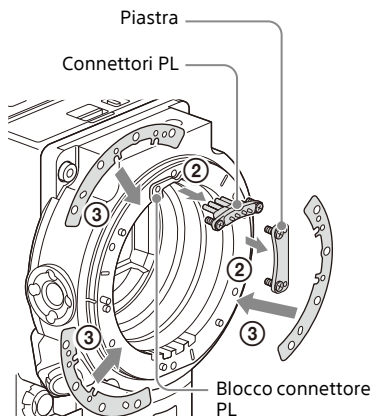
Regolazione della lunghezza focale di flangia

1 Svitare le sei viti Torx e rimuovere la flangia dell'attacco PL.



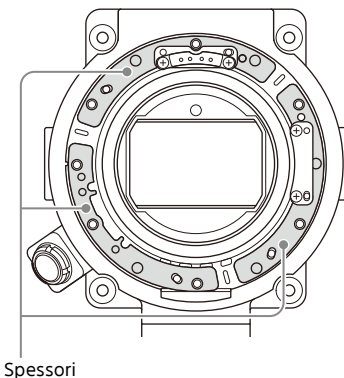
2 Allentare le quattro viti Phillips che fissano i connettori PL e la piastra, quindi rimuovere i connettori PL, il blocco connettore PL e la piastra.

3 Collocare gli spessori sull'adattatore dell'attacco PL (tre posizioni).



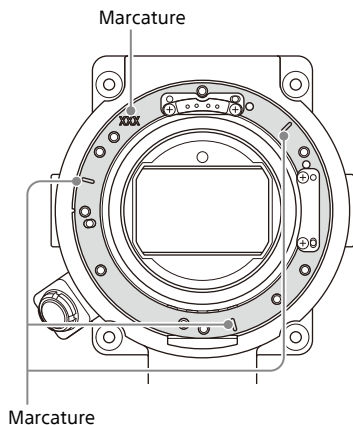
Utilizzo di spessori da 1/3 di arco

Utilizzare sempre spessori identici nelle tre posizioni.



Utilizzo di spessori circolari

Montare con la superficie in cui sono presenti marcature rivolta in avanti.



Rimozione del filtro ND

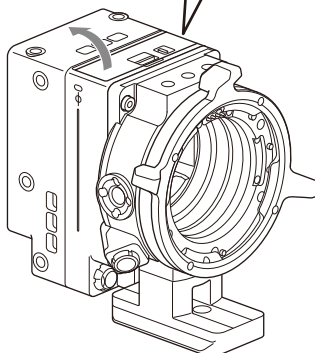
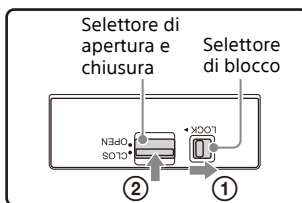
Nota

Evitare di toccare direttamente la superficie dei filtri per proteggere da graffi o impronte digitali. Afferrare sempre il filtro per il suo telaio durante l'inserimento o l'estrazione.

1 Aprire il coperchio della sezione vano filtro ND.

Spingere il selettore di blocco verso destra per sbloccare il coperchio (1), quindi spingere il selettore di apertura e chiusura (2) verso la posizione OPEN.

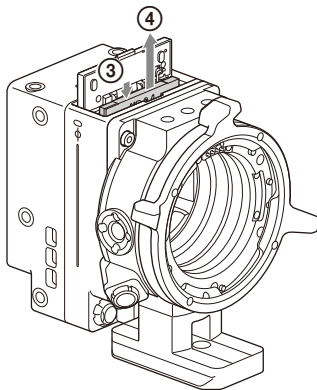
Il filtro ND viene espulso parzialmente.



2 Premere delicatamente il filtro ND (③).

Il blocco viene rilasciato e il filtro ND viene completamente espulso.

3 Estrarre il filtro ND (④).



Nota

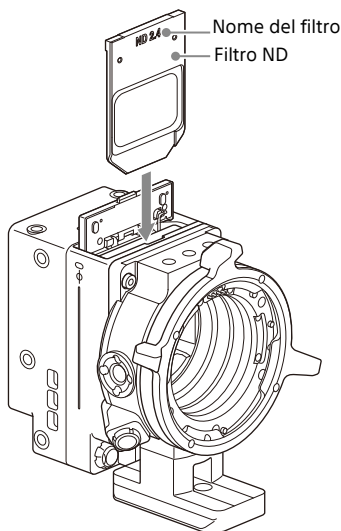
Spingendo verso l'interno il filtro ND, questo si bloccherà nuovamente. Se viene bloccato, chiudere il coperchio della sezione vano filtro ND e ricominciare dal passo 1.

Inserimento di un filtro ND

1 Aprire il coperchio della sezione vano filtro ND.

2 Inserire il filtro ND, con il lato su cui è riportato il nome del filtro rivolto verso la parte anteriore dell'unità, nell'apertura del vano filtro ND fino a percepire lo scatto in posizione.

Inserire il filtro ND come mostrato nel seguente diagramma, prestando attenzione all'orientamento verticale e alla posizione dei lati anteriore e posteriore.



3 Chiudere il coperchio e spingere il selettore di apertura e chiusura verso la posizione CLOSE.

Con la chiusura del coperchio, il filtro ND verrà spinto leggermente in fuori. Non si tratta di un malfunzionamento.

4 Spingere il selettore di blocco verso sinistra per bloccare il coperchio.

Note

- La densità del filtro ND inserito viene visualizzata sullo schermo del mirino o del monitor della telecamera.

- Se non è inserito alcun filtro ND oppure se il tipo di filtro ND non può essere riconosciuto, verrà visualizzato un messaggio sullo schermo secondario della telecamera e la spia REC inizierà a lampeggiare.

Informazioni sul tempo richiesto per l'avvio

Quando si collega per la prima volta l'unità principale della telecamera MPC-3628/ MPC-3626 e il CBK-3621XS, l'avvio della telecamera può richiedere circa 5 minuti, a seconda della frequenza dei fotogrammi del progetto e delle impostazioni della modalità dell'imager.

Informazioni sui tempi operativi dell'APR

Al termine dell'esecuzione dell'APR (Auto Pixel Restoration), il salvataggio dei dati richiede circa 120 secondi. Saranno quindi necessari circa 120 secondi per interrompere l'alimentazione, se si spegne l'alimentazione durante questa fase. Inoltre, in caso di riavvio a seguito della modifica delle impostazioni, il riavvio verrà prolungato di circa 120 secondi.

Controllo e manutenzione

Controllo prima della ripresa

Controllare sempre l'unità prima della ripresa per assicurarsi che il sistema funzioni normalmente.

Pulizia

Rimuovere con un panno morbido e asciutto lo sporco ed l'eventuale polvere metallica generata dal montaggio e dalla rimozione. In casi estremi, usare un panno inumidito con alcune gocce di detergente neutro, quindi asciugare.

Per evitare di scolorire o danneggiare la finitura superficiale dell'unità, non utilizzare mai solventi organici, ad esempio alcool o diluenti.

Non pulire l'unità con getti d'aria. Questo potrebbe causare l'ingresso nell'unità di polveri ed altre particelle sospese nell'aria, causando malfunzionamenti. Per evitare di danneggiare i componenti ottici, non utilizzare aria compressa per la pulizia, come ad esempio bombole antipolvere.

- L'utilizzo dell'unità mentre è presente sporco o polvere sul connettore fra il corpo della telecamera e il blocco sensore può causare guasti o malfunzionamenti. Evitare l'accumulo di sporco durante la conservazione.
- Se i contatti dei connettori di tipo pogo pin si sporcano, il collegamento scadente può causare un malfunzionamento. Se si verifica un errore o un altro problema, rimuovere delicatamente la sporcizia strofinando con un panno morbido o un batuffolo di cotone.
- Se avvolto in una sola spira, il cavo potrebbe attorcigliarsi e aggrovigliarsi. Avvolgere il cavo formando la figura di un otto.

Note sul collegamento di dispositivi

- Non è possibile utilizzare un ricevitore audio wireless Sony per il collegamento del CBK-3621XS.

Precauzioni per l'uso dei cavi

- Evitare di schiacciare, piegare o altrimenti danneggiare il cavo.
- Quando si avvolge e si installa il cavo, fare attenzione ed evitare di attorcigliarlo su se stesso.
- Diametro minimo della spira per garantire il funzionamento corretto del cavo: 45 mm o superiore

Caratteristiche tecniche

Generalità

Potenza assorbita

Circa 15 W (max) (5.5K 2.39:1 120 FPS)

Temperatura di funzionamento

Da 0 °C a 40 °C

Temperatura di conservazione

Da -20 °C a +60 °C

Dimensioni esterne

Fare riferimento al retro di questo documento.

Peso

Testa della telecamera

Circa 0,54 kg

Testa della telecamera + adattatore attacco PL

Circa 1,05 kg

Cavo da 4,5 m

Circa 0,86 kg

Adattatore per il corpo della telecamera

Circa 0,36 kg

Connettori di ingresso/uscita

Connettore 24 V IN (Fischer 3 pin) (1)

Connettore 24 V OUT (Fischer 3 pin) (1)

Connettore LENS META IN (LEMO a 4 pin) (1)

Accessori forniti in dotazione

Filtri ND (9)

Spessore (circolare) (1) (4-730-328-11)

Spessore (1/3 di arco) (15) (4-730-328-21)

Coperchietto obiettivo E-mount (1)

Coperchietto obiettivo attacco PL (1)

Viti per ricevitore (2) (5-000-390-02)

Istruzioni per l'uso (1)

Garanzia (1)

Design e caratteristiche tecniche soggette a modifiche senza preavviso.

Note

- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA UTENTI DI QUESTO APPARATO O DA TERZI.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCOSTANZA DI SERVIZI CORRELATI A QUESTO APPARATO.

Español

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

Este equipo no debe utilizarse en lugares donde haya niños.



Este símbolo significa "Precaución: Consulte el manual de usuario para obtener más información."

Precaución

Se han llevado a cabo las pruebas pertinentes en este producto y se ha determinado que cumple con los límites establecidos en la normativa CEM respecto al uso de cables de conexión de longitud inferior a los 3 metros para los siguientes puertos:

- 24 V OUT
- LENS META IN

ADVERTENCIA

El uso de este equipo en un entorno residencial podría causar interferencias radioeléctricas.

No está previsto para el uso en entornos residenciales.

ATENCIÓN

Los campos electromagnéticos de determinadas frecuencias pueden influir sobre las imágenes y el sonido de esta unidad.

Para los clientes de Europa

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.

Precaución

La utilización de controles o ajustes, o la realización de procedimientos no especificados aquí pueden

resultar en la exposición a radiación peligrosa.

Precaución

El uso de instrumentos ópticos con este producto aumentará el peligro para los ojos.



IEC 60825-1:2014
PRODUCTO LÁSER
DE CLASE 1

Precauciones de uso

- La cámara debe actualizarse a la siguiente versión de software o posterior para usar esta unidad.
MPC-3628/MPC-3626: V4.0 o posterior
Desconecte la unidad y vuelva a montar la cámara a su estado normal antes de realizar la actualización.
- No deje la unidad en un lugar expuesto a la luz solar directa. La luz del sol puede enfocarse en objetos cercanos y provocar un incendio. Si no puede evitar dejar la unidad expuesta a la luz solar directa, coloque siempre la tapa del objetivo.
- Si la unidad se lleva de repente de un lugar frío a uno cálido o si la temperatura ambiente sufre un aumento repentino, es posible que se acumule humedad en la superficie exterior o interior de la unidad. Este fenómeno se conoce como condensación. Si se produce condensación, apague la unidad y espere a que se evapore antes de ponerla en marcha. No utilice la unidad en ese estado, ya que podría dañarla.
- La vida útil del interruptor de detección del filtro ND es de aproximadamente 5 años.
- Usar esta unidad con suciedad o polvo adherido al conector entre el cuerpo de la cámara y el bloque del sensor puede causar un fallo o un mal funcionamiento. Al almacenar la unidad, procure que no se acumule suciedad.
- El ventilador es un consumible y, como tal, debe sustituirse periódicamente. Si utiliza la unidad a temperatura ambiente, el ciclo de sustitución normal será de 5 años aproximadamente (8 horas al día, 25 días al mes). Si el uso supera la frecuencia normal indicada, es posible que la vida útil se vea reducida en consecuencia. Sin embargo, el ciclo de sustitución representa solamente una directriz

general y no constituye ninguna garantía de la vida útil de este componente. Para obtener más información acerca de la sustitución de componentes, póngase en contacto con el distribuidor.

Cómo evitar interferencias electromagnéticas procedentes de dispositivos de comunicación portátiles

El uso de teléfonos móviles y otros dispositivos de comunicación cerca de esta unidad puede producir averías e interferencias con las señales de audio y vídeo.

Es recomendable que los dispositivos de comunicación portátiles que se encuentren cerca de esta unidad estén apagados.

Fenómenos del sensor de imagen CMOS de la cámara

Nota

Los siguientes fenómenos que podrían producirse en las imágenes están relacionados con los sensores de imagen. No indican que exista una avería.

Motas blancas

Aunque los sensores de imágenes se fabrican con tecnologías de alta precisión, es posible que se generen pequeñas motas blancas en la pantalla en casos excepcionales producidas por rayos cósmicos, etc.

Están relacionadas con el principio de los sensores de imágenes y no se trata de una avería.

Las motas blancas suelen verse especialmente en las siguientes situaciones:

- cuando se utiliza la unidad con una temperatura ambiente elevada
- cuando se ha elevado la ganancia (sensibilidad)

Parpadeo

Si captura imágenes bajo la luz producida por lámparas fluorescentes, lámparas de sodio, lámparas de vapor de mercurio o LED, es posible que la pantalla parpadee o que los colores varíen.

Precauciones relacionadas con los filtros ND

- **Método de limpieza**
Elimine el polvo y la suciedad de la superficie con un cepillo suave o un soplador. Si la superficie está muy sucia, humedezca un paño suave o una toalla de limpieza para objetivos con líquido limpiador de objetivos y limpie suavemente la superficie.
- **Método de almacenamiento**
Guarde el filtro en un estuche para filtros ND.
- La exposición del filtro ND a la luz directa del sol durante intervalos prolongados puede provocar la degradación de las características y el rendimiento.

Características

El modelo CBK-3621XS es un kit de extensión del sensor de imagen que se puede conectar a la MPC-3628/MPC-3626 (se vende por separado).

La extensión se puede utilizar en diversas situaciones de disparo sin degradar el rendimiento del sensor de imagen.

- **Extensión de hasta 12 m**

El modelo CBK-3621XS se coloca entre la MPC-3628/MPC-3626 y el bloque del sensor de imagen para extenderlo aproximadamente 4,5 m. También puede extenderse hasta 12 m añadiendo el modelo CBK-12C3621 (opcional).

- **Compatible con filtros ND de tipo drop-in**

Admite nueve filtros ND intercambiables (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4).

- **Compatible con objetivos con montura PL/montura E**

La unidad se puede utilizar con un objetivo con montura PL o montura E. Es compatible con los mismos objetivos que la MPC-3628/MPC-3626.

- **Admite la conexión con dispositivos externos**

Además de transmitir la señal de imagen, suministra alimentación de 24 V al bloque del sensor de imagen, que puede utilizarse para alimentar un servo de objetivo.

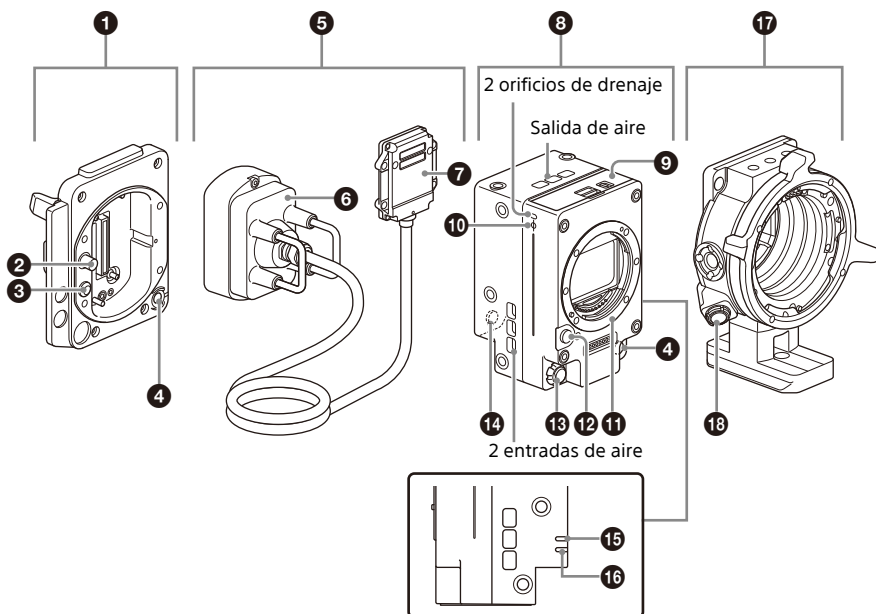
- **Admite la entrada de metadatos del objetivo**

Es posible obtener información del objetivo al introducir los metadatos del objetivo desde una fuente externa.

- **Equipado con un sensor de imagen CMOS de 8.6K**

Cuenta con el mismo sensor de imagen que la MPC-3628, lo que permite que la unidad funcione con los ajustes de la MPC-3628.

Posición y función de los componentes



1 Adaptador del cuerpo de la cámara

Adaptador que se acopla al cuerpo de la cámara para extender el bloque del sensor de imagen.

2 Conector MONITOR IN (tipo BNC)

No compatible.

3 Conector 24 V IN (Fischer, 3 contactos)

Conector de entrada de la fuente de alimentación de CC que suministra la fuente de alimentación externa al adaptador del bloque del sensor de imagen.

4 Botón ASSIGN 3 (asignable)

Alterna la función asignada entre activado/desactivado (habilitar/deshabilitar) o activa la función cada vez que se pulse.

El testigo se enciende en naranja cuando la función asignada está encendida (habilitada) o activada.

Para obtener más información sobre la asignación de funciones, consulte las Instrucciones de funcionamiento de la MPC-3628/MPC-3626.

5 Cable desmontable

El cable de extensión desmontable de 4,5 m permite la conexión entre el adaptador del cuerpo de la cámara y el cabezal de la cámara.

6 Receptor

Adaptador de receptor que se conecta al adaptador del cuerpo de la cámara.

7 Transceptor

Adaptador que se conecta al cabezal de la cámara.

8 Cabezal de la cámara

Bloque del sensor de imagen equipado con un sensor CMOS de 8.6K.

9 Bloque de ranuras para filtros ND

Ranura para insertar los filtros ND suministrados.

10 Marca ϕ (phi)

La marca ϕ (phi) indica la posición de la superficie del sensor de imagen. Utilícela como referencia para medir con precisión la distancia entre la cámara y el sujeto.

11 Bloque de montura E

12 Botón de desbloqueo del objetivo

13 Conector 24 V OUT (Fischer, 3 contactos)

Conector de salida del suministro de alimentación externo.

Transmite la fuente de alimentación conectada al conector 24 V IN del adaptador del cuerpo de la cámara. Se puede conectar como fuente de alimentación externa para un servo de objetivo u otro dispositivo. También se puede utilizar para recibir una señal de activación REC.

Notas

- Según la corriente de salida y la longitud del cable desmontable, la tensión salida del suministro de alimentación de este conector puede ser inferior a la tensión de la fuente de alimentación conectada al conector 24 V IN.
 - Cable desmontable (4,5 m): caída de tensión aproximada de 0,50 V con una salida de 1 A o de 1,00 V con una salida de 2 A
 - Cable desmontable (12 m) (opcional): caída de tensión aproximada de 1,40 V a una salida de 1 A o caída de tensión 2,80 V a una salida de 2 A
- Para obtener más información acerca de las especificaciones del conector Fischer de 3 contactos, consulte las Instrucciones de funcionamiento de la MPC-3628/MPC-3626.

14 Botón ASSIGN 5 (asignable)

Alterna la función asignada entre activado/desactivado (habilitar/deshabilitar) o activa la función cada vez que se pulse. El testigo se enciende en naranja cuando la función asignada está encendida (habilitada) o activada.

Para obtener más información sobre la asignación de funciones, consulte las Instrucciones de funcionamiento de la MPC-3628/MPC-3626.

15 LED (rojo)

Funciona como testigo REC e indicador de errores/advertencias.

16 LED (verde)

Se ilumina cuando la alimentación está encendida.

17 Adaptador de montura PL

18 Conector LENS META IN (LEMO de 4 contactos)

Conector de entrada de metadatos del objetivo.

Conector utilizado en la unidad:
LEMO EGG.0B.304.CLL



N.º	Señal
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Protocolo de comunicación: Cooke/i
Niveles de comunicación: RS-232C
Conector compatible típico (solo de referencia): LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Notas

- Para obtener detalles sobre los orificios de montaje de accesorios, consulte el dibujo de las dimensiones externas al final de este documento.
- Antes de realizar la conexión, apague tanto la unidad como el dispositivo al que va a establecer la conexión.

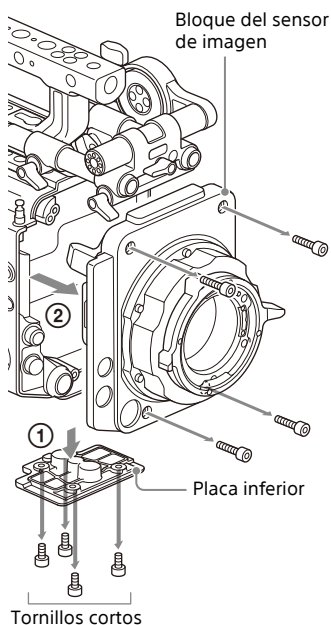
- Asegúrese de conectar correctamente un dispositivo de comunicación de metadatos del objetivo compatible con RS-232C. La conexión de señal incorrecta puede dañar el dispositivo.

Colocación en la cámara

Notas

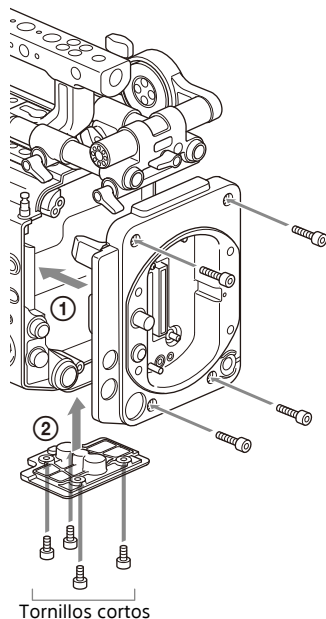
- Apague la cámara y espere al menos 30 minutos para permitir que se enfríe lo suficiente antes de colocar/retirar la unidad. Realice la operación rápidamente en un entorno sin polvo para evitar que el polvo u otros materiales entren en la cámara y los adaptadores.
- Tenga cuidado de no dañar los conectores y las piezas.
- Se puede producir un error de transferencia de datos si hay polvo u otro material adherido a los conectores del adaptador. Si esto ocurre, limpie el conector.

- 1** Retire los cuatro tornillos hexagonales de la parte inferior y la placa inferior (①) y, a continuación, retire los cuatro tornillos hexagonales de la parte frontal y el bloque del sensor de imagen del cuerpo de la cámara (②).



- 2** Coloque el adaptador del cuerpo de la cámara (①) y, a continuación, la placa inferior (②).

Alinee y fije utilizando los ocho tornillos hexagonales, extraídos en el paso 2, y apriételos con una llave hexagonal (par de apriete de 1,4 N·m).

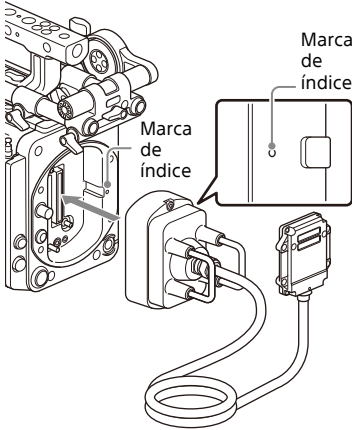


Nota

Oriente el lado del objetivo hacia abajo cuando coloque el bloque del sensor de imagen extraído sobre una superficie plana. Si el lado del dissipador de calor se coloca boca abajo, la distancia de registro (distancia focal de brida) puede cambiar.

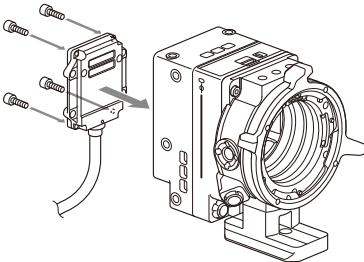
3 Conecte el receptor del cable desmontable al adaptador del cuerpo de la cámara.

Alinee con las marcas de índice en los lados del receptor; posteriormente, fíjelo con los dos tornillos hexagonales y apriete con una llave hexagonal (par de apriete de 1,4 N·m).



4 Conecte el transceptor del cable desmontable al cabezal de la cámara.

Alinee y fije la conexión utilizando los cuatro tornillos hexagonales suministrados, y apriete con una llave hexagonal (par de apriete de 1,4 N·m).



Nota

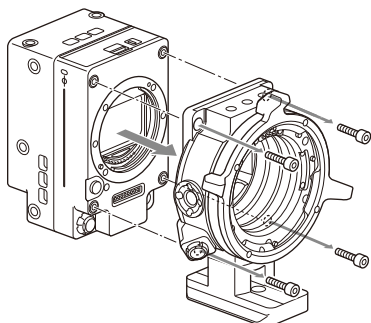
Si el adaptador del cuerpo de la cámara, el cable desmontable y el cabezal de la cámara no están correctamente fijados, la MPC-3628/MPC-3626 no se iniciará. Asegúrese de conectar los dispositivos de forma segura.

Extracción de la cámara

- 1 Retire el transceptor de la cámara.
- 2 Retire el receptor del adaptador del cuerpo de la cámara.
- 3 Retire el adaptador del cuerpo de la cámara del cuerpo de la cámara.
- 4 Coloque el bloque del sensor de imagen al cuerpo de la cámara (par de apriete de 1,4 N·m).

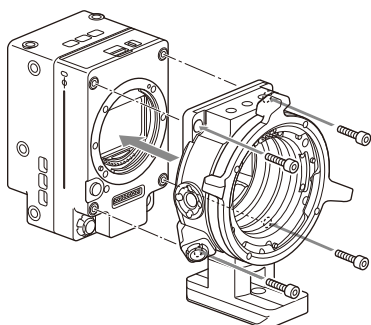
Extracción del adaptador de montura PL

Afloje los cuatro tornillos hexagonales con una llave hexagonal y retire el adaptador de montura PL del cabezal de la cámara.



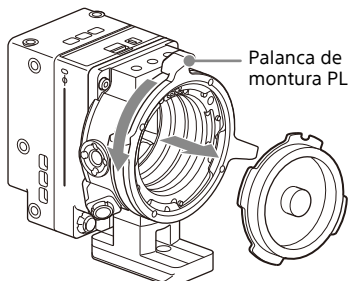
Conexión del adaptador de montura PL

Alinee y fije la conexión utilizando los cuatro tornillos hexagonales suministrados, y apriete con una llave hexagonal (par de apriete de 1,4 N·m).



Instalación de un objetivo con montura PL

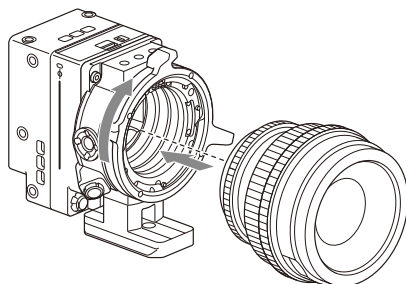
- 1 Retire la tapa de la montura del objetivo girando la palanca de la montura PL en el sentido contrario a las agujas del reloj.



Nota

Gire la palanca de montura PL en el sentido contrario a las agujas del reloj hasta la posición del tope.

- 2 Introduzca el objetivo en el soporte haciendo coincidir la parte cóncava del objetivo con el pasador de posición de la parte superior derecha del soporte del objetivo.
- 3 Fije el objetivo sujetándolo y girando la palanca de la montura PL en el sentido de las agujas del reloj.



Nota

No gire el objetivo cuando esté colocando el objetivo con montura PL. Podría provocar datos en la conexión directa mediante zapata.

Montaje de un objetivo Cooke/i

Haga coincidir los contactos del objetivo con la zapata caliente de la unidad.

Extracción del objetivo

1 Mientras sujeta el objetivo por debajo, gire la palanca de la montura PL en sentido contrario a las agujas del reloj.

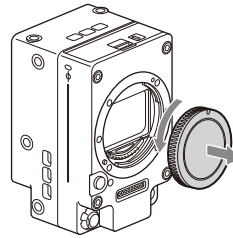
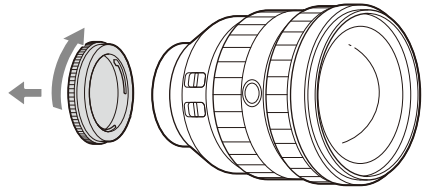
2 A continuación, tire del objetivo.

Notas

- Si no va a instalar otro objetivo de forma inmediata, haga coincidir la parte cóncava de la tapa de la montura y, a continuación, fije la tapa de la montura girando la palanca de la montura PL en el sentido de las agujas del reloj.
- Para garantizar una comunicación I/F correcta con el objetivo, configure los ajustes de Lens Configuration en la MPC-3628/MPC-3626 para que coincidan con el objetivo en uso. Para obtener más información sobre la configuración, consulte las Instrucciones de funcionamiento de la MPC-3628/MPC-3626.

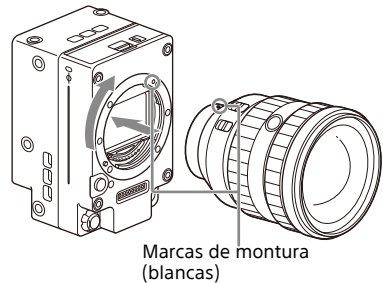
Instalación de un objetivo con montura E

1 Retire la tapa y la cubierta de la unidad y del objetivo.



2 Alinee la marca de montura (blanca) con la unidad, inserte el objetivo con cuidado y gírelo en el sentido de las agujas del reloj.

Se oirá un clic cuando el objetivo quede bloqueado en su posición.



Nota

No presione el botón de liberación del objetivo al instalarlo.

Extracción del objetivo

Retire el objetivo siguiendo el siguiente procedimiento.

1 Mantenga presionado el botón de liberación del objetivo y gire el objetivo en sentido contrario a las agujas del reloj mientras lo sujeta.

2 A continuación, tire del objetivo.

Notas

- Al retirar un objetivo, alinee la marca de montura del anillo de bloqueo del objetivo con la marca de montura de la videocámara.
- Sujete el objetivo con firmeza en la mano para evitar que se caiga.
- Si no va a instalar otro objetivo de inmediato, coloque siempre la tapa del cuerpo.

Ajuste de la distancia focal del plano de montaje

La unidad se suministra con el ajuste de la distancia focal del plano de montaje configurado. Si necesita ajustar la distancia focal del plano de montaje, extraiga el soporte del objetivo y cambie las arandelas por otras del grosor adecuado. Puede ajustar el grosor en $\pm 0,1$ mm en incrementos de 0,01 mm.

Arandelas

La unidad se suministra con las siguientes arandelas:

1 arandela de 0,05 mm (circular)

15 arandelas de 0,01 mm (1/3 arco)

Las arandelas de 1/3 de arco siempre se deben usar como un conjunto de tres arandelas. Inserte las arandelas para aumentar la distancia focal del plano de montaje. La unidad se suministra con el ajuste de la distancia focal del plano de montaje configurado utilizando los tres tipos de arandelas siguientes:

0,10 mm (circular)

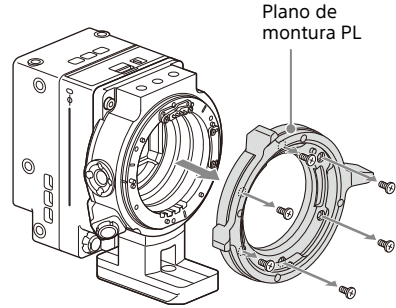
0,05 mm (circular)

0,01 mm (1/3 arco)

Cuando se suministra, se añade un sello que muestra el grosor de la arandela.

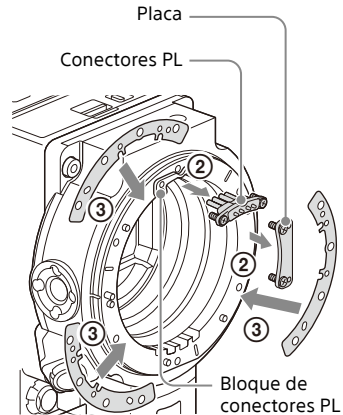
Ajuste de la distancia focal del plano de montaje

1 Retire los seis tornillos Torx y extraiga la brida de la montura PL.

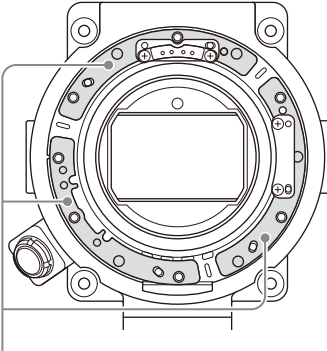


2 Afloje los cuatro tornillos Phillips que sujetan los conectores PL y la placa, y retire los conectores PL, el bloque de conectores PL y la placa.

3 Fije las arandelas al adaptador del montura PL (tres puntos).

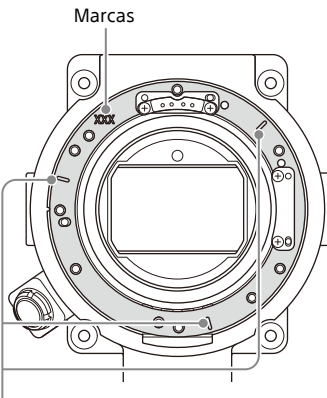


Al usar arandelas de 1/3 de arco
Fije las arandelas de manera que
tengan el mismo grosor en los tres
puntos.



Arandelas

Al usar arandelas circulares
Fíjelas a la superficie que tiene marcas
hacia la parte frontal.



Marcas

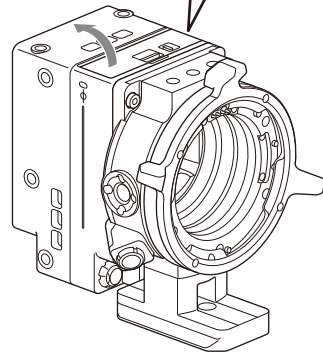
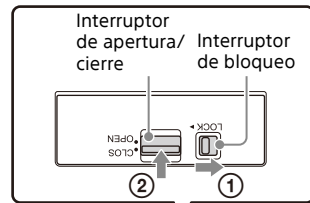
Extracción del filtro ND

Nota

Evite tocar la superficie directamente para no rayar el filtro ni dejar huellas dactilares. Al instalar o retirar el filtro, sujételo por el marco.

1 Abra la tapa del bloque de ranuras para filtros ND.

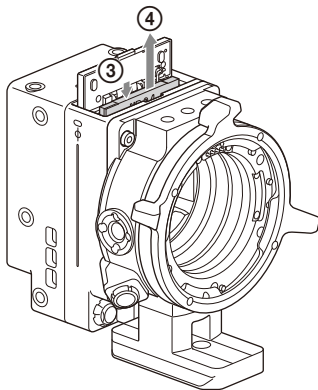
Empuje el interruptor de bloqueo hacia la derecha para desbloquear la tapa (①) y desplace el interruptor de apertura/cierre a la posición OPEN (②). El filtro ND se expulsará ligeramente.



2 Presione suavemente el filtro ND (③).

El bloqueo se libera y el filtro ND se expulsa completamente.

3 Retire el filtro ND (④).



Nota

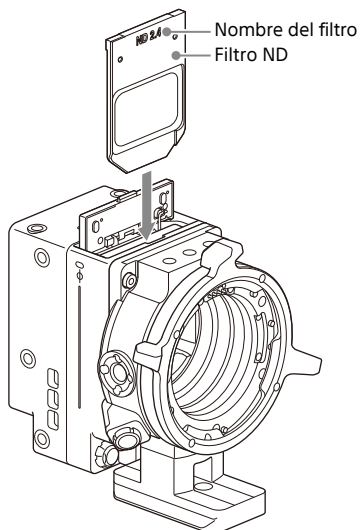
Si el filtro ND se empuja hacia adentro, se bloqueará nuevamente. Si esto sucede, cierre la tapa del bloque de ranuras para filtros ND y repita el proceso desde el paso 1.

Inserción de un filtro ND

1 Abra la tapa del bloque de ranuras para filtros ND.

2 Inserte el filtro ND con el lado con el nombre del filtro orientado hacia el frente en la ranura para filtros ND hasta que encaje en su lugar.

Inserte el filtro ND como se muestra en el siguiente diagrama. Preste atención a la orientación vertical y las superficies frontal/trasera.



3 Cierre la tapa y empuje el interruptor de apertura/cierre a la posición CLOSE.

Al cerrar la tapa, el filtro ND se expulsará ligeramente, pero esto no es un fallo de funcionamiento.

4 Empuje el interruptor de bloqueo hacia la izquierda para bloquear la tapa.

Notas

- La densidad del filtro ND insertado se mostrará en la pantalla del visor/monitor de la cámara.

- Si no se inserta un filtro ND o si el tipo de filtro ND no puede reconocerse, aparecerá un mensaje en la pantalla secundaria de la cámara y el testigo REC comenzará a parpadear.

Acerca del tiempo de puesta en marcha

Al conectar la unidad principal de la MPC-3628/MPC-3626 y el CBK-3621XS por primera vez, es posible que la cámara tarde unos 5 minutos en iniciarse, dependiendo la velocidad de fotogramas del proyecto y de los ajustes del modo de sensor de imagen.

Acerca del tiempo de funcionamiento de APR

Una vez finalizada la ejecución de APR (Auto Pixel Restoration), guardar los datos tomará aproximadamente 120 segundos. Por lo tanto, tardará unos 120 segundos en apagarse si desconecta la alimentación durante este tiempo. Además, si la unidad se reinicia como resultado del cambio de configuración, la operación de reinicio se prolongará unos 120 segundos.

Inspección y mantenimiento

Inspección antes de disparar

Inspeccione la unidad antes de disparar para asegurarse de que el sistema esté funcionando normalmente.

Limpieza

Limpie la suciedad del exterior y el polvo metálico creado por la colocación o la extracción con un paño suave y seco. En casos extremos, utilice un paño humedecido con un detergente neutro y, a continuación, séquela.

No utilice disolventes orgánicos, como alcohol o diluyente, puesto que pueden producir decoloración u otros daños en el acabado de la unidad.

No limpie la unidad con un soplador de aire. El polvo y otras partículas suspendidas en el aire pueden entrar en la unidad y causar un mal funcionamiento. Además, evite limpiarla con un equipo de aire a alta presión, por ejemplo, una aspiradora de polvo, ya que podría dañar los componentes ópticos.

- Usar esta unidad con suciedad o polvo adherido al conector entre el cuerpo de la cámara y el bloque del sensor puede causar un fallo o un mal funcionamiento. Al almacenar la unidad, procure que no se acumule suciedad.
- Si los contactos de los conectores de tipo "pogo pin" se ensucian, es posible que la conexión deficiente provoque una avería. Si se presenta un error u otro problema, elimine con cuidado cualquier suciedad con un paño suave o un bastoncillo de algodón.
- El cable puede retorcerse y enredarse si se enrolla en un solo bucle. Recoja el cable formando un ocho.

Notas sobre las conexiones de dispositivos

- No se puede usar un receptor inalámbrico de audio Sony para conectar el modelo CBK-3621XS.

Notas sobre la manipulación de los cables

- No aplaste, doble ni dañe el cable.
- Tenga cuidado al enrollar e instalar el cable para que este no se vea sujeto a fuertes retorceduras.
- Diámetro mínimo de la bobina para un funcionamiento garantizado del cable: 45 mm o más

Especificaciones

General

Consumo de energía

Aprox. 15 W (máx.) (5.5K 2.39:1 120 FPS)

Temperatura de funcionamiento

De 0 °C a 40 °C

Temperatura de almacenamiento

De -20 °C a +60 °C

Dimensiones externas

Consulte la parte posterior de este documento.

Peso

Cabezal de la cámara

Aprox. 0,54 kg

Cabezal de la cámara + adaptador de montura PL

Aprox. 1,05 kg

Cable de 4,5 m

Aprox. 0,86 kg

Adaptador del cuerpo de la cámara

Aprox. 0,36 kg

Conectores de entrada/salida

Conector 24 V IN (Fischer, 3 contactos)
(1)

Conector 24 V OUT (Fischer,
3 contactos) (1)

Conector LENS META IN (LEMO de
4 contactos) (1)

Accesorios suministrados

Filtros ND (9)

Arandela (circular) (1) (4-730-328-11)

Arandelas (1/3 arco) (15) (4-730-328-21)

Tapa del objetivo con montura E (1)

Tapa del objetivo con montura PL (1)

Tornillos para el receptor (2)
(5-000-390-02)

Instrucciones de funcionamiento (1)

Garantía (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Notas

- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarla. SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO ENTRE OTROS LA COMPENSACIÓN O EL REEMBOLSO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA, O POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR RECLAMACIONES DE NINGÚN TIPO REALIZADAS POR USUARIOS DE ESTA UNIDAD O POR TERCEROS.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE DE LA FINALIZACIÓN NI DE LA INTERRUPCIÓN, POR LA CIRCUNSTANCIA QUE FUERA, DE CUALQUIER SERVICIO RELACIONADO CON ESTA UNIDAD.

机型名称：延长扩展系统

使用产品前请仔细阅读本书，并妥善保管

本设备在可能会出现儿童的场所不适用。



此符号表示“注意：请参阅用户手册了解更多信息。”

不适用于住宅区。

注意

某些特定频率的电磁场可能会干扰本装置的图像和声音。

警告：在居住环境中，运行此设备可能会造成无线电干扰。

注意

未按照此处规定的程序使用控制器、进行调整或操作可能会导致危险的辐射暴露。

注意

光学仪器与本产品一起使用会增加伤害眼睛的危险性。



GB/T 7247.1-2024
1类激光产品

关于废弃产品的处理

请不要将废弃的产品与一般生活垃圾一同弃置。

正确处置废弃的产品有助于避免对环境 and 人类健康造成潜在的负面影响。

具体的处理方法请遵循当地的规章制度。



产品中有害物质的名称及含量

使用环境条件：
请参考装备了主体的说明书的操作条件

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
实装基板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
附属品	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

W1-36

使用注意事项

- 要使用本机，必须将摄像机更新到以下软件版本或更高版本。
MPC-3628/MPC-3626: V4.0或更高版本在更新前，请断开本机连接并重新装配摄像机，使其回到正常状态。
- 请勿将本机放置在阳光直射的地方。阳光可能会聚焦在附近的物体上并引起火灾。如果无法避免让本机暴露在直射的阳光下，请务必盖上镜头盖。
- 如果将设备突然从寒冷的地方带到温暖的场所，或者室温突然升高，设备的外表面和内部可能会形成水汽。这称为冷凝。如果发生冷凝，请关闭设备电源，待到冷凝消失后才能操作设备。冷凝仍然存在时使用设备可能会导致设备损坏。
- ND滤镜检测开关的预期寿命约为5年。
- 使用本机时，如果摄像机机身和传感器块之间的接口粘附有污垢或灰尘，则可能导致失败或故障。存放时，请注意不要积聚污垢。
- 风扇是一种需定期更换的耗材。如果在室温环境下操作，正常的更换周期约为5年（每天8小时；每月25天）。
如果超过上述正常使用频率，则预计使用寿命可能会相应减少。
但是，这一更换周期仅代表一般原则，不表示此部件的寿命保证可以达到预期寿命长度。关于部件更换的详细信息，请联系经销商。

防止便携式通信设备的电磁干扰

在本机附近使用便携式电话和其他通信设备会造成故障并干扰音频和视频信号。

建议将本机附近的便携式通信设备的电源关闭。

摄像机CMOS图像传感器现象

注意

影像中可能会出现以下影像传感器特有的现象。它们并非故障。

白斑

虽然图像传感器是采用高精度技术生产的，但由于宇宙射线等的影响，其屏幕上可能会出现细小的白斑（极少数情况）。

这与图像传感器的原理有关，出现的白斑并不是故障。

在以下情况中，比较容易出现白斑：

- 在高温环境下进行操作时
- 提高倍率（灵敏度）时

抖动

如果在荧光灯、钠灯、水银灯或LED灯照明条件下拍摄，画面可能会闪烁，或者颜色可能会有所不同。

与ND滤镜相关的防护措施

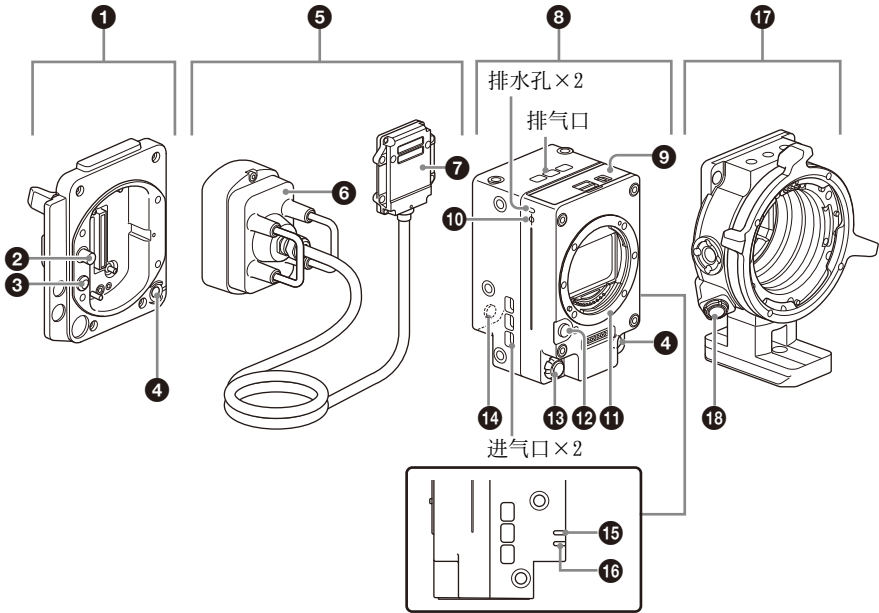
- 清洁方法
使用软刷或吹风机清除表面的灰尘和污垢。如果表面非常脏，请用镜头清洁剂浸湿软布或镜头纸，然后轻轻擦拭表面。
- 储存方法
存放在ND滤镜盒中。
- 将ND滤镜长时间暴露在阳光直射下会导致特性和性能下降。

特点

CBK-3621XS是可连接到MPC-3628/MPC-3626（另售）的成像器扩展套件。该扩展套件可用于各种拍摄情况，不会降低成像器的性能。

- **最长延长至12 m**
MPC-3628/MPC-3626和成像器块之间连接的CBK-3621XS可将块延长约4.5 m。通过连接CBK-12C3621（选项），还可延长至12 m。
- **支持插入式ND滤镜**
支持九种可互换式ND滤镜（Clear、0.3、0.6、0.9、1.2、1.5、1.8、2.1、2.4）。
- **支持PL卡口/E卡口镜头**
本机可与PL卡口或E卡口镜头配合使用。本机支持与MPC-3628/MPC-3626相同的镜头。
- **支持与外部设备连接**
除了成像器信号以外，还可将24 V电源中继到可用于为镜头伺服供电的成像器块。
- **支持镜头元数据输入**
可以通过输入来自外部来源的镜头元数据来获取镜头信息。
- **配备8.6K CMOS图像传感器**
配备与MPC-3628相同的图像传感器，允许本机根据MPC-3628的设置进行操作。

各部件的位置和功能



❶ 摄像机机身适配器

安装到摄像机机身以延长成像器块的适配器。

❷ MONITOR IN接口 (BNC型)

不支持。

❸ 24 V IN接口 (Fischer 3针)

直流电源输入接口，用于向成像器块适配器提供外部电源。

❹ ASSIGN (可指定) 按钮3

每次按下按钮，都会在打开/关闭（允许/禁止）之间切换指定的功能或者激活功能。

当分配的功能处于打开（允许）或激活状态时，指示灯亮起橙色。

有关功能分配的详细信息，请参阅 MPC-3628/MPC-3626 使用说明书。

❺ 可拆卸电缆

4.5 m可拆卸延长电缆，用于连接摄像机机身适配器和摄像头。

❻ 接收器

连接摄像机机身适配器的接收器适配器。

❼ 收发器

连接到摄像头的适配器。

❽ 摄像头

配备8.6K CMOS图像传感器的成像器块。

❾ ND滤镜插槽区

用于插入随附的ND滤镜的插槽。

10 ϕ (phi) 标记

ϕ (phi) 标记指示图像传感器表面的位置。

使用此标记作为参考，准确测量从摄像机到被摄物的距离。

11 E卡口块

12 镜头释放按钮

13 24 V OUT接口 (Fischer 3针)

外部电源输出接口。

输出连接到摄像机机身适配器的24 V IN接口的电源。

可以作为镜头伺服或其他设备的外部电源进行连接。也可用于输入REC触发信号。

注意

- 视可拆卸电缆的输出电流和长度而定，此接口输出电源的电压可能低于连接到24 V IN接口的电源的电压。
 - 可拆卸电缆(4.5 m)：输出为1 A时下降约0.50 V，或者输出为2 A时下降约1.00 V
 - 可拆卸电缆(12 m) (选件)：输出为1 A时下降约1.40 V，或者输出为2 A时下降约2.80 V
- 有关Fischer 3针接口规格的详细信息，请参阅MPC-3628/MPC-3626使用说明书。

14 ASSIGN (可指定) 按钮5

每次按下按钮，都会在打开/关闭(允许/禁止)之间切换指定的功能或者激活功能。

当分配的功能处于打开(允许)或激活状态时，指示灯亮起橙色。

有关功能分配的详细信息，请参阅MPC-3628/MPC-3626使用说明书。

15 LED (红色)

可用作REC指示灯和错误/警告指示器。

16 LED (绿色)

电源开启时亮起。

17 PL卡口适配器

18 LENS META IN接口 (LEMO 4针)

镜头元数据输入接口。

本机上使用的接口：

LEMO EGG.0B.304.CLL



编号	信号
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

通信协议：Cooke/i

通信级别：RS-232C

典型兼容接口 (仅供参考)：LEMO

FGG.0B.304.CLAD56

注意

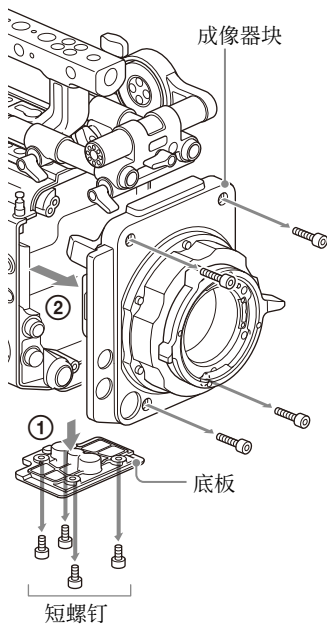
- 有关附件安装孔的详细信息，请参阅本文档背面绘制的外部尺寸。
- 连接之前，请关闭本机和正在连接的设备。
- 务必正确连接RS-232C兼容镜头元数据通信设备。不正确的信号连接可能会损坏设备。

安装摄像机

注意

- 在安装/移除本机前，请关闭摄像机并等待30分钟或更长时间，让摄像机充分冷却。
请在无尘的地方快速执行操作，以防灰尘和其他物质进入摄像机和适配器。
- 请小心操作，以免损坏接口和部件。
- 如果适配器接口上粘附有灰尘或其他物质，可能会发生数据传输错误。如果发生这种情况，请清洁接口。

- 1 取下底部的四颗六角螺钉，然后取下底板(①)，接着取下前面的四颗六角螺钉，最后从摄像机机身上取下成像器块(②)。

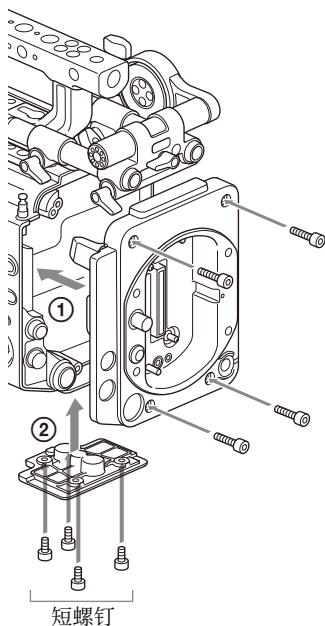


注意

将取下的成像器块放在平坦的表面上时，使镜头侧面向下。如果将散热器侧朝下放置，法兰背面距离（法兰焦距）可能会改变。

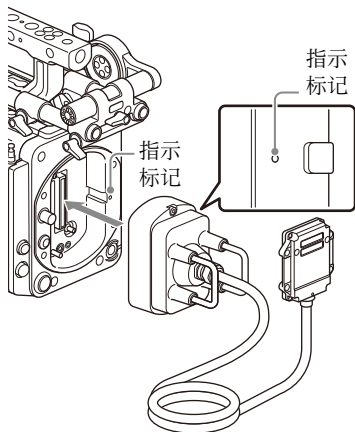
- 2 安装摄像机机身适配器(①)，然后安装底板(②)。

使用在步骤2中取下的八颗六角螺钉对齐并安装，然后使用六角扳手拧紧（拧紧扭矩为 $1.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）。



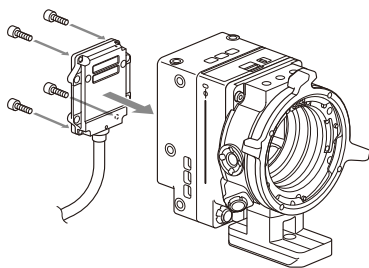
3 将可拆卸电缆接收器安装到摄像机机身适配器。

对齐接收器侧面的指示标记，使用两颗六角螺钉进行安装，然后使用六角扳手拧紧（拧紧扭矩为 $1.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）。



4 将可拆卸电缆的收发器安装到摄像头。

使用四颗随附的六角螺钉对齐并安装，然后使用六角扳手拧紧（拧紧扭矩为 $1.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）。



注意

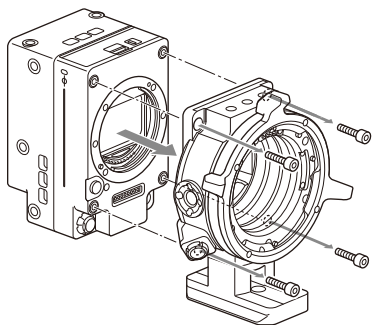
如果摄像机机身适配器、可拆卸电缆和摄像头未牢固连接，MPC-3628/MPC-3626不会启动。牢固地连接这些设备。

从摄像机上取下

- 1 从摄像机上取下收发器。
- 2 从摄像机机身适配器上取下接收器。
- 3 从摄像机机身上取下摄像机机身适配器。
- 4 将成像器块安装到摄像机机身（拧紧扭矩为 $1.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）。

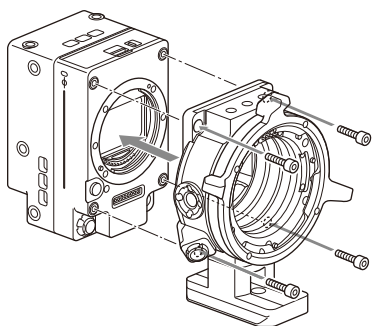
取下PL卡口适配器

使用六角扳手卸下四颗六角螺钉，然后从摄像头上取下PL卡口适配器。



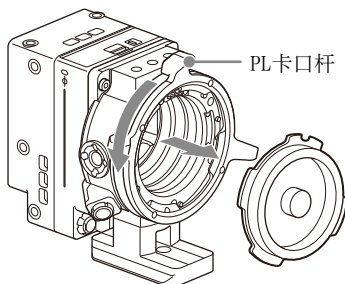
安装PL卡口适配器

使用四颗随附的六角螺钉对齐并安装，然后使用六角扳手拧紧（拧紧扭矩为 $1.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ ）。



安装PL卡口镜头

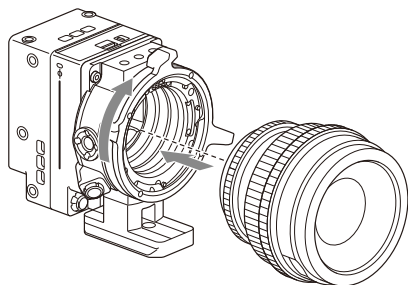
- 1 通过逆时针转动PL卡口杆，从镜头卡口拆下卡口盖。



注意

逆时针转动PL卡口杆到制动器位置。

- 2 通过将镜头凹部对准镜头卡口右上方的定位销，将镜头插入镜头卡口。
- 3 在固定住镜头的同时顺时针转动PL卡口杆，以固定镜头。



注意

安装PL卡口镜头时请勿转动镜头。否则可能会损坏热靴销。

安装Cooke /i镜头

将镜头接头对准本机的热靴。

取下镜头

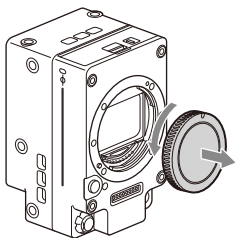
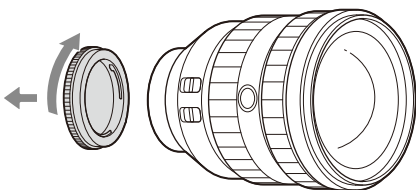
- 1 在从下方握住镜头的同时逆时针转动PL卡口杆。
- 2 向前拉出镜头。

注意

- 如果不是立刻就要安装另一个镜头，请仔细对准卡口盖的凹面部分，然后顺时针转动PL卡口杆将卡口盖固定。
- 关于与镜头的正确I/F通信，请在MPC-3628/MPC-3626上设定“镜头配置”设置，以匹配正在使用的镜头。有关配置的详细信息，请参阅MPC-3628/MPC-3626使用说明书。

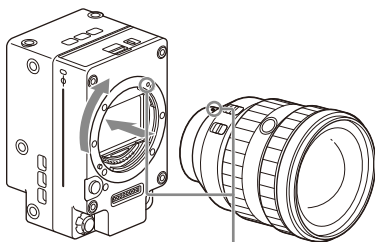
安装E卡口镜头

1 取下本机和镜头上的盖子和护盖。



2 将镜头安装标记（白色）与本机对齐，小心地插入镜头，然后顺时针转动镜头。

当其锁定到位时可以听到咔嚓声。



安装标记（白色）

注意

安装镜头时，请勿按下镜头释放按钮。

取下镜头

按照下列步骤取下镜头。

1 按住镜头释放按钮，在托住镜头的同时逆时针转动镜头。

2 向前拉出镜头。

注意

- 取下镜头时，将镜头锁环上的安装标记与摄像机上的安装标记对齐。
- 用手牢牢抓住镜头，以防止镜头掉落。
- 如果不立即安装另一个镜头，请务必安装机身盖。

调节法兰焦距

本机在出厂时已进行法兰焦距调节。如果需要调节法兰焦距，取下镜头卡口，然后更换适当厚度的垫片。可以0.01 mm的增量调整厚度（±0.1 mm）。

垫片

本机随附了下列垫片。

0.05 mm × 1（圆形）

0.01 mm × 15（1/3弧度）

务必使用1/3弧度垫片作为一组三个垫片。插入垫片以增加法兰焦距。本机在出厂时已使用下列三种类型的垫片进行了法兰焦距调节。

0.10 mm（圆形）

0.05 mm（圆形）

0.01 mm（1/3弧度）

出厂时已附上了显示垫片厚度的封条。

取下ND滤镜

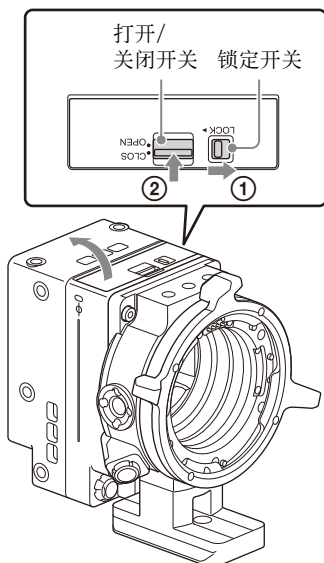
注意

避免直接接触表面，以免划伤滤镜或在滤镜上留下指纹。安装或取下滤镜时，请握住框架。

1 打开ND滤镜插槽区的盖子。

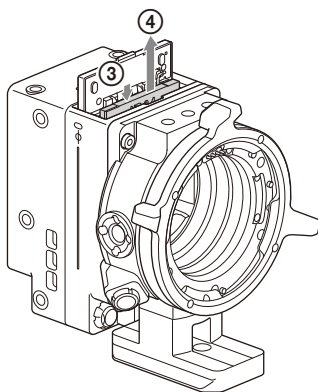
将锁定开关推至右侧，解锁盖子(①)，并将打开/关闭开关推至OPEN位置(②)。

ND滤镜稍微弹出。



2 轻轻按下ND滤镜(③)。
锁已解开并且ND滤镜完全弹出。

3 取下ND滤镜(④)。

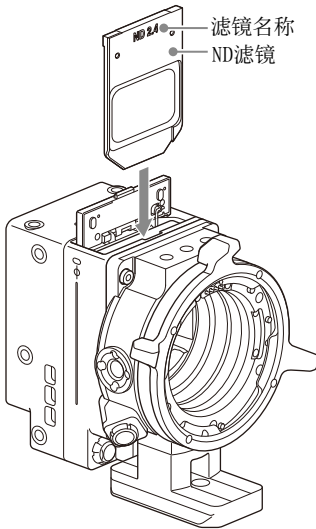


注意

如果已推入ND滤镜，它将被重新锁定。如果已锁定，请关上ND滤镜插槽区的盖子并从步骤1重新开始。

插入ND滤镜

- 1 打开ND滤镜插槽区的盖子。
- 2 将ND滤镜带有滤镜名称的一面朝前插入ND滤镜插槽，直至其卡入到位。
按照下图所示插入ND滤镜，注意垂直方向和前/后表面。



- 3 关上盖子并将打开/关闭开关推至CLOSE位置。
关上盖子时，ND滤镜会被稍微推出，但这不属于故障。
- 4 将锁定开关推至左侧，即可锁定盖子。

注意

- 插入的ND滤镜的密度显示在摄像机的寻像器/显示器画面上。
- 如果没有插入ND滤镜或者无法识别ND滤镜的类型，摄像机的副显示屏上将显示一条消息，并且REC指示灯将开始闪烁。

关于启动时间

首次连接MPC-3628/MPC-3626主机和CBK-3621XS时，摄像机可能需要大约5分钟才能启动，具体视项目帧速率和影像传感器模式设置而定。

关于APR操作时间

APR（自动像素修复）执行完成后，需要大约120秒来保存数据。因此，如果您在此期间关闭电源，将需要大约120秒才能关闭电源。此外，如果由于更改设置导致重启，重启操作将延长大约120秒。

检查和维护

拍摄前检查

在拍摄前先检查本机，确保系统运行正常。

清洁

使用柔软干布擦拭表面的污垢和因安装/移除产生的任何金属粉末。在极端情况下，请使用稍稍蘸有中性清洁剂的布，然后擦干。

不要使用有机溶剂，例如酒精或稀释剂，这些物质可能导致机器表面变色或带来其他损害。

请勿使用吹风机清洁本机。否则空气中悬浮的灰尘和其他颗粒可能会进入本机并导致故障。此外，请避免用高压设备（如空气吹灰器）进行清洁，因为这些设备可能会损坏光学元件。

- 使用本机时，如果摄像机机身和传感器块之间的接口粘附有污垢或灰尘，则可能导致失败或故障。存放时，请注意不要积聚污垢。
- 如果弹簧针型接口的触点变脏，连接不良可能会导致故障。如果发生错误或其他问题，请用软布或棉签轻轻擦去任何污垢。
- 如果将电缆绕成一个圈，电缆可能会扭曲和缠结。将电缆按照八字形缠绕。

设备连接注意事项

- 不能使用Sony音频无线接收器连接CBK-3621XS。

电缆使用注意事项

- 请勿挤压、弯曲或损坏电缆。
- 缠绕和安装电缆时务必小心，以免电缆受到强烈扭曲。
- 保证电缆运行的最小线圈直径：45 mm 或更大

规格

常规

功耗

约15 W (最大)
(5.5K 2.39:1 120 FPS)

工作温度

0 °C至40 °C

存放温度

-20 °C至+60 °C

外部尺寸

请参阅本文档的背面。

质量

摄像头

约0.54 kg

摄像头+ PL卡口适配器

约1.05 kg

4.5 m电缆

约0.86 kg

摄像机机身适配器

约0.36 kg

输入/输出接口

24 V IN接口 (Fischer 3针) (1)

24 V OUT接口 (Fischer 3针) (1)

LENS META IN接口 (LEMO 4针) (1)

随附附件

ND滤镜(9)

垫片 (圆形) (1) (4-730-328-11)

垫片 (1/3弧度) (15) (4-730-328-21)

E卡口镜头盖(1)

PL卡口镜头盖(1)

接收器螺钉(2) (5-000-390-02)

使用说明书(1)

保修卡(1)

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

注意

- 在使用前请始终确认本机运行正常。无论保修期内外或基于任何理由，SONY对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的利润损失等，无论是在保修期以内或者以外，Sony均不作任何赔偿。
- SONY对本产品用户或第三方的任何索赔概不负责。
- SONY对因任何情况导致终止或停止使用本机相关服务概不负责。

Русский

Перед использованием устройства внимательно прочитайте настоящее руководство и сохраните его для получения необходимой информации в будущем.

Внимание

Данное изделие было протестировано и признано соответствующим ограничениям, установленным в регламенте ЭМС, при использовании соединительных кабелей длиной менее 3 метров для следующих портов:

- 24 V OUT
- LENS META IN

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Использование этого оборудования в жилой зоне может вызвать радиопомехи.

ВНИМАНИЕ

Электромагнитные поля определенных частот могут влиять на изображение и звук данного аппарата.

НЕ ДЛЯ ИСПОЛЬЗОВАНИЯ В ЖИЛОМ ПОМЕЩЕНИИ И НЕ ДЛЯ ИСПОЛЬЗОВАНИЯ ПОКУПАТЕЛЯМИ

Система расширения возможностей камеры

Сони Корпорейшн
1-7-1 Конан Минато-ку Токио, 108-0075 Япония

Сделано в/во Японии

Этот продукт предназначен для телевидения.

Транспортировать в оригинальной упаковке, во время транспортировки не бросать, оберегать от падений, ударов, не

подвергать излишней вибрации.

Если неисправность не удастся устранить следуя данной инструкции – обратитесь в ближайший авторизованный SONY центр по ремонту и обслуживанию.

Год выпуска: см. информационную табличку на изделии или упаковочной коробке.

Пример 1 (2021-01): 2021: год. 01: месяц.

Пример 2 (20210401 или 01-04-2021): 2021: год. 04: месяц. 01: день.

Реализацию осуществлять в соответствии с действующими требованиями законодательства. Отслужившее изделие утилизировать в соответствии с действующими требованиями законодательства.

Условия краткосрочного хранения: Хранить в темных, сухих, чистых, вентилируемых помещениях, изолированными от мест хранения кислот и щелочей.

Хранить вдали от источников тепла и влаги во избежание конденсации.

Информация о CU LI TR
Название изделия: Футляр для фильтра

Название модели: FILTER CASE_A

Страна или регион производства: Вьетнаме

Материал: полиэстер/кожа искусственная

Меры предосторожности при эксплуатации

- Для использования этого устройства необходимо обновить программное обеспечение камеры до следующей версии или более поздней.
MPC-3628/MPC-3626: V4.0 или более поздняя
Прежде чем выполнять обновление, отсоедините устройство и заново соберите камеру в ее обычном состоянии.
- Не оставляйте устройство в местах, подверженных воздействию прямых солнечных лучей. Солнечные лучи могут сфокусироваться на соседних предметах и привести к возгоранию. Если же устройство неизбежно подвергнется воздействию прямых солнечных лучей, всегда надевайте крышку объектива.
- Если устройство принесли с холода в теплое помещение или если резко повысилась температура окружающей среды, на внешней поверхности устройства и/или внутри устройства может образоваться влага. Эта явление называется конденсацией. В случае возникновения конденсации выключите устройство и дождитесь исчезновения влаги перед использованием устройства. Использование влажного устройства может привести к его повреждению.
- Предполагаемый срок службы переключателя определения фильтра ND составляет около 5 лет.
- Эксплуатация устройства, когда разъем между корпусом камеры и сенсорным блоком покрыт грязью или пылью, может привести к сбою или неисправности. При хранении следите за тем, чтобы не скапливалась грязь.
- Вентилятор является расходной деталью, которую необходимо периодически заменять.

При работе при комнатной температуре замену необходимо проводить через каждые 5 лет (8 часов в день, 25 дней в месяце).

При более частом использовании предполагаемый срок службы может сократиться соответствующим образом.

Однако данный цикл является только рекомендуемым и не подразумевает гарантированную работу этой детали в течение этого времени. Для получения дополнительной информации о замене деталей обратитесь к поставщику.

Во избежание электромагнитных помех от портативных коммуникационных устройств

Использование портативных телефонов и других коммуникационных устройств рядом с этим изделием может привести к неполадкам и помехам аудио- и видеосигналов.

Рекомендуется отключать питание портативных коммуникационных устройств рядом с этим изделием.

Влияние на датчик изображения КМОП камеры

Примечание

Следующие возможные явления в изображениях специфичны для датчиков изображений. Они не означают неисправность.

Белые точки

Несмотря на то, что датчики изображения производятся с использованием высокопрецизионных технологий, в редких случаях на экране могут возникать белые точки, вызванные космическими лучами и т. п. Это объясняется принципом создания датчиков изображения и не является неисправностью.

Белые точки большей частью возникают в следующих случаях:

- при высокой температуре окружающей среды

RU

- при повышении чувствительности

Дрожание

При съемке при освещении флуоресцентным светом, натриевыми лампами, ртутными лампами или светодиодами может дрожать изображение на экране или могут изменяться цвета.

Меры предосторожности, касающиеся фильтров ND

- **Способ чистки**
Удаляйте пыль и грязь с поверхности мягкой кистью или нагнетателем воздуха. Если поверхность сильно загрязнена, смочите средством для очистки линз мягкую ткань или ткань для очистки линз и осторожно протрите поверхность.
- **Способ хранения**
Храните в футляре фильтров ND.
- Если фильтр ND подвергается воздействию прямых солнечных лучей в течение длительных периодов, могут ухудшиться его характеристики и эксплуатационные качества.

Характеристики

СВК-3621XS представляет собой удлинительный комплект для блока изображения, который можно подсоединить к камере MPC-3628/ MPC-3626 (приобретается дополнительно).

Удлинитель можно использовать в разнообразных ситуациях съемки без ухудшения рабочих характеристик блока изображения.

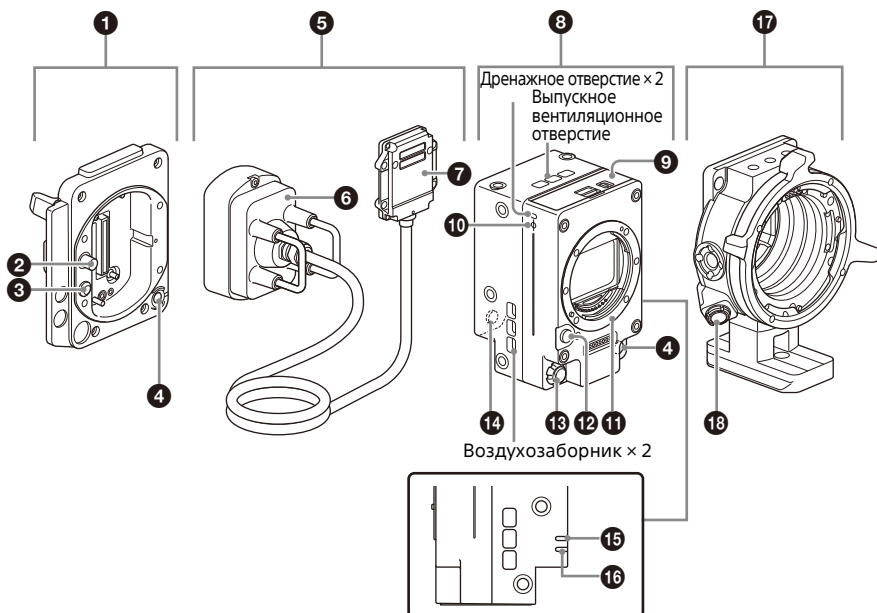
- **Удаление до расстояния 12 м**
СВК-3621XS подсоединяется между камерой MPC-3628/MPC-3626 и блоком изображения таким образом, что блок изображения удаляется от корпуса камеры приблизительно на 4,5 м. Также можно удалять на 12 м, подсоединив СВК-12С3621 (приобретается дополнительно).
- **Поддержка фильтров ND вставного типа**
Поддерживаются девять фильтров ND взаимозаменяемого типа (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4).
- **Поддержка объективов с байонетом PL / байонетом E**
Устройство может использоваться с объективом с байонетом PL или байонетом E. Оно поддерживает те же объективы, что и камера MPC-3628/ MPC-3626.
- **Поддержка соединения со внешними устройствами**
Помимо сигнала блока изображения, он передает на блок изображения питание напряжением 24 В, которое можно использовать для питания сервопривода объектива.
- **Поддержка ввода метаданных объектива**
Возможно получение информации об объективе путем ввода метаданных объектива со внешнего источника.

- **Оснащение датчиком изображения**

- **КМОП 8.6К**

- Оснащение тем же датчиком изображения, что и в камере МРС-3628, позволяет эксплуатировать устройство, основываясь на настройках камеры МРС-3628.

Расположение и назначение компонентов



1 Адаптер корпуса камеры

Адаптер, устанавливаемый на корпус камеры для удаления блока изображения от корпуса камеры.

2 Разъем MONITOR IN (тип BNC)

Не поддерживается.

3 Разъем 24 V IN (Fischer, 3-контактный)

Входной разъем питания постоянного тока, подающий внешнее напряжение питания на адаптер блока изображения.

4 Кнопка ASSIGN (назначаемая) 3

При каждом нажатии включает или выключает (разрешает/запрещает) или активирует назначенную функцию.

При включении или активации назначенной функции индикатор загорается оранжевым цветом. Подробнее о назначении функций см. в Инструкции по эксплуатации MPC-3628/MPC-3626.

5 Отделяемый кабель

Отделяемый удлинительный кабель длиной 4,5 м для соединения между адаптером корпуса камеры и головкой камеры.

6 Приемник

Принимающий адаптер, подсоединяемый к адаптеру корпуса камеры.

7 Приемопередатчик

Адаптер, подключаемый к головке камеры.

8 Головка камеры

Блок изображения, оснащенный датчиком изображения КМОП 8.6К.

9 Блок гнезда для фильтра ND

Гнездо для вставки фильтров ND, входящих в комплект.

10 Метка ϕ (фи)

Метка ϕ (фи) указывает положение поверхности датчика изображения. Используйте эту метку в качестве опорной точки, чтобы точно измерить расстояние от камеры до объекта.

11 Блок байонета E

12 Кнопка освобождения объектива

13 Разъем 24 V OUT (Fischer, 3-контактный)

Выходной разъем подачи внешнего напряжения питания. Служит для вывода питания от внешнего источника, подключенного к разъему 24 V IN адаптера корпуса камеры. Его можно использовать для подачи внешнего напряжения питания на сервопривод объектива или другое устройство. Его можно использовать также для ввода сигнала запуска записи REC Trigger.

Примечания

- В зависимости от выходного тока и длины отделяемого кабеля напряжение питания, выводимое на этот разъем, будет ниже, чем напряжение питания, подключенное к разъему 24 V IN.
 - Отделяемый кабель (4,5 м): падение приблизительно на 0,50 В при выходном токе 1 А или на 1,00 В при выходном токе 2 А
 - Отделяемый кабель (12 м) (приобретается дополнительно): падение приблизительно на 1,40 В при выходном токе 1 А или на 2,80 В при выходном токе 2 А

- Подробнее о технических характеристиках 3-контактного разъема Fischer см. в Инструкции по эксплуатации MPC-3628/ MPC-3626.

14 Кнопка ASSIGN (назначаемая) 5

При каждом нажатии включает или выключает (разрешает/запрещает) или активирует назначенную функцию. При включении или активации назначенной функции индикатор загорается оранжевым цветом. Подробнее о назначении функций см. в Инструкции по эксплуатации MPC-3628/MPC-3626.

15 Светодиод (красный)

Работает как индикатор REC и индикатор ошибок/предупреждений.

16 Светодиод (зеленый)

Горит, когда включено питание.

17 Адаптер байонета PL

18 Разъем LENS META IN (LEMO, 4-контактный)

Разъем ввода метаданных объектива. Разъем, используемый в устройстве: LEMO EGG.0B.304.CLL



№	Сигнал
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Коммуникационный протокол: Cooke/i
Коммуникационные уровни: RS-232C
Типичный совместимый разъем (только для справки): LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Примечания

- Подробные сведения об отверстиях для крепления дополнительных устройств см. на габаритном чертеже на задней странице данного документа.

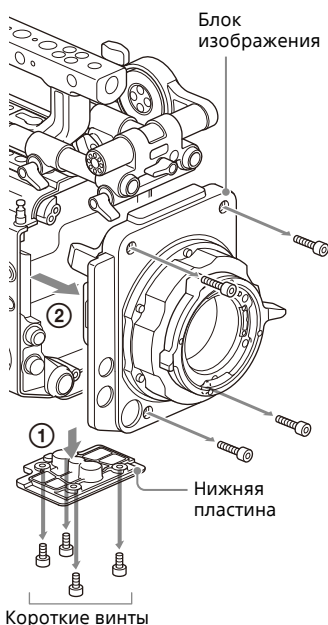
- Перед подключением выключите и это устройство, и устройство, к которому выполняется подключение.
- Обязательно правильно подключайте устройство для передачи метаданных объектива, совместимое с RS-232C. При неправильном подключении сигнала возможно повреждение устройства.

Установка на камеру

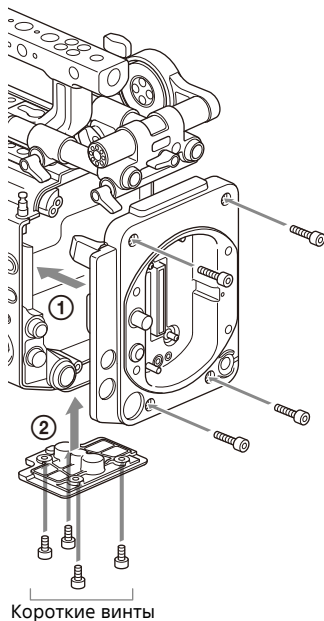
Примечания

- Выключите камеру и подождите не менее 30 минут, чтобы дать ей в достаточной степени остыть, прежде чем устанавливать или снимать устройство. Выполняйте эти действия быстро, в месте, не содержащем пыли, чтобы предотвратить попадание пыли и других материалов внутрь камеры и адаптеров.
- Старайтесь не повредить разъемы и компоненты.
- Налипание пыли и других материалов на разъемы адаптеров может привести к ошибке передачи данных. Если это произошло, выполните чистку разъема.

- 1** Отвинтите четыре винта с головкой под шестигранник с нижней стороны и снимите нижнюю пластину (①), затем отвинтите четыре винта с головкой под шестигранник с передней стороны и снимите блок изображения с корпуса камеры (②).



- 2** Установите адаптер корпуса камеры (①), а затем установите нижнюю пластину (②). Совместите их и закрепите восемь винтами с головкой под шестигранник, снятыми на шаге 2, затянув их шестигранным ключом (момент затяжки 1,4 Н·м).

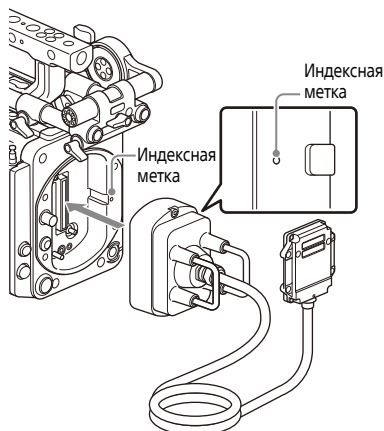


Примечание

Помещая снятый блок изображения на плоскую поверхность, направьте его стороной с объективом вниз. Если направить его вниз стороной с теплоотводом, расстояние от фланца объектива до фокальной плоскости может измениться.

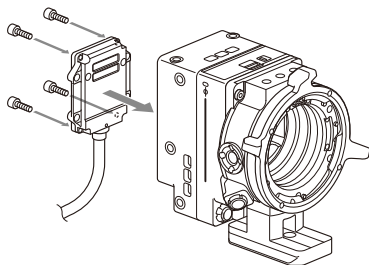
3 Установите приемник отделяемого кабеля на адаптер корпуса камеры.

Совместите адаптер с индексными метками на боковых сторонах приемника и закрепите приемник двумя винтами с головкой под шестигранник, затянув их шестигранным ключом (момент затяжки 1,4 Н·м).



4 Установите приемопередатчик отделяемого кабеля на головку камеры.

Совместите его и закрепите четырьмя винтами с головкой под шестигранник, входящими в комплект, затянув их шестигранным ключом (момент затяжки 1,4 Н·м).



Примечание

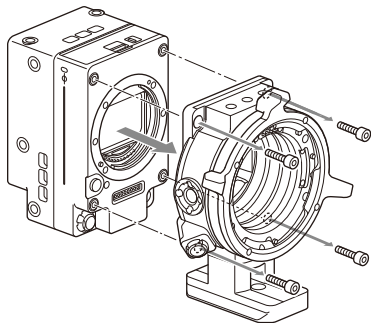
Если отсутствует надежное соединение адаптера корпуса камеры, отделяемого кабеля и головки камеры, MPC-3628/ MPC-3626 не запустится. Соединяйте устройства надежно.

Снятие с камеры

- 1 Снимите приемопередатчик с камеры.
- 2 Снимите приемник с адаптера корпуса камеры.
- 3 Снимите адаптер корпуса камеры с корпуса камеры.
- 4 Установите блок изображения на корпус камеры (момент затяжки 1,4 Н·м).

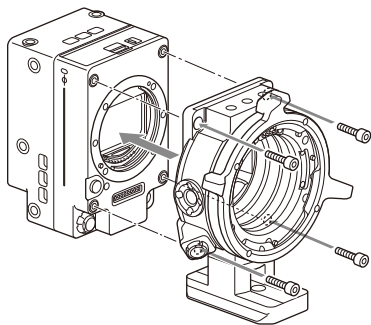
Снятие адаптера байонета PL

Отвинтите четыре винта с головкой под шестигранник шестигранным ключом и снимите адаптер байонета PL с головки камеры.



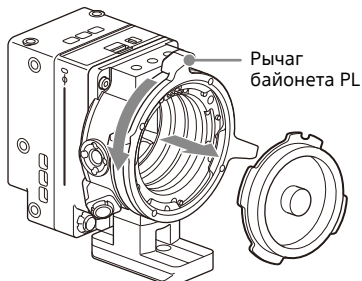
Установка адаптера байонета PL

Совместите его и закрепите четырьмя винтами с головкой под шестигранник, входящими в комплект, затянув их шестигранным ключом (момент затяжки 1,4 Н·м).



Установка объектива с байонетом PL

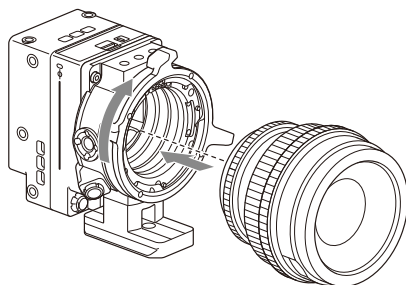
- 1 Снимите крышку с байонета объектива, повернув рычаг байонета PL против часовой стрелки.



Примечание

Поверните рычаг байонета PL против часовой стрелки в положение стопора.

- 2 Установите объектив в байонет, совместив вогнутую часть объектива с установочным штифтом в правой верхней части байонета.
- 3 Закрепите объектив, удерживая объектив и повернув рычаг байонета PL по часовой стрелке.



Примечание

Не поворачивайте объектив при установке объектива с байонетом PL. При повороте можно повредить контакт горячего башмака.

Установка объектива Cooke /i

Совместите контакты на объективе с горячим башмаком устройства.

Снятие объектива

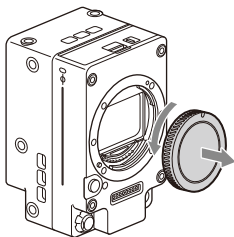
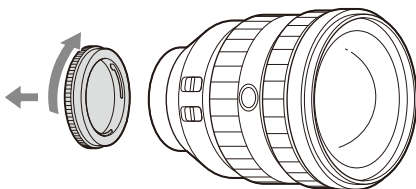
- 1 Поверните рычаг байонета PL против часовой стрелки, держа объектив снизу.
- 2 Потяните объектив вперед.

Примечания

- Если не планируется сразу же установить другой объектив, тщательно сориентируйте вогнутую часть крышки байонета, затем закрепите крышку байонета, повернув рычаг байонета PL по часовой стрелке.
- Для правильной связи I/F с объективом задайте параметры Lens Configuration на MPC-3628/MPC-3626 в соответствии с используемым объективом. Подробнее о конфигурации см. в Инструкции по эксплуатации MPC-3628/MPC-3626.

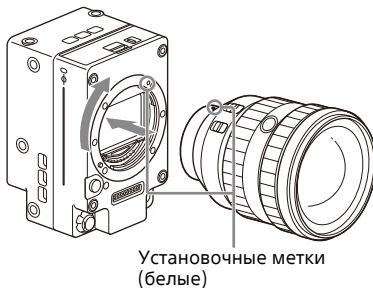
Установка объектива с байонетом E

- 1 Снимите колпачок и крышку с устройства и объектива.



- 2 Совместите установочные метки (белые) объектива и устройства, осторожно вставьте объектив, а затем поверните объектив по часовой стрелке.

Когда он зафиксируется на месте, послышится щелчок.



Примечание

Устанавливая объектив, не нажимайте кнопку освобождения объектива.

Снятие объектива

Снимайте объектив, используя приведенную ниже процедуру.

- 1 Нажмите и удерживайте кнопку освобождения объектива, затем поверните объектив против часовой стрелки, поддерживая его.
- 2 Потяните объектив вперед.

Примечания

- Снимая объектив, совместите установочную метку на кольце фиксации объектива с установочной меткой на видеокамере.
- Крепко держите объектив в руке, чтобы не допустить его падения.
- Если сразу же не устанавливается другой объектив, установите на корпус колпачок.

Регулировка рабочего отрезка

Устройство поставляется с уже отрегулированным рабочим отрезком. Если требуется отрегулировать рабочий отрезок, снимите байонет и замените регулировочные шайбы шайбами требуемой толщины. Толщину можно регулировать в диапазоне $\pm 0,1$ мм с шагом 0,01 мм.

Регулировочные шайбы

В комплект поставки устройства входят следующие регулировочные прокладки. 0,05 мм (кольцо), 1 шт.

0,01 мм (1/3 дуги окружности), 15 шт.

Регулировочные шайбы в 1/3 дуги окружности должны использоваться комплектами по три шайбы. Установите регулировочные шайбы для увеличения рабочего отрезка. Устройство поставляется с рабочим отрезком, который уже отрегулирован с использованием прокладок следующих трех типов.

0,10 мм (кольцо)

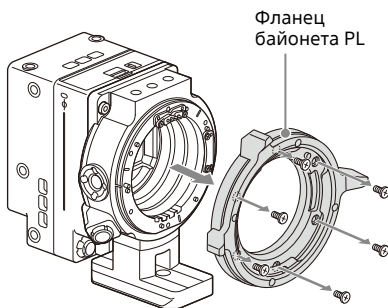
0,05 мм (кольцо)

0,01 мм (1/3 дуги окружности)

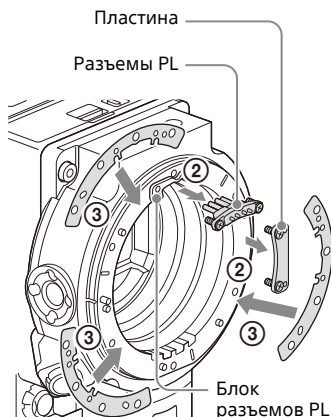
При поставке устанавливается уплотнение, показывающее толщину прокладок.

Регулировка рабочего отрезка

- 1 Выверните шесть винтов со звездообразным шлицем Torx и снимите фланец байонета PL.**

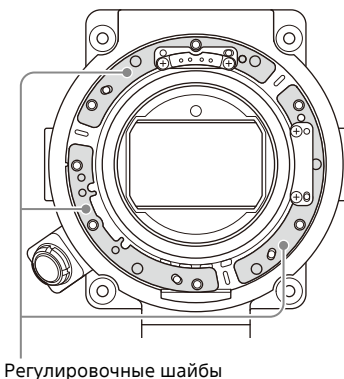


- 2 Ослабьте четыре винта с крестообразным шлицем, которыми крепятся разъемы PL и пластина, затем снимите разъемы PL, блок разъемов PL, а также пластину.**
- 3 Установите регулировочные шайбы на адаптер байонета PL (в трех местах).**



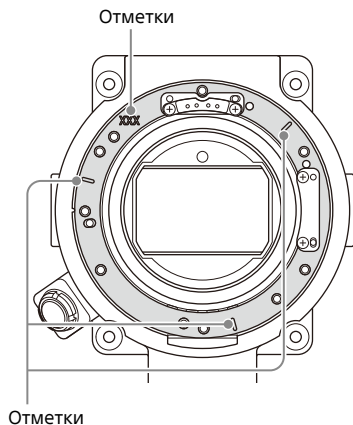
При использовании прокладок в форме 1/3 дуги окружности

Используйте прокладки одинаковой толщины во всех трех местах.



При использовании прокладок в форме кольца

Установите их так, чтобы сторона с отметками была обращена вперед.



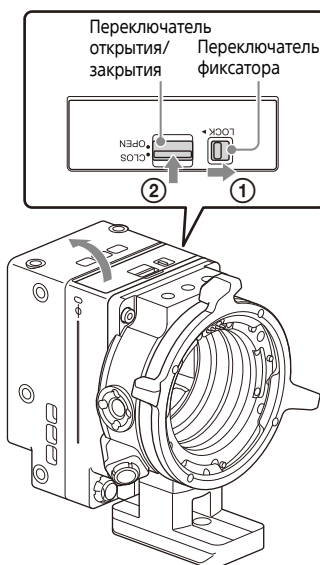
Снятие фильтра ND

Примечание

Не прикасайтесь непосредственно к поверхности фильтра, чтобы не поцарапать фильтр и не оставить на нем отпечатков. Устанавливая или снимая фильтр, держите его за оправу.

1 Откройте крышку блока гнезда для фильтра ND.

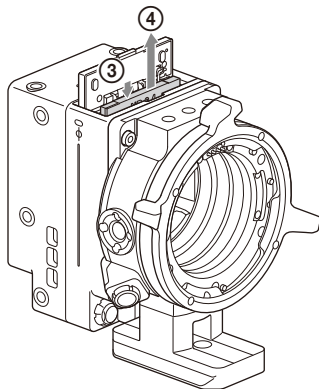
Сдвиньте переключатель фиксатора вправо, чтобы разблокировать крышку (1), а затем сдвиньте переключатель открытия/закрытия в положение OPEN (2).
Фильтр ND будет слегка вытолкнут.



2 Осторожно нажмите на фильтр ND (③).

Фиксатор будет разблокирован, и фильтр ND будет вытолкнут полностью.

3 Снимите фильтр ND (④).



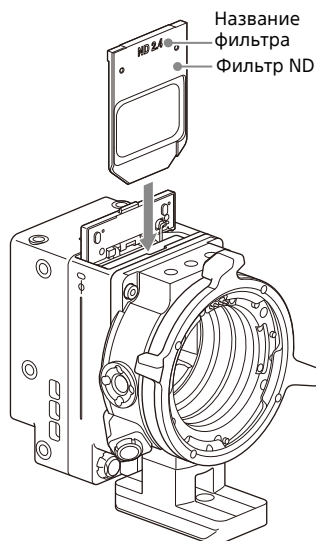
Примечание

Если втолкнуть фильтр ND, он снова зафиксируется. Если он зафиксировался, закройте крышку блока гнезда для фильтра ND и начните заново с шага 1.

Установка фильтра ND

1 Откройте крышку блока гнезда для фильтра ND.

2 Вставляйте фильтр ND в гнездо для фильтра ND так, чтобы сторона с названием фильтра была обращена вперед, пока он не защелкнется, встав на место. Вставьте фильтр ND, как показано на следующем рисунке, обратив внимание на вертикальную ориентацию и то, куда обращены передняя/задняя поверхности.



3 Закройте крышку и сдвиньте переключатель открытия/закрытия в положение CLOSE. При закрытии крышки фильтр ND будет слегка вытолкнут, но это не является неисправностью.

4 Сдвиньте переключатель фиксатора влево, чтобы заблокировать крышку.

Примечания

- Плотность вставленного фильтра ND отображается на экране видеоскателя/монитора камеры.
- Если фильтр ND не вставлен или не удается распознать тип фильтра ND, на дополнительном дисплее камеры отображается сообщение и начинает мигать индикатор REC.

О времени запуска

Когда основное устройство MPC-3628/ MPC-3626 и CBK-3621XS соединяются в первый раз, в зависимости от заданных для проекта настроек частоты кадров и режима формирования изображения для запуска камеры может потребоваться около 5 минут.

О времени работы APR

По завершении выполнения автоматического восстановления пикселей (Auto Pixel Restoration, APR) требуется около 120 секунд для сохранения данных. Поэтому, в случае выключения питания в это время, для выключения требуется около 120 секунд. Кроме того, если в результате изменения настроек происходит перезагрузка, операция перезагрузки продлевается примерно на 120 секунд.

Осмотр и техническое обслуживание

Осмотр перед съемкой

Перед съемкой произведите осмотр устройства, чтобы убедиться в нормальной работе системы.

Чистка

Мягкой сухой тканью сотрите пыль с внешних поверхностей и весь металлический порошок, образовавшийся при установке/снятии компонентов. В случае сильных загрязнений слегка смочите ткань небольшим количеством нейтрального моющего средства, затем протрите досуха.

Запрещается использовать органические растворители, такие как спирт или разбавители, так как они могут вызывать обесцвечивание или другие повреждения декоративной отделки устройства.

Не используйте для чистки устройства нагнетатель воздуха. Пыль и другие частицы, взвешенные в воздухе, могут проникнуть внутрь устройства и вызвать его неисправность. Не следует также производить чистку сжатым воздухом, например из баллончика, так как при этом можно повредить оптические компоненты.

- Эксплуатация устройства, когда разъем между корпусом камеры и сенсорным блоком покрыт грязью или пылью, может привести к сбою или неисправности. При хранении следите за тем, чтобы не скапливалась грязь.
- Если загрязняются контакты в разъемах с подпружиненными контактами, ненадежное соединение может привести к неисправности. Если возникнет ошибка или другая проблема, осторожно сотрите все

загрязнения мягкой тканью или ватной палочкой.

- При сворачивании кабеля в одну петлю возможно его перекручивание и запутывание. Сворачивайте кабель восьмеркой.

Примечания о подключении устройства

- Для подключения к СВК-3621XS нельзя использовать беспроводной аудиоприемник Sony.

Примечания по обращению с кабелями

- Избегайте изломов, изгибов и повреждения кабеля.
- Соблюдайте осторожность при сворачивании и установке кабеля, не подвергая его сильному скручиванию.
- Минимальный диаметр сворачивания кабеля для гарантированной исправности: не менее 45 мм

Технические характеристики

Общие

Энергопотребление

Прибл. 15 Вт (макс.) (5.5K 2.39:1 120 FPS)

Рабочая температура

От 0 °C до 40 °C

Температура хранения

От -20 °C до +60 °C

Габариты

См. заднюю страницу данного документа.

Масса

Головка камеры

Прибл. 0,54 кг

Головка камеры + адаптер байонета PL

Прибл. 1,05 кг

Кабель длиной 4,5 м

Прибл. 0,86 кг

Адаптер корпуса камеры

Прибл. 0,36 кг

Входные/выходные разъемы

Разъем 24 V IN (Fischer,

3-контактный) (1)

Разъем 24 V OUT (Fischer,

3-контактный) (1)

Разъем LENS META IN (LEMO,

4-контактный) (1)

Принадлежности в комплекте поставки

Фильтры ND (9)

Прокладка (круглая) (1) (4-730-328-11)

Прокладки (1/3 дуги окружности) (15) (4-730-328-21)

Крышка объектива с байонетом E (1)

Крышка объектива с байонетом PL (1)

Винты для приемника (2) (5-000-390-02)

Инструкция по эксплуатации (1)

Гарантия (1)

Конструкция и технические характеристики могут быть изменены без предварительного уведомления.

Примечания

- Всегда проверяйте исправность устройства, прежде чем его использовать. КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРБ, ВКЛЮЧАЯ, В ЧАСТНОСТИ, КОМПЕНСАЦИЮ ИЛИ ВОЗМЕЩЕНИЕ УБЫТКОВ В СВЯЗИ С УТРАТОЙ ИЛИ НЕДОПОЛУЧЕНИЕМ ПРИБЫЛЕЙ ИЗ-ЗА НЕРАБОТОСПОСОБНОСТИ ЭТОГО ОБОРУДОВАНИЯ, КАК НА ПРОТЯЖЕНИИ ГАРАНТИЙНОГО ПЕРИОДА, ТАК И ПОСЛЕ ИСТЕЧЕНИЯ ГАРАНТИЙНОГО СРОКА, А ТАКЖЕ ВСЛЕДСТВИЕ ЛЮБЫХ ИНЫХ ВОЗМОЖНЫХ ПРИЧИН.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕТЕНЗИИ ЛЮБОГО РОДА, ПРЕДЪЯВЛЕННЫЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЯМИ ЭТОГО ПРИБОРА ИЛИ ТРЕТЬИМИ ЛИЦАМИ.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕКРАЩЕНИЕ ИЛИ ПРИОСТАНОВКУ ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ КАКИХ-ЛИБО УСЛУГ, СВЯЗАННЫХ С ЭТИМ ПРИБОРОМ, ВНЕ ЗАВИСИМОСТИ ОТ ОБСТОЯТЕЛЬСТВ.

Қазақ тілі

Құрылғыны пайдалану алдында осы нұсқаулықты мұқият оқып шығыңыз және болашақта анықтама алу үшін сақтаңыз.

Абайлаңыз

Келесі порттарға арналған 3 метрден қысқа жалғағыш кабельдерді қолданған кезде, бұл өнімнің ЭМУ нормативінде орнатылған шектерге сәйкестігі сыналып, сай екені анықталды:

- 24 V OUT
- LENS META IN

ЕСКЕРТУ

Бұл жабдықты тұрғылықты ортада пайдалану радио кедергіге себеп болуы мүмкін.

НАЗАР АУДАРЫҢЫЗ!

Белгілі бір жиіліктегі электромагниттік өрістер құрылғының көрінісі мен дыбысына әсер етуі мүмкін.

Камера мүмкіндіктерін кеңейту жүйесі

Өндіруші: Сони Корпорейшн
Өндіруші мекенжайы: 1-7-1 Конан
Минато-ку Токио, 108-0075 Жапония

Жапонияда жасалған

Бұл өнім хабар таратуға арналған.

Түпнұсқалық орамда тасымалдау керек, тасымалдау кезінде лақтыруға болмайды, құлаудан, соққылардан қорғау керек, шектен тыс дірілге ұшыратпау керек.

Егер осы нұсқаулыққа сүйене отырып, ақаулықты жою мүмкін болмаса, ең жақын заңды тіркелген SONY жөндеу және күтіп ұстау орталығына хабарласыңыз.

Шығарылған жылы: өнімдегі немесе картондағы атау тақтасын көріңіз. Мысалы 1 (2021-01): 2021: жылды көрсетеді. 01: айды көрсетеді. Мысалы 2 (20210401 немесе 01-04-2021): 2021: жылды көрсетеді. 04: айды көрсетеді. 01: күнді көрсетеді.

Сатуды күшінде тұрған заң талаптарына сәйкес жүзеге асыру керек. Қызмет мерзімі біткен бұйымды күшінде тұрған заң талаптарына сәйкес залалсыз кедеге асыру керек.

Пайдалану барысында сақтау талаптары:

Өнімдер қышқылдар мен сілтілерге арналған сақтау орындарынан оқшауланған қараңғы, құрғақ, таза, жақсы желдетілетін жерлерде сақталуы керек. Конденсацияны болдырмау үшін, ыстық және ылғал көздерінен алыс сақтаңыз.

CU LI TR туралы ақпарат
Өнім атауы: Сүзгі қабы

Үлгі атауы: FILTER CASE_A

Өндірілген елі немесе аймағы:
Вьетнамда

Материалы: полиэстер/жасанды
былғары

Техникалық сипаттамалары

Жалпы мәліметтер

Қуат тұтынуы

Шамамен 15 Вт (макс.)
(5.5К 2.39:1 120 FPS)

Жұмыс температурасы

0 °С және 40 °С

Сақтау температурасы

-20 °С және +60 °С

Сыртқы өлшемдері

Осы құжаттың артын қараңыз.

Массасы

Камера бастиегі

Шамамен 0,54 кг

Камера бастиегі + PL объективті бекіту

адаптері

Шамамен 1,05 кг

4,5 м кабель

Шамамен 0,86 кг

Камера корпусының адаптері

Шамамен 0,36 кг

Кіріс/шығыс қосқыштары

24 V IN қосқышы (Fischer 3-істікті) (1)

24 V OUT қосқышы (Fischer 3-істікті) (1)

LENS META IN қосқышы

(LEMO 4-істікті) (1)

Берілген аксессуарлар

ND сүзгілері (9)

Төсем (дөңгелек) (1) (4-730-328-11)

Төсемдер (1/3 доға) (15) (4-730-328-21)

E объективті бекіту қақпағы (1)

PL объективті бекіту қақпағы (1)

Қабылдағышқа арналған бұрандалар (2)

(5-000-390-02)

Пайдалану нұсқаулары (1)

Кепілдік (1)

Дизайн және техникалық сипаттамалары ескертусіз өзгеруі мүмкін.

Tiếng Việt

Trước khi sử dụng thiết bị, vui lòng đọc kỹ tài liệu hướng dẫn này và giữ lại để tham khảo sau này.

Thận trọng khi sử dụng

- Camera phải được cập nhật lên phiên bản phần mềm sau hoặc mới hơn để sử dụng thiết bị này.
MPC-3628/MPC-3626: V4.0 trở lên
Ngắt kết nối thiết bị và lắp lại camera về trạng thái bình thường trước khi cập nhật.
- Không để thiết bị ở nơi tiếp xúc trực tiếp với ánh nắng mặt trời. Ánh nắng mặt trời có thể chiếu thẳng vào các vật thể xung quanh và gây cháy. Nếu không thể tránh được việc để thiết bị tiếp xúc trực tiếp với ánh nắng mặt trời, hãy luôn gắn nắp ống kính.
- Nếu bạn đột ngột đưa thiết bị từ nơi lạnh sang nơi ấm hoặc nếu nhiệt độ xung quanh tăng đột ngột thì hơi ẩm có thể hình thành trên mặt ngoài và/hoặc mặt trong của thiết bị. Hiện tượng này gọi là ngưng tụ hơi nước. Nếu hiện tượng này xảy ra, trước khi vận hành thiết bị, hãy tắt thiết bị và đợi cho đến khi không còn hơi nước ngưng tụ. Vận hành thiết bị khi vẫn còn hiện tượng ngưng tụ có thể làm hỏng thiết bị.
- Tuổi thọ của công tắc phát hiện kính lọc ND là khoảng 5 năm.
- Việc sử dụng thiết bị có bụi bẩn bám vào đầu nối giữa phần thân camera và khối cảm biến có thể gây ra lỗi hoặc trục trặc. Khi bảo quản, hãy cẩn thận không để bụi bẩn tích tụ.
- Quạt là một bộ phận tiêu hao sẽ cần được thay thế định kỳ.
Khi hoạt động ở nhiệt độ phòng, chu kỳ thay thế thông thường sẽ là khoảng 5 năm (8 giờ mỗi ngày; 25 ngày mỗi tháng). Nếu sử dụng vượt quá tần suất sử dụng bình thường trên, vòng đời có thể giảm tương ứng.
Tuy nhiên, chu kỳ thay thế này chỉ là một hướng dẫn chung và không ngụ ý rằng bộ phận này đảm bảo có vòng đời sử dụng như vậy. Để biết chi tiết về việc thay thế các bộ phận, hãy liên hệ với đại lý của bạn.

Đề ngăn chặn nhiễu điện từ từ các thiết bị liên lạc di động

Việc sử dụng điện thoại di động và các thiết bị liên lạc khác gần thiết bị này có thể dẫn đến sự cố và nhiễu tín hiệu âm thanh và hình ảnh.

Bạn nên tắt nguồn của các thiết bị liên lạc di động gần thiết bị này.

Hiện tượng cảm biến hình ảnh của máy ảnh CMOS

Lưu ý

Các hiện tượng sau đây có thể xảy ra trong hình ảnh là đặc trưng của cảm biến hình ảnh. Những vấn đề này không phải sự cố.

Đốm trắng

Mặc dù cảm biến hình ảnh được sản xuất bằng công nghệ chính xác cao, nhưng trong một số trường hợp hiếm gặp, màn hình có thể xuất hiện các đốm trắng mịn do tia vũ trụ, v.v.

Điều này liên quan đến nguyên tắc của cảm biến hình ảnh và không phải là một sự cố. Các đốm trắng đặc biệt có xu hướng xuất hiện trong các trường hợp sau:

- Khi hoạt động ở nhiệt độ môi trường cao
- Khi bạn đã tăng độ lợi (độ nhạy)

Nhấp nháy

Nếu chụp dưới ánh sáng từ đèn huỳnh quang, đèn natri, đèn hơi thủy ngân hoặc đèn LED, màn hình có thể nhấp nháy hoặc màu sắc có thể thay đổi.

Lưu ý liên quan đến kính lọc ND

- Phương pháp làm sạch
Loại bỏ bụi bẩn khỏi bề mặt bằng bàn chải mềm hoặc máy thổi khí. Nếu bề mặt quá bẩn, làm ẩm vải mềm hoặc giấy lau ống kính bằng dung dịch vệ sinh ống kính và nhẹ nhàng lau bề mặt.
- Phương pháp bảo quản
Bảo quản trong hộp đựng kính lọc ND.
- Việc để kính lọc ND tiếp xúc trực tiếp với ánh sáng mặt trời trong thời gian dài có thể làm giảm đặc tính và hiệu suất.

Tính năng

CBK-3621XS là bộ mở rộng hình ảnh có thể được kết nối với MPC-3628/MPC-3626 (được bán riêng).

Tiện ích mở rộng có thể được sử dụng trong nhiều tình huống chụp khác nhau mà không làm giảm hiệu suất của hình ảnh.

- **Mở rộng lên tới 12 m**

CBK-3621XS gắn giữa MPC-3628/MPC-3626 và khối hình ảnh để mở rộng khối thêm khoảng 4,5 m. Bạn cũng có thể mở rộng đến 12 m bằng cách gắn CBK-12C3621 (tùy chọn).

- **Hỗ trợ kính lọc ND loại chèn thêm**

Hỗ trợ chín loại kính lọc ND có thể thay đổi (Clear, 0.3, 0.6, 0.9, 1.2, 1.5, 1.8, 2.1, 2.4).

- **Hỗ trợ ống kính ngàm PL/ngàm E**

Thiết bị có thể được sử dụng với ống kính ngàm PL hoặc ngàm E. Thiết bị này đỡ các ống kính tương tự như MPC-3628/MPC-3626.

- **Hỗ trợ kết nối với thiết bị bên ngoài**

Ngoài tín hiệu hình ảnh, tiện ích này còn chuyển tiếp nguồn 24 V đến khối hình ảnh có thể được sử dụng để cấp nguồn cho secvô ống kính.

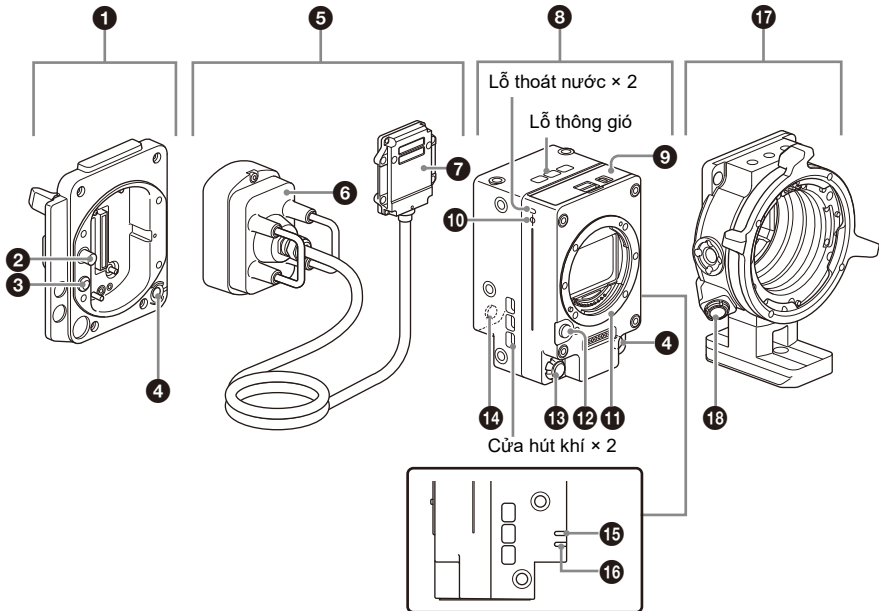
- **Hỗ trợ nhập siêu dữ liệu ống kính**

Thông tin về ống kính có thể thu được bằng cách nhập siêu dữ liệu ống kính từ nguồn bên ngoài.

- **Được trang bị cảm biến hình ảnh CMOS 8.6K**

Được trang bị cảm biến hình ảnh giống như MPC-3628, cho phép vận hành thiết bị dựa trên cài đặt của MPC-3628.

Vị trí và chức năng của các bộ phận



❶ Bộ chuyển đổi phần thân camera

Bộ chuyển đổi gắn vào phần thân camera để mở rộng khối hình ảnh.

❷ Đầu nối MONITOR IN (Loại BNC)

Không hỗ trợ.

❸ Đầu nối 24 V IN (Fischer 3 chân)

Đầu nối đầu vào nguồn điện DC cung cấp nguồn điện bên ngoài cho bộ chuyển đổi khối hình ảnh.

❹ Nút ASSIGN (có thể gán) 3

Chuyển đổi chức năng được gán giữa bật/tắt hoặc kích hoạt chức năng sau mỗi lần nhấn. Đèn sáng màu cam khi chức năng được gán được bật hoặc kích hoạt.

Để biết chi tiết về cách gán chức năng, hãy tham khảo hướng dẫn vận hành MPC-3628/ MPC-3626.

❺ Cáp có thể tháo rời

Cáp mở rộng 4,5 m có thể tháo rời để kết nối giữa bộ chuyển đổi phần thân camera và đầu camera.

❻ Bộ thu

Bộ chuyển đổi bộ thu kết nối với bộ chuyển đổi phần thân camera.

❼ Bộ thu phát

Bộ chuyển đổi kết nối với đầu camera.

❽ Đầu camera

Khối hình ảnh được trang bị cảm biến hình ảnh CMOS 8.6K.

❾ Khóe khe cắm kính lọc ND

Khe để lắp các kính lọc ND đi kèm.

10 Dấu ϕ (phi)

Dấu ϕ (phi) cho biết vị trí của bề mặt cảm biến hình ảnh.

Sử dụng dấu này làm điểm tham chiếu để đo chính xác khoảng cách từ máy ảnh đến vật thể.

11 Khóì ngàm E

12 Nút nhà ống kính

13 Đầu nối 24 V OUT (Fischer 3 chân)

Đầu nối đầu ra nguồn điện bên ngoài.

Đầu nối này xuất ra nguồn điện được kết nối với đầu nối 24 V IN của bộ chuyển đổi phần thân camera.

Nó có thể được kết nối như một nguồn điện bên ngoài cho secvô ống kính hoặc thiết bị khác. Nó cũng có thể được sử dụng để nhập tín hiệu kích hoạt REC.

Lưu ý

- Tùy thuộc vào dòng điện đầu ra và chiều dài của cáp có thể tháo rời, điện áp của nguồn điện đầu ra từ đầu nối này có thể thấp hơn điện áp của nguồn điện được kết nối với đầu nối 24 V IN.
 - Cáp có thể tháo rời (4,5 m): Giảm khoảng 0,50 V ở đầu ra 1 A hoặc giảm 1,00 V ở đầu ra 2 A
 - Cáp có thể tháo rời (12 m) (tùy chọn): Giảm khoảng 1,40 V ở đầu ra 1 A hoặc giảm 2,80 V ở đầu ra 2 A
- Để biết chi tiết về thông số kỹ thuật của đầu nối Fischer 3 chân, hãy tham khảo hướng dẫn vận hành MPC-3628/MPC-3626.

14 Nút ASSIGN (có thể gán) 5

Chuyển đổi chức năng được gán giữa bật/tắt hoặc kích hoạt chức năng sau mỗi lần nhấn. Đèn sáng màu cam khi chức năng được gán được bật hoặc kích hoạt.

Để biết chi tiết về cách gán chức năng, hãy tham khảo hướng dẫn vận hành MPC-3628/MPC-3626.

15 Đèn LED (đỏ)

Hoạt động như đèn REC và chỉ báo lỗi/cảnh báo.

16 Đèn LED (xanh lá)

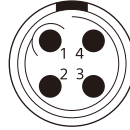
Sáng khi nguồn điện được bật.

17 Bộ chuyển đổi ngàm PL

18 Đầu nối LENS META IN (LEMO 4 chân)

Đầu nối nhập siêu dữ liệu ống kính.

Đầu nối được sử dụng trên thiết bị: LEMO EGG.0B.304.CLL



STT	Signal
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

Giao thức liên lạc: Cooke/i

Mức liên lạc: RS-232C

Đầu nối tương thích thông thường (chỉ tham khảo): LEMO FGG.0B.304.CLAD56

Lưu ý

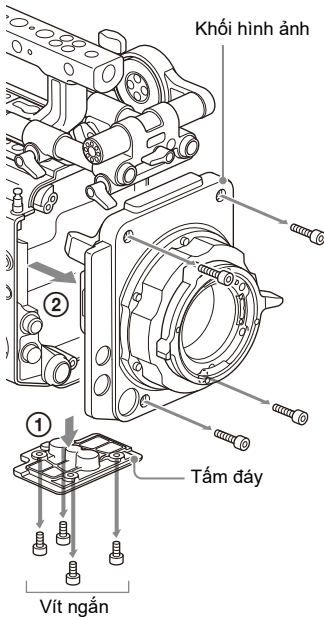
- Để biết chi tiết về các lỗ lắp phụ kiện, hãy xem bản vẽ kích thước bên ngoài ở mặt sau của tài liệu này.
- Trước khi kết nối, tắt cả thiết bị này và thiết bị mà bạn muốn kết nối.
- Hãy đảm bảo kết nối đúng thiết bị truyền thông siêu dữ liệu ống kính tương thích RS-232C. Việc kết nối tín hiệu không đúng có thể làm hỏng thiết bị.

Gắn vào Camera

Lưu ý

- Tắt camera và đợi 30 phút hoặc lâu hơn để camera đủ nguội trước khi gắn/tháo thiết bị. Thực hiện thao tác nhanh chóng ở nơi không có bụi để tránh bụi và các vật chất khác xâm nhập vào camera và bộ chuyển đổi.
- Cần thận không làm hỏng các đầu nối và các bộ phận.
- Lỗi truyền dữ liệu có thể xảy ra nếu có bụi hoặc vật chất khác bám vào các đầu nối bộ chuyển đổi. Nếu điều này xảy ra, hãy làm sạch đầu nối.

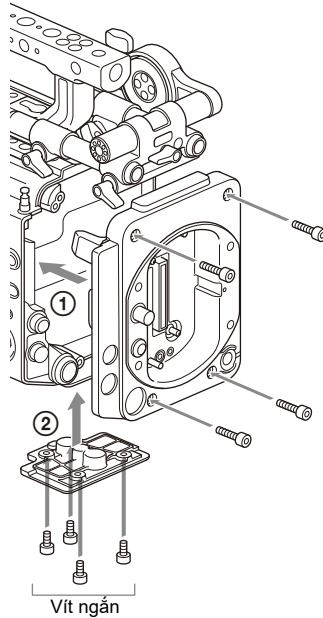
- 1 **Tháo bốn vít lục giác ở phía dưới và tháo tấm đáy (①), sau đó tháo bốn vít lục giác ở mặt trước và tháo khối hình ảnh ra khỏi phần thân camera (②).**



Lưu ý

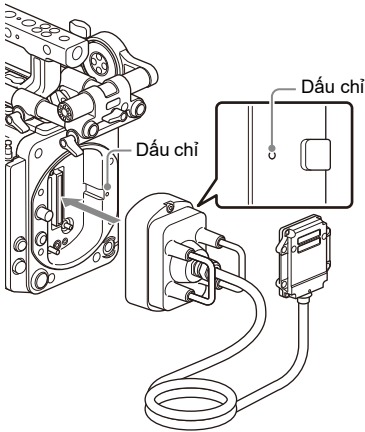
Úp mặt ống kính xuống khi đặt khối hình ảnh đã tháo trên một bề mặt phẳng. Nếu mặt tấm tản nhiệt được đặt úp xuống, khoảng cách mặt sau của mặt bích (tiêu cự mặt bích) có thể thay đổi.

- 2 **Gắn bộ chuyển đổi phần thân camera (①) rồi gắn tấm đáy (②).** Căn chỉnh và gắn bằng tám vít lục giác, được tháo trong bước 2, rồi siết chặt bằng cờ lê lục giác (mô-men siết là 1,4 N·m).



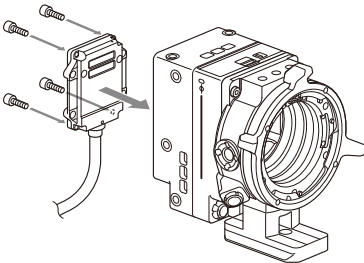
3 Gắn bộ thu cáp có thể tháo rời vào bộ chuyển đổi phần thân camera.

Căn chỉnh với các dấu chỉ số trên các cạnh của bộ thu rồi gắn bằng hai vít lục giác và siết chặt bằng cờ lê lục giác (mô-men siết là 1,4 N·m).



4 Gắn bộ thu phát của cáp có thể tháo rời vào đầu camera.

Căn chỉnh và gắn bằng bốn vít lục giác đi kèm và siết chặt bằng cờ lê lục giác (mô-men siết là 1,4 N·m).



Lưu ý

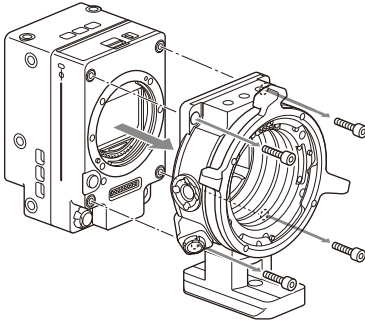
Nếu bộ chuyển đổi phần thân camera, cáp có thể tháo rời và đầu camera không được gắn chắc chắn, MPC-3628/MPC-3626 sẽ không khởi động. Gắn các thiết bị chắc chắn.

Tháo khỏi camera

- 1 Tháo bộ thu phát khỏi camera.
- 2 Tháo bộ thu ra khỏi bộ chuyển đổi phần thân camera.
- 3 Tháo bộ chuyển đổi phần thân camera ra khỏi phần thân camera.
- 4 Gắn khối hình ảnh vào phần thân camera (mô-men siết là 1,4 N·m).

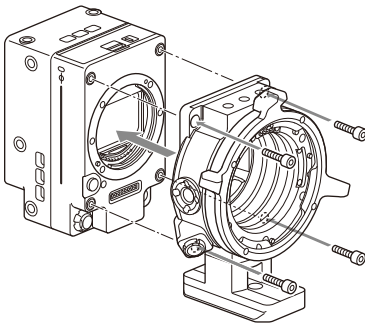
Tháo bộ chuyển đổi ngàm PL

Tháo bốn vít lục giác bằng cờ lê lục giác và tháo bộ chuyển đổi ngàm PL khỏi đầu camera.



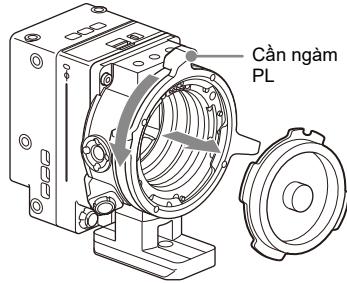
Gắn bộ chuyển đổi ngàm PL

Căn chỉnh và gắn bằng bốn vít lục giác đi kèm và siết chặt bằng cờ lê lục giác (mô-men siết là 1,4 N·m).



Gắn ống kính ngàm PL

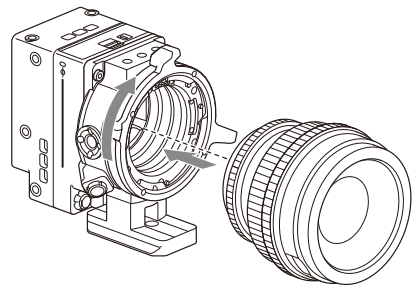
- 1 Tháo nắp ngàm khỏi ngàm ống kính bằng cách xoay cần ngàm PL ngược chiều kim đồng hồ.



Lưu ý

Xoay cần ngàm PL ngược chiều kim đồng hồ đến vị trí chặn.

- 2 Lắp ống kính vào ngàm ống kính bằng cách căn chỉnh phần lõm của ống kính với chốt định vị ở phía trên bên phải của ngàm ống kính.
- 3 Cố định ống kính bằng cách xoay cần ngàm PL theo chiều kim đồng hồ trong khi giữ ống kính.



Lưu ý

Không xoay ống kính khi lắp ống kính ngàm PL. Thao tác này có thể khiến chốt ngàm phụ kiện rời bị hỏng.

Gắn ống kính Cooke /i

Căn chỉnh các điểm tiếp xúc trên ống kính với ngàm phụ kiện rời của thiết bị.

Tháo ống kính

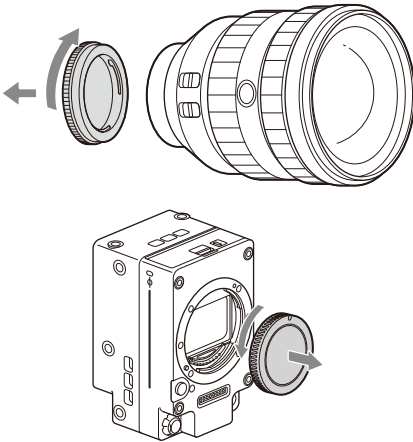
- 1 Xoay cần ngàm PL ngược chiều kim đồng hồ trong khi giữ ống kính từ bên dưới.
- 2 Kéo ống kính về phía trước.

Lưu ý

- Nếu không lắp một ống kính khác vào sớm, hãy căn chỉnh cẩn thận phần lõm của nắp ngàm, sau đó cố định nắp ngàm bằng cách xoay cần ngàm PL theo chiều kim đồng hồ.
- Để giao tiếp I/F với ống kính chính xác, hãy đặt cài đặt Lens Configuration trong MPC-3628/MPC-3626 để phù hợp với ống kính đang sử dụng. Để biết chi tiết về cấu hình, hãy tham khảo hướng dẫn vận hành MPC-3628/MPC-3626.

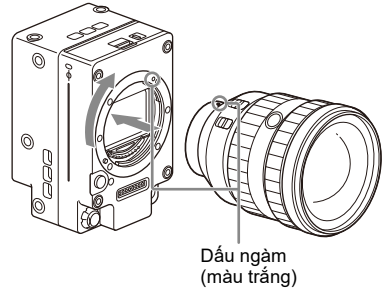
Gắn ống kính ngàm E

- 1 Tháo nắp và vỏ khỏi thiết bị và ống kính.



- 2 Căn chỉnh dấu ngàm ống kính (màu trắng) với thiết bị, cẩn thận lắp ống kính vào, sau đó xoay ống kính theo chiều kim đồng hồ.

Có thể nghe thấy tiếng click khi ống kính khóa vào vị trí.



Lưu ý

Không nhấn nút nhả ống kính khi gắn ống kính.

Tháo ống kính

Tháo ống kính theo quy trình sau.

- 1 Nhấn và giữ nút nhả ống kính và xoay ống kính ngược chiều kim đồng hồ trong khi đỡ ống kính.
- 2 Kéo ống kính về phía trước.

Lưu ý

- Khi tháo ống kính, căn chỉnh dấu gắn trên vòng khóa ống kính với dấu gắn trên máy quay.
- Cầm chắc ống kính trong tay để tránh làm rơi ống kính.
- Nếu không gắn ống kính khác ngay lập tức, hãy luôn gắn nắp thân máy.

Điều chỉnh độ dài tiêu cự mặt bích

Thiết bị được vận chuyển với độ dài tiêu cự mặt bích đã được điều chỉnh. Nếu bạn cần điều chỉnh độ dài tiêu cự mặt bích, hãy tháo ngàm ống kính và thay các miếng chêm bằng các miếng chêm có độ dày thích hợp. Bạn có thể điều chỉnh độ dày thêm $\pm 0,1$ mm với gia số 0,01 mm.

Miếng chêm

Các miếng chêm sau được cung cấp cùng với thiết bị.

0,05 mm \times 1 (hình tròn)

0,01 mm \times 15 (1/3 vòng cung)

Các miếng chêm 1/3 vòng cung phải luôn được sử dụng như một bộ ba miếng chêm. Chèn miếng chêm để tăng tiêu cự mặt bích. Thiết bị được vận chuyển với độ dài tiêu cự mặt bích đã được điều chỉnh bằng ba loại miếng chêm sau.

0,10 mm (hình tròn)

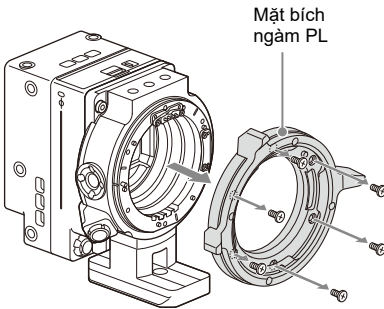
0,05 mm (hình tròn)

0,01 mm (1/3 vòng cung)

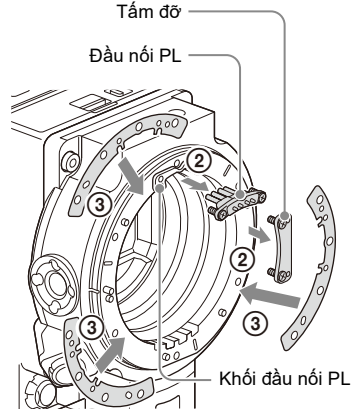
Một con dấu được đính kèm cho thấy độ dày của miếng chêm khi vận chuyển.

Điều chỉnh độ dài tiêu cự mặt bích

1 Tháo sáu vít Torx và tháo mặt bích ngàm PL.

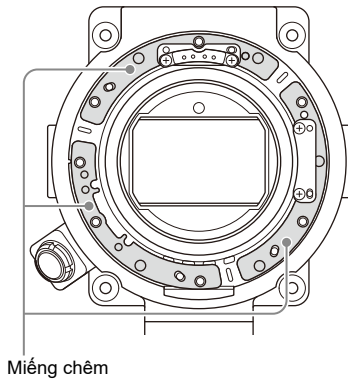


- 2 Nới lỏng bốn vít Phillips giữ chặt đầu nối PL và tấm đỡ, rồi tháo đầu nối PL, khối đầu nối PL và tấm đỡ.
- 3 Gắn miếng chêm vào bộ chuyển đổi ngàm PL (ba vị trí).

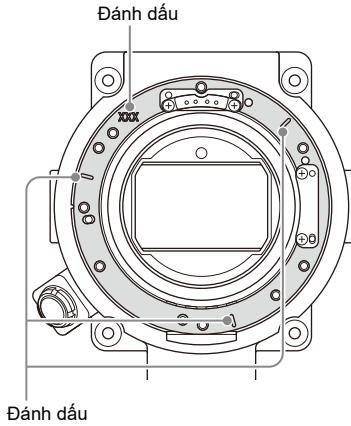


Khi sử dụng miếng chêm 1/3 vòng cung

Gắn các miếng chêm sao cho chúng có cùng độ dày ở cả ba vị trí.



Khi sử dụng miếng chêm hình tròn
Gắn với bề mặt có đánh dấu hướng về phía trước.



Tháo kính lọc ND

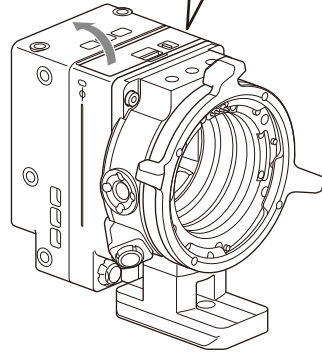
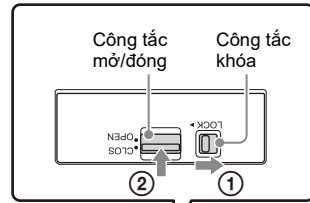
Lưu ý

Tránh chạm trực tiếp vào bề mặt để tránh trầy xước hoặc để lại dấu vân tay trên kính lọc. Khi lắp hoặc tháo bộ lọc, hãy cầm vào khung.

1 Mở nắp của khối khe cắm kính lọc ND.

Đẩy công tắc khóa sang phải để mở khóa nắp (①) và đẩy công tắc mở/đóng đến vị trí OPEN (②).

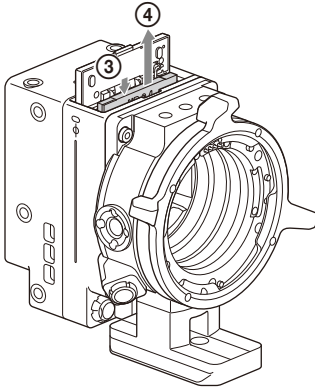
Kính lọc ND sẽ được đẩy ra một chút.



2 Nhẹ nhàng nhấn vào kính lọc ND (③).

Khóa được nhả ra và kính lọc ND được đẩy ra hoàn toàn.

3 Tháo kính lọc ND (④).



Lưu ý

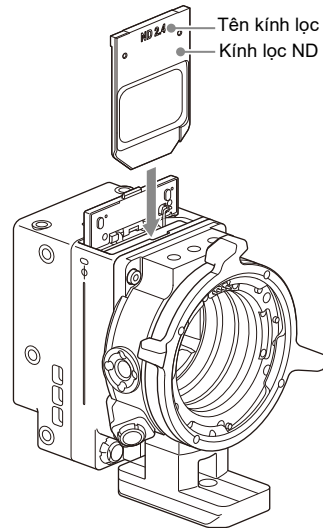
Nếu kính lọc ND bị đẩy vào, kính lọc sẽ bị khóa lại. Nếu bị khóa, đóng nắp của khối khe cắm kính lọc ND và bắt đầu lại từ bước 1.

Lắp kính lọc ND

1 Mở nắp của khối khe cắm kính lọc ND.

2 Lắp kính lọc ND với mặt có tên kính lọc hướng về phía trước vào khe cắm cho đến khi khớp vào vị trí.

Lắp kính lọc ND như trong sơ đồ sau, chú ý đến hướng thẳng đứng và bề mặt trước/sau.



3 Đóng nắp và đẩy công tắc mờ/đóng đến vị trí CLOSE.

Khi đóng nắp, kính lọc ND sẽ được đẩy ra một chút, nhưng đây không phải là sự cố.

4 Đẩy công tắc khóa sang trái để khóa nắp.

Lưu ý

- Mặt đỡ của kính lọc ND được lắp vào được hiển thị trên màn hình kính ngắm/điều khiển của camera.
- Nếu kính lọc ND không được lắp vào hoặc nếu loại kính lọc ND không thể được nhận dạng, một thông báo sẽ được hiển thị trên màn hình phụ của camera và đèn REC sẽ bắt đầu nhấp nháy.

Về thời gian khởi động

Khi bạn kết nối thiết bị chính MPC-3628/ MPC-3626 và CBK-3621XS lần đầu tiên, có thể cần khoảng 5 phút để camera khởi động, tùy thuộc vào tốc độ khung hình dự án và cài đặt chế độ hình ảnh.

Giới thiệu về thời gian vận hành APR

Sau khi thực hiện APR (Auto Pixel Restoration) hoàn tất, cần khoảng 120 giây để lưu dữ liệu. Do đó, sẽ cần khoảng 120 giây để tắt nguồn nếu bạn tắt nguồn trong thời gian này. Ngoài ra, nếu khởi động lại xảy ra do thay đổi cài đặt, hoạt động khởi động lại sẽ được kéo dài thêm khoảng 120 giây.

Kiểm tra và Bảo trì

Kiểm tra trước khi ghi hình

Kiểm tra thiết bị trước khi ghi hình để đảm bảo hệ thống hoạt động bình thường.

Làm sạch

Dùng vải khô, mềm lau sạch bụi bẩn bên ngoài và bột kim loại được tạo ra khi gắn/ tháo. Trong trường hợp nghiêm trọng, hãy dùng một miếng vải được làm ẩm với một ít chất tẩy rửa trung tính, sau đó lau khô.

Không sử dụng dung môi hữu cơ, chẳng hạn như cồn hoặc chất pha loãng, vì những dung môi này có thể gây đổi màu hoặc hư hỏng lớp hoàn thiện khác của thiết bị.

Không làm sạch thiết bị bằng máy thổi khí.

Bụi và các hạt khác lơ lửng trong không khí có thể xâm nhập vào thiết bị và gây trục trặc. Ngoài ra, tránh làm sạch bằng thiết bị áp suất không khí cao, chẳng hạn như máy hút bụi không khí, vì những thiết bị này có thể làm hỏng các bộ phận quang học.

- Việc sử dụng thiết bị có bụi bẩn bám vào đầu nối giữa phần thân camera và khối cảm biến có thể gây ra lỗi hoặc trục trặc. Khi bảo quản, hãy cẩn thận không để bụi bẩn tích tụ.
- Nếu các điểm tiếp xúc của đầu nối loại pogo pin bị bẩn, kết nối kém có thể gây ra trục trặc. Nếu xảy ra lỗi hoặc sự cố khác, hãy nhẹ nhàng lau sạch bụi bẩn bằng vải mềm hoặc tăm bông.
- Dây cáp có thể bị xoắn và rối nếu cuộn thành một vòng. Quấn cáp theo hình số 8.

Lưu ý về Kết nối Thiết bị

- Không thể sử dụng bộ thu âm thanh không dây của Sony để kết nối CBK-3621XS.

Lưu ý khi Xử lý Dây cáp

- Không nghiêng, uốn cong hoặc làm hỏng dây cáp.
- Hãy cẩn thận khi cuộn và lắp đặt dây cáp để dây cáp không bị xoắn mạnh.
- Đường kính cuộn dây tối thiểu để đảm bảo hoạt động của dây cáp: 45 mm trở lên

Thông số kỹ thuật

Thông tin chung

Mức tiêu thụ điện năng

Khoảng 15 W (tối đa)
(5.5K 2.39:1 120 FPS)

Nhiệt độ hoạt động

0 °C đến 40 °C

Nhiệt độ lưu trữ

-20 °C đến +60 °C

Kích thước bên ngoài

Tham khảo mặt sau của tài liệu này.

Khối

Đầu camera

Khoảng 0,54 kg

Đầu camera + bộ chuyển đổi ngàm PL

Khoảng 1,05 kg

Cáp 4,5 m

Khoảng 0,86 kg

Bộ chuyển đổi phần thân camera

Khoảng 0,36 kg

Đầu nối đầu vào/đầu ra

Đầu nối 24 V IN (Fischer 3 chân) (1)

Đầu nối 24 V OUT (Fischer 3 chân) (1)

Đầu nối LENS META IN (LEMO 4 chân)

(1)

Phụ kiện đi kèm

Kính lọc ND (9)

Miếng chêm (hình tròn) (1) (4-730-328-11)

Miếng chêm (1/3 vòng cung) (15)

(4-730-328-21)

Nắp ống kính ngàm E (1)

Nắp ống kính ngàm PL (1)

Vít cho bộ thu (2) (5-000-390-02)

Hướng dẫn vận hành (1)

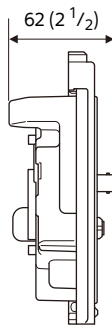
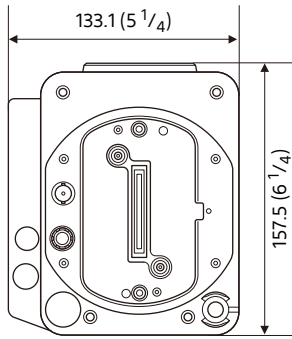
Bảo hành (1)

Thiết kế và thông số kỹ thuật có thể thay đổi mà không cần thông báo.

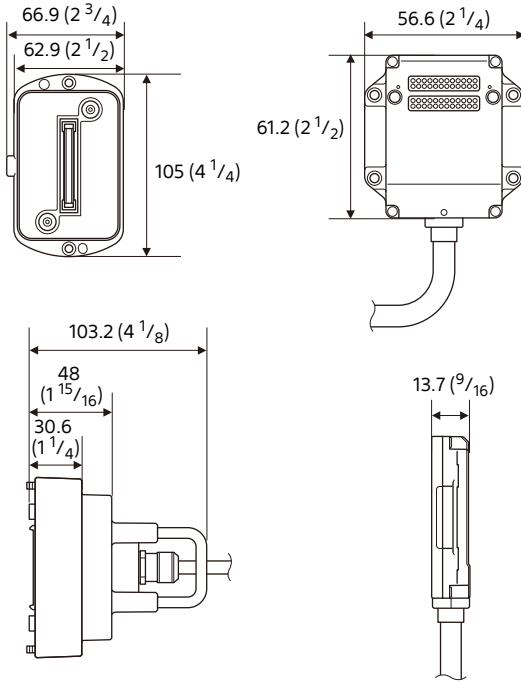
Lưu ý

- Hãy luôn đảm bảo rằng thiết bị hoạt động bình thường trước khi sử dụng. SONY SẼ KHÔNG CHỊU TRÁCH NHIỆM PHÁP LÝ CHO BẤT KỲ THIỆT HẠI NÀO, BAO GỒM NHƯNG KHÔNG GIỚI HẠN, KHÔNG CHỊU TRÁCH NHIỆM BỒI THƯỜNG CHO NHỮNG LỢI NHUẬN BỊ MẤT Ở THỜI ĐIỂM HIỆN TẠI HOẶC TƯƠNG LAI DO LỖI CỦA THIẾT BỊ NÀY, DÙ LÀ TRONG THỜI GIAN BẢO HÀNH HAY SAU KHI ĐÃ HẾT BẢO HÀNH HOẶC VÌ BẤT KỲ LÝ DO GÌ.
- SONY SẼ KHÔNG CHỊU TRÁCH NHIỆM VỀ PHÁP LÝ VỚI BẤT KỲ YẾU CẦU ĐÒI BỒI THƯỜNG NÀO CỦA NGƯỜI DÙNG THIẾT BỊ HOẶC CỦA BÊN THỨ BA.
- SONY SẼ KHÔNG CHỊU TRÁCH NHIỆM PHÁP LÝ VỀ VIỆC CHẤM DỨT HOẶC NGỪNG BẤT KỲ DỊCH VỤ LIÊN QUAN ĐẾN THIẾT BỊ NÀY VÌ BẤT KỲ LÝ DO NÀO.

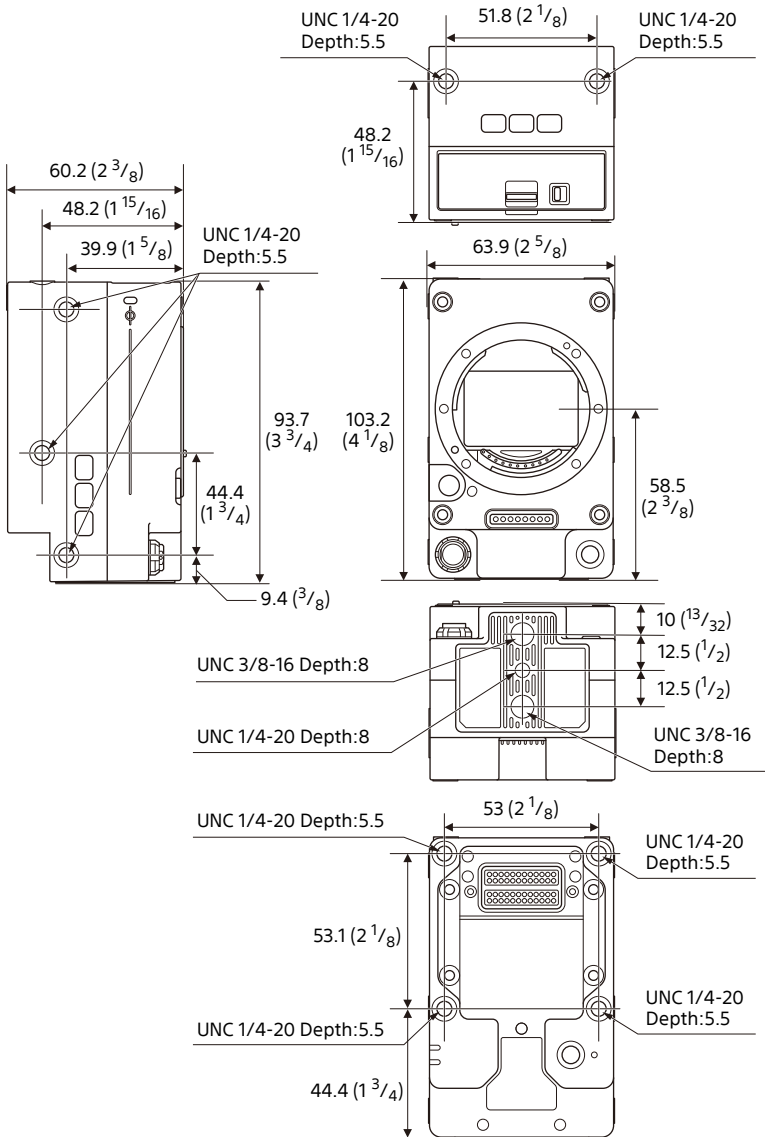
Unit: mm (inches)



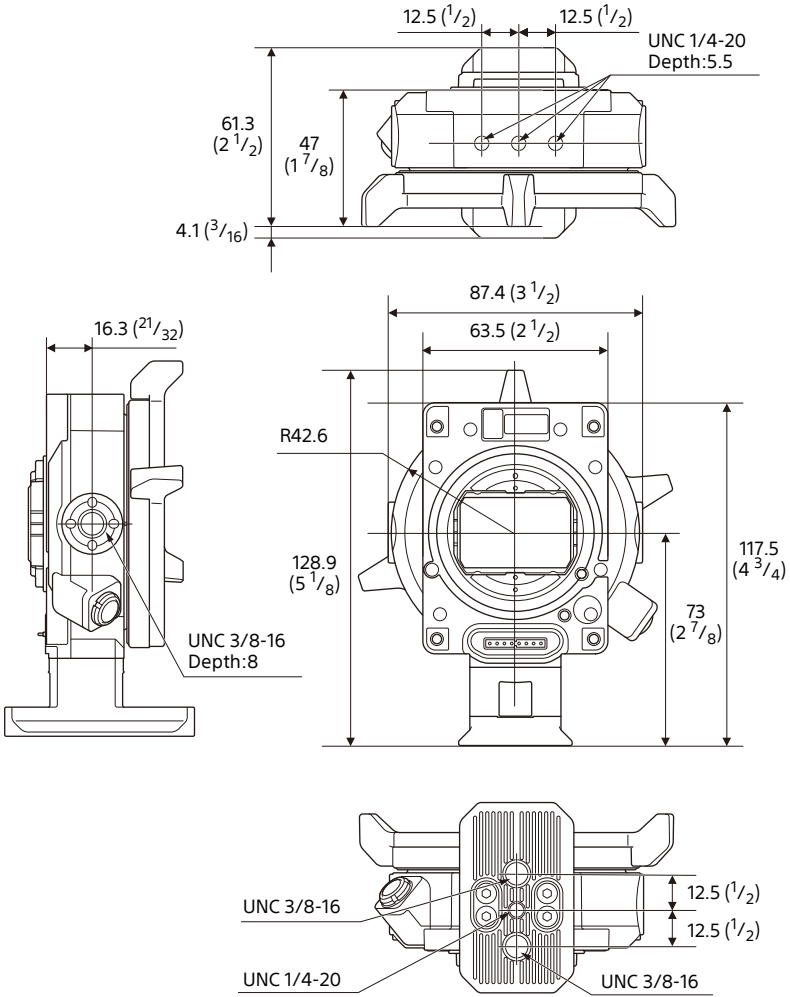
Unit: mm (inches)



Unit: mm (inches)



Unit: mm (inches)



المواصفات

عام

استهلاك الطاقة

حوالي 15 واط (بحد أقصى) (1:2.39 5.5K FPS 120)

درجة حرارة التشغيل

من 0 درجة مئوية إلى 40 درجة مئوية

درجة حرارة التخزين

من -20 درجة مئوية إلى +60 درجة مئوية

الأبعاد الخارجية

ارجع إلى الجزء الخلفي من هذا المستند.

الوزن

رأس الكاميرا

حوالي 0.54 كجم

رأس الكاميرا + محوّل PL-mount

حوالي 1.05 كجم

كابل بطول 4.5 م

حوالي 0.86 كجم

مهايئ جسم الكاميرا

حوالي 0.36 كجم

موصلات الدخل/الخرج

موصل 24 V IN (فيشر 3 سنون) (1)

موصل 24 V OUT (فيشر 3 سنون) (1)

موصل LENS META IN (موصل LEMO ذو

4 دبابيس) (1)

الكماليات المرفقة

مرشحات ND (9)

رفادة (دائرية) (1) (11-328-730-4)

رفادات (1/3 مقوسة) (15) (21-328-730-4)

غطاء عدسة E-mount (1)

غطاء عدسة PL-mount (1)

براغي للمستقيم (2) (2-390-000-5)

تعليمات التشغيل (1)

الضمان (1)

التصميم والمواصفات عرضة للتغيير دون إشعار.

ملاحظات

- تأكد دائمًا من أن الوحدة تعمل بشكل صحيح قبل استخدامها. لن تتحمل شركة SONY المسؤولية عن التلفيات من أي نوع ويتضمن ذلك، على سبيل المثال لا الحصر، التعويض أو سداد قيمة خسارة الأرباح الحالية أو المحتملة بسبب فشل الوحدة، وذلك سواء أثناء فترة الضمان أو بعد انتهائها أو لأي سبب آخر مهما كان.
- لن تتحمل شركة SONY المسؤولية عن المطالبات من أي نوع والتي يتقدم بها مستخدمو هذه الوحدة أو التي يتقدم بها أطراف ثالثة.
- لن تتحمل شركة SONY المسؤولية عن إنهاء أي خدمة من الخدمات المرتبطة بهذه الوحدة أو وقفها والتي قد تنتج بسبب الظروف من أي نوع.

ملاحظات حول مناولة الكابلات

- لا تسحق الكابل أو تثنيه أو تتلفه.
- كن حذرًا عند لف الكابل وتثبيتته حتى لا يتعرض الكابل للالتواء القوي.
- الحد الأدنى لقطر الملف من أجل تشغيل الكابل بشكل مضمون: 45 ملم أو أكبر

ملاحظات حول توصيلات الجهاز

- لا يمكن استخدام مُستقبل الصوت اللاسلكي من سوني لتوصيل جهاز CBK-3621XS.

الفحص والصيانة

حول وقت بدء التشغيل

عند توصيل وحدة التحكم الرئيسية MPC-3628/MPC-3626 وCBK-3621XS للمرة الأولى، قد يستغرق تشغيل الكاميرا نحو 5 دقائق، وذلك حسب إعدادات معدل الإطارات الخاصة بالمشروع وضع المصور.

الفحص قبل التصوير

افحص الوحدة قبل التصوير للتأكد من عمل النظام بشكل طبيعي.

التنظيف

امسح الأوساخ الموجودة على الجزء الخارجي وأي مسحوق معدني ناتج عن التوصيل/الإزالة باستخدام قطعة قماش ناعمة وجافة. وفي حالات الاتساخ الشديد، استخدم قطعة قماشية مبللة بمنظف محايد، ثم امسحها حتى تجف. لا تستخدم مذيبيات عضوية مثل الكحول أو التتر، فقد تتسبب هذه المواد في تغير اللون أو أي ضرر آخر للطبقة الخارجية للوحدة.

لا تنظف الوحدة باستخدام منفاخ الهواء. قد يدخل الغبار والجسيمات الأخرى العالقة في الهواء إلى الوحدة مسببة حدوث خلل. بالإضافة إلى ذلك، امتنع عن التنظيف باستخدام معدات ضغط الهواء العالي مثل، المنظف الهوائي لأنها قد تتسبب في تلف المكونات البصرية.

- قد يؤدي استخدام الوحدة مع وجود أوساخ أو غبار ملتصق بالموصل الموجود بين جسم الكاميرا ومجموعة المستشعر إلى حدوث فشل أو عطل. عند التخزين، احرص على عدم تراكم الأوساخ.
- إذا اتسخت نقاط التوصيل الخاصة بموصلات نوع pogo pin، فقد يؤدي الاتصال الضعيف إلى حدوث عطل. في حال حدوث خطأ أو مشكلة أخرى، امسح الأوساخ برفق باستخدام قطعة قماش ناعمة أو عود قطن.
- قد يصبح الكابل ملتويًا ومتشابكًا إذا تم لفه في حلقة واحدة. قم بلف الكابل على شكل رقم ثمانية بالإنجليزية.

حول وقت تشغيل APR

بعد انتهاء تنفيذ APR (Auto Pixel Restoration)، يستغرق حفظ البيانات نحو 120 ثانية. ومن ثم، إذا قمت بإيقاف تشغيل الطاقة خلال هذه الفترة، فسيستغرق انطفاء الطاقة نحو 120 ثانية. كذلك، إذا حدثت إعادة تشغيل نتيجة لتغيير الإعدادات، فستمتد عملية إعادة التشغيل بنحو 120 ثانية.

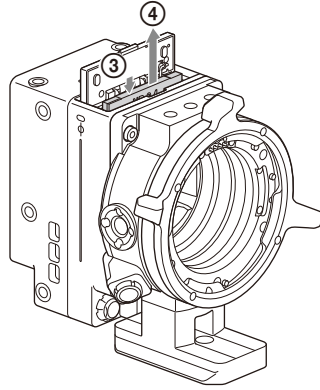
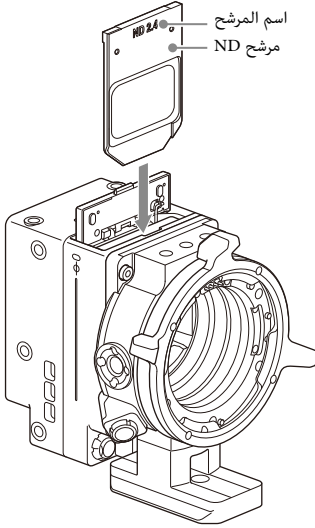
2 اضغط برفق على مرشح ND (3).
يتم تحرير القفل ويخرج مرشح ND بالكامل.

3 قم بإزالة مرشح ND (4).

1 افتح غطاء مجموعة فتحة مرشح ND.

2 أدخل مرشح ND بحيث يكون جانب اسم المرشح
مواجهاً للأمام في فتحة مرشح ND حتى يصدر صوت
طققة بعد استقراره مكانه.

أدخل مرشح ND كما هو موضح في المخطط التالي، مع
الانتباه إلى الاتجاه العمودي والسطحين الأمامي والخلفي.



ملاحظة

إذا تم دفع مرشح ND إلى الداخل، فسيتم إعادة قفله. في حال
القفل، أغلق غطاء كتلة فتحة مرشح ND وابدأ من الخطوة 1
مجدداً.

3 أغلق الغطاء وادفع مفتاح الفتح/الإغلاق إلى وضع
.CLOSE

عند إغلاق الغطاء، قد يتم دفع مرشح ND قليلاً للخارج،
لكن هذا ليس عطلاً.

4 ادفع مفتاح القفل إلى اليسار لقفل الغطاء.

ملاحظات

- تم عرض كثافة مرشح ND المُدرج على شاشة الباحث/المراقب
الخاص بالكاميرا.
- إذا لم يتم إدخال مرشح ND أو لم يتم التعرف على نوعه، فسيتم
عرض رسالة على الشاشة الفرعية للكاميرا وسيبدأ مصباح REC
بالوميض.

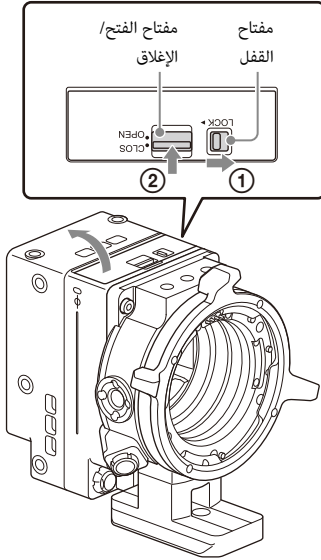
إزالة مرشح ND

ملاحظة

تجنب لمس السطح مباشرة لمنع حدوث خدوش أو ترك بصمات الأصابع على المرشح. عند تركيب المرشح أو إزالته، أمسكه من الإطار.

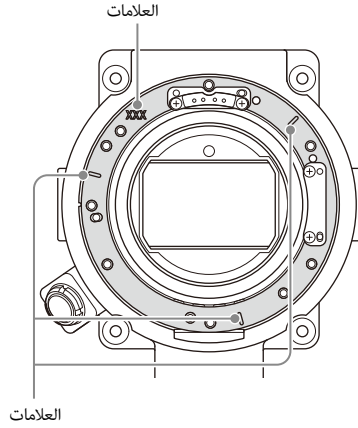
1 افتح غطاء مجموعة فتحة مرشح ND.

ادفع مفتاح القفل إلى اليمين لإلغاء قفل الغطاء (1)، ثم ادفع مفتاح الفتح/الإغلاق إلى وضع OPEN (2).
يتم إخراج مرشح ND قليلاً.



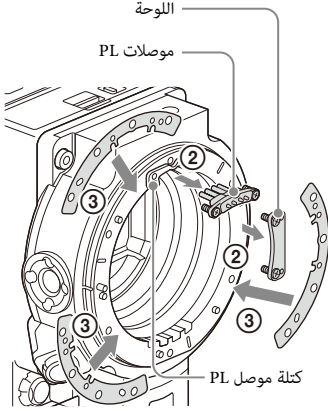
عند استخدام رفادات دائرية

ركبها بحيث يواجه السطح الذي يحتوي على علامات الجهة الأمامية.



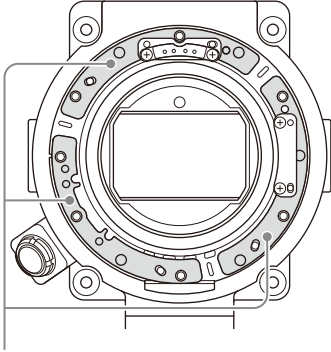
2 فك البراغي الأربعة متقاطعة الرأس الأربعة التي تثبت موصلات PL واللوحة، ثم قم بإزالة موصلات PL، وكتلة موصل PL، واللوحة.

3 ركب الرفادات على محول PL-mount (في ثلاث مواقع).



عند استخدام رفادات 1/3 قوسية

ركب الرفادات بحيث تكون سماكتهم متماثلة في الثلاثة مواقع.



الرفادات

ضبط الطول البؤري للوحدة

يتم شحن الوحدة بعد أن يتم بالفعل ضبط الطول البؤري للوحدة. إذا كنت تحتاج إلى ضبط الطول البؤري للوحدة، فقم بإزالة حامل العدسة وتغيير الرفادات بأخرى ذات سماكة مناسبة. يمكنك تعديل السماكة بمقدار ± 0.1 مم من خلال زيادات متدرجة بمقدار 0.01.

الرفادات

تتوفر الرفادات التالية مع الوحدة.

0.05 مم \times 1 (دائرية)

0.01 مم \times 15 (1/3 مقوسة)

يجب دائماً استخدام الرفادات 1/3 المقوسة في مجموعات مكونة من 3 رفادات. أدخل الرفادات لزيادة الطول البؤري للوحدة. تُشحن الوحدة بعد أن يتم بالفعل ضبط الطول البؤري للوحدة باستخدام أنواع الرفادات الثلاثة التالية.

0.10 مم (دائرية)

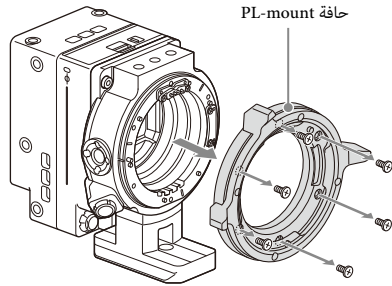
0.05 مم (دائرية)

0.01 مم (1/3 مقوسة)

يوجد ختم مصلباً عليها يوضح سماكة الرفادة عند الشحن.

ضبط الطول البؤري للوحدة

1 أزل البراغي النجمية الستة، ثم أزل حافة PL-mount.



إزالة العدسة

1 أدر ذراع PL-mount عكس اتجاه عقارب الساعة بينما تحمل العدسة من الأسفل.

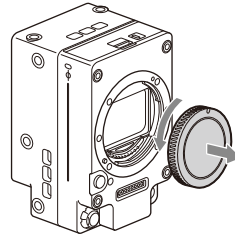
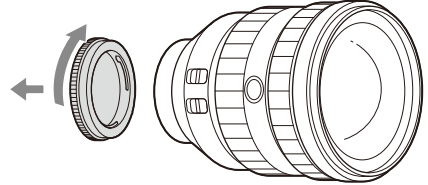
2 اسحب العدسة إلى الأمام.

ملاحظات

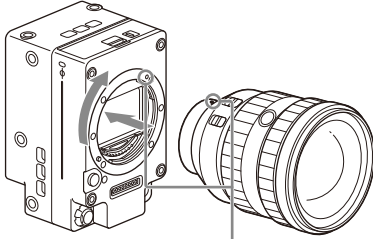
- في حال أنك لن تثبت عدسة أخرى قريبًا، فقم بمحاذاة الجزء المقعر لغطاء الحامل بحرص شديد، ثم أحكم تثبيت غطاء الحامل من خلال تدوير ذراع PL-mount في اتجاه عقارب الساعة.
- لإتمام اتصال I/F صحيح مع العدسة، اضبط إعدادات Lens Configuration على MPC-3628/MPC-3626 لتتوافق مع العدسة المستخدمة. لمزيد من التفاصيل حول الإعدادات، يُرجى الرجوع إلى تعليمات التشغيل الخاصة بـ MPC-3628/MPC-3626.

تركيب عدسة E-mount

1 قم بإزالة الغطاء الخارجي والغطاء الرئيسي من الوحدة والعدسة.



2 قم بمحاذاة علامة تركيب العدسة (بيضاء) مع الوحدة، ثم أدخل العدسة بعناية، ثم قم بتدوير العدسة في اتجاه عقارب الساعة. سيصدر صوت نقرة، ما يشير إلى تثبيتها في مكانها.



علامات التركيب (بيضاء)

ملاحظة

لا تضغط على زر تحرير العدسة أثناء تركيبها.

إزالة العدسة

لإزالة العدسة، اتبع الخطوات التالية.

1 اضغط مع الاستمرار على زر تحرير العدسة، ثم قم بتدوير العدسة عكس اتجاه عقارب الساعة مع دعمها بيدك.

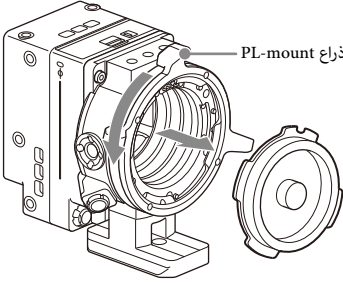
2 اسحب العدسة إلى الأمام.

ملاحظات

- عند إزالة العدسة، قم بمحاذاة علامة التركيب على حلقة قفل العدسة مع علامة التركيب على الكاميرا.
- أمسك العدسة بإحكام لتجنب سقوطها.
- إذا لم يتم تركيب عدسة أخرى على الفور، فاحرص دائمًا على تركيب غطاء الجسم.

تثبيت عدسة PL-mount

- 1 أزل غطاء الحامل من حامل العدسة عن طريق إدارة ذراع PL-mount عكس اتجاه عقارب الساعة.

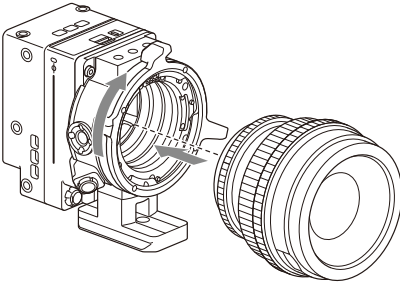


ملاحظة

أدر ذراع PL-mount عكس اتجاه عقارب الساعة حتى موضع الثبات.

- 2 أدخل العدسة في حامل العدسة من خلال محاذاة الجزء المقعر للعدسة مع مسمار تحديد الموضع على الجانب الأيمن العلوي لحامل العدسة.

- 3 أحكم تثبيت العدسة عن طريق إدارة ذراع PL-mount في اتجاه عقارب الساعة بينما تحمل العدسة.



ملاحظة

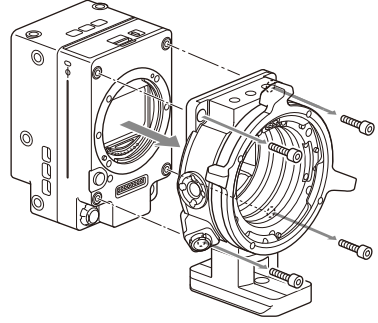
لا تدبر العدسة عند تثبيت العدسة PL-mount. فقد يتسبب ذلك في حدوث ضرر لمسمار قاعدة التثبيت.

لتثبيت عدسة Cooke/i

قم بمحاذاة نقاط التلامس على العدسة مع قاعدة التثبيت الخاصة بالوحدة.

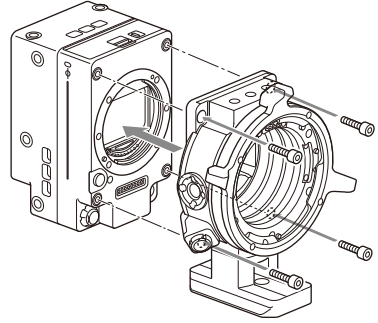
إزالة محول PL-mount

قم بإزالة البراغي السداسية الأربعة باستخدام مفتاح سداسي، ثم قم بإزالة مُحوّل PL-mount من رأس الكاميرا.



لتثبيت مُحوّل PL-mount

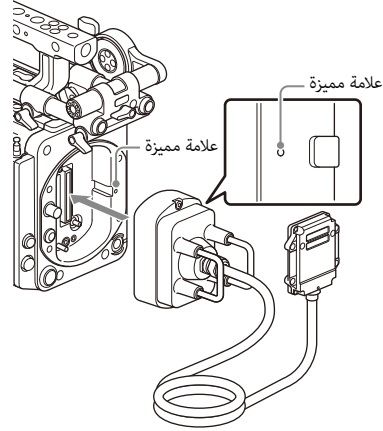
قم بالمحاذاة والتوصيل مستخدمًا البراغي السداسية الأربعة المرفقة، ثم أحكم ربطها مستعينًا بمفتاح ربط سداسي (بعزم ربط يبلغ 1.4 ن.م).



- 1 قم بإزالة المُرسَل المُستقبل من الكاميرا.
- 2 أزل المُستقبل من محول جسم الكاميرا.
- 3 أزل مهايئ جسم الكاميرا من جسم الكاميرا.
- 4 قم بتوصيل وحدة المصور بجسم الكاميرا (بعزم ربط يبلغ 1.4 ن·م).

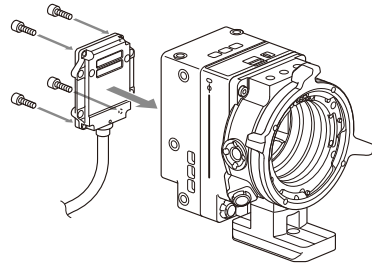
3 ثبّت مستقبل الكابل القابل للفصل في مهايئ جسم الكاميرا.

قم بمحاذاة علامات الإرشاد الموجودة على جوانب المُستقبل، ثم صل مستخدمًا المسمارين السداسيين، وبعدها، قم بالربط باستخدام مفتاح ربط سداسي (بعزم ربط يبلغ 1.4 ن·م).



4 ثبّت جهاز الإرسال والاستقبال الخاص بالكابل القابل للفصل في رأس الكاميرا.

قم بالمحاذاة والتوصيل مستخدمًا البراغي السداسية الأربعة المرفقة، ثم أحكم ربطها مستعينًا بمفتاح ربط سداسي (بعزم ربط يبلغ 1.4 ن·م).



ملاحظة

إذا لم يتم تثبيت مهايئ جسم الكاميرا، أو الكابل القابل للفصل، و رأس الكاميرا بإحكام، فلن يبدأ تشغيل الجهاز MPC-3628/MPC-3626. يُرجى التأكد من تثبيت الأجهزة بإحكام.

ملاحظة

قم بتوجيه جانب العدسة لأسفل عند وضع وحدة المصور التي تمت إزالتها على سطح مستو. إذا تم وضع جانب المشمت الحراري ووجهه لأسفل، فقد تتغير المسافة الخلفية للشقة (المسافة البؤرية للشقة).

التوصيل بالكاميرا

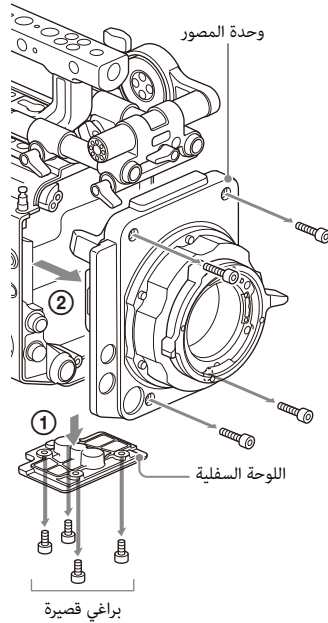
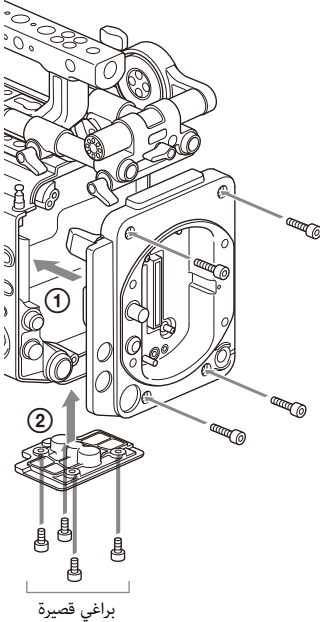
ملاحظات

- قم بإيقاف تشغيل الكاميرا وانتظر لمدة 30 دقيقة أو أكثر للسماح لها بأن تبرد لدرجة كافية قبل توصيل/إزالة الوحدة.
- قم بإجراء العملية بسرعة في مكان خالي من الغبار لمنع دخول الغبار والمواد الأخرى إلى الكاميرا والمهايئات.
- كن حريصاً من إتلاف الموصلات والأجزاء.
- قد يحدث خطأ في نقل البيانات إذا كان هناك أي مقدار من الغبار أو المواد الأخرى الملتصقة بموصلات المهايئ. نظف الموصل في حالة حدوث ذلك.

1 قم بإزالة البراغي الأربعة الموجودة في الأسفل، ومن ثم اللوحة السفلية (1)، ثم أزل البراغي السداسية الأربعة الموجودة في المقدمة، وبعدها وحدة المصور من جسم الكاميرا (2).

2 أرفق مهايئ جسم الكاميرا (1) ثم قم بتوصيل اللوحة السفلية (2).

قم بالمحاذاة والتوصيل مستخدماً البراغي الثمانية سداسية الشكل، التي تمت إزالتها في الخطوة 2، واربطها باستخدام مفتاح ربط سداسي (بعزم ربط يبلغ 1.4 ن.م).

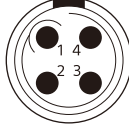


17 محوّل PL-mount

18 موصل LENS META IN (موصل LEMO ذو 4 دبابيس)

موصل إدخال بيانات تعريف العدسة.
الموصل المستخدم في الوحدة:

LEMO EGG.0B.304.CLL



رقم	الإشارة
1	Data IN
2	Data OUT
3	GND
4	NC

بوتوكول التواصل: Cooke/i

مستويات التواصل: RS-232C

موصل متوافق نموذجيًا (للمرجعية فقط):

LEMO FGG.0B.304.CLAD56

ملاحظات

- للتفاصيل حول فتحات تثبيت الملحقات، راجع رسم الأبعاد الخارجية في الجزء الخلفي من هذا المستند.
- قبل التوصيل، تأكد من إيقاف تشغيل كل من الوحدة والجهاز الذي تقوم بتوصيله.
- تأكد من توصيل جهاز اتصال البيانات الوصفية للعدسة المتوافق مع RS-232C بشكل صحيح. قد يؤدي توصيل الإشارة بشكل غير صحيح إلى تلف الجهاز.

10 علامة Φ (فاي)

تشير علامة Φ (فاي) إلى موضع سطح مستشعر الصورة.
استخدم هذه العلامة كمرجع لقياس المسافة بدقة بين الكاميرا والهدف.

11 وحدة E-mount

12 زر تحرير العدسة

13 موصل 24 V OUT (فيشر 3 سنون)

موصل خرج إمداد الطاقة الخارجي.
يقوم بإخراج إمداد الطاقة المتصل بموصل 24 V IN لمهايئ جسم الكاميرا.

يمكن توصيله كمصدر طاقة خارجي لتشغيل محرك عدسة سيرفو أو أي جهاز آخر. إضافةً إلى إمكانية استخدامه لإدخال إشارة تشغيل REC أيضًا.

ملاحظات

- اعتمادًا على تيار الخرج وطول الاابل القابل للفصل، قد يكون جهد خرج مصدر الطاقة من هذا الموصل أقل من جهد إمداد الطاقة المتصل بموصل 24 V IN.
- كابل قابل للفصل بطول 4.5 م: انخفاض الجهد بحوالي 0.50 فولت عند خرج 1 أمبير أو 1.00 فولت عند خرج 2 أمبير
- كابل قابل للفصل بطول 12 م (اختياري): انخفاض الجهد بحوالي 1.40 فولت عند خرج 1 أمبير أو 2.80 فولت عند خرج 2 أمبير
- لمزيد من التفاصيل حول مواصفات موصل Fischer ذي 3 دبابيس، يُرجى الرجوع إلى تعليمات التشغيل MPC-3628/MPC-3626.

14 زر ASSIGN (قابل للتخصيص) رقم 5

يقوم بتبديل الوظيفة المخصصة بين التشغيل/الإيقاف (تمكين/تعطيل) أو تنشيط الوظيفة مع كل ضغطة.
يضيء المصباح باللون البرتقالي عند تشغيل (تمكين) الوظيفة المخصصة أو تنشيطها.
للتفاصيل حول تعيين الوظيفة، راجع تعليمات التشغيل لـ MPC-3628/MPC-3626.

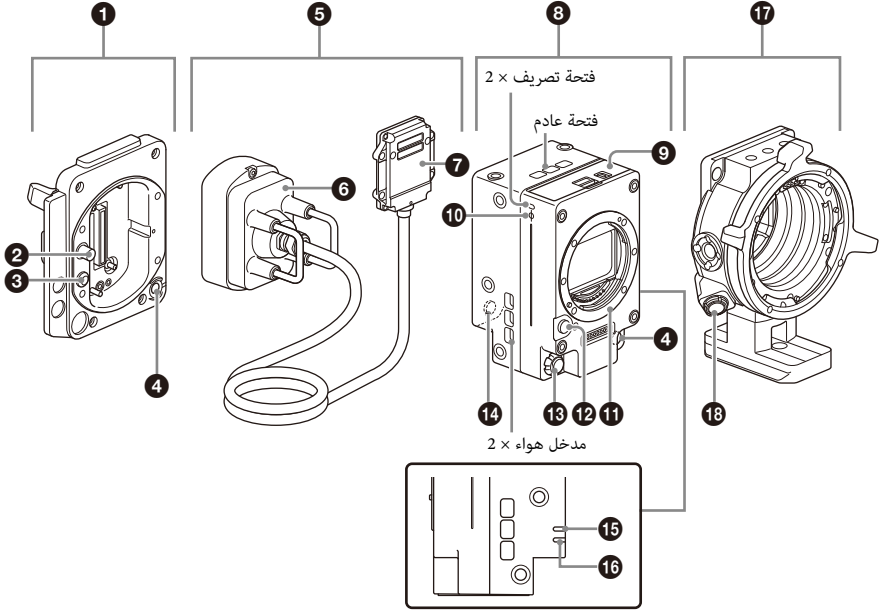
15 LED (أحمر)

يعمل كمصباح REC وإشارة للأخطاء/التحذيرات.

16 مصباح LED (أخضر)

يضيء عند تشغيل مصدر الطاقة.

مكان الأجزاء ووظائفها



1 مهايئ جسم الكاميرا
مهايئ يتم توصيله بجسم الكاميرا لتمديد وحدة المصور.

2 موصل MONITOR IN (نوع BNC)
غير مدعوم.

3 موصل 24 V IN (فيشر 3 سنون)
موصل دخل للإمداد بطاقة التيار المستمر يوفر مصدر طاقة خارجي إلى مهايئ وحدة المصور.

4 زر ASSIGN (قابل للتخصيص) رقم 3
يقوم بتبديل الوظيفة المخصصة بين التشغيل/الإيقاف (تمكين/تعطيل) أو تنشيط الوظيفة مع كل ضغطة. يضيء المصباح باللون البرتقالي عند تشغيل (تمكين) الوظيفة المخصصة أو تنشيطها.

5 الكابل القابل للفصل
كابل تمديد قابل للفصل بطول 4.5 م يربط بين مهايئ جسم الكاميرا ورأس الكاميرا.

6 المُستقبل
مهايئ المُستقبل الذي يتصل بمهايئ جسم الكاميرا.

7 المرسل-المستقبل
مهايئ يتصل برأس الكاميرا.

8 رأس الكاميرا
وحدة المصور مزودة بمستشعر صورة CMOS بدقة 8.6K.

9 وحدة فتحة مرشح ND
فتحة لإدخال مرشحات ND المرفقة.

للتفاصيل حول تعيين الوظيفة، راجع تعليمات التشغيل لـ MPC-3628/MPC-3626.

الميزات

CBK-3621XS عبارة عن طقم تمديد تصوير يمكن توصيله بـ MPC-3628/MPC-3626 (تُبَاع بشكل منفصل).
يمكن استخدام طقم التمديد في مواقف التصوير المختلفة دون التأثير على أداء مجموعة التصوير.

• التمديد حتى 12 م

يتم توصيل CBK-3621XS بين MPC-3628/MPC-3626 وحدة المصور لتمديد الوحدة بنحو 4.5 م. يمكن أيضًا التمديد حتى 12 م من خلال توصيل CBK-12C3621 (اختياري).

• دعم مرشحات ND من النوع القابل للإدخال

يدعم تسعة مرشحات ND قابلة للتبديل (Clear، 0.3، 0.6، 0.9، 1.2، 1.5، 1.8، 2.1، 2.4).

• دعم عدسات PL-mount و E-mount

يمكن استخدام الوحدة مع عدسات من نوع PL-mount أو E-mount. يدعم العدسات نفسها المستخدمة في MPC-3628/MPC-3626.

• دعم الاتصال بالأجهزة الخارجية

إضافة إلى إشارة المستشعر، تنقل الوحدة طاقة 24 فولت إلى وحدة المصور التي يمكن استخدامها لتشغيل محرك العدسة.

• دعم إدخال بيانات تعريف العدسة

يمكن الحصول على معلومات العدسة عبر إدخال بيانات تعريف العدسة من مصدر خارجي.

• مزوّدة بمستشعر صورة CMOS بدقة 8.6K

مزوّدة بمستشعر الصور نفسه المستخدم في MPC-3628. ما يتيح تشغيل الوحدة استنادًا إلى إعدادات MPC-3628.

الاحتياطات الخاصة بالاستخدام

لمنع التداخل الكهرومغناطيسي من أجهزة الاتصالات المحمولة

استخدام الهوائيات المحمولة وأجهزة الاتصالات الأخرى بالقرب من هذه الوحدة قد يسفر عن حدوث خلل وتداخل مع إشارات الصوت والفيديو.

يوصى بإيقاف تشغيل أجهزة الاتصالات المحمولة التي تكون بالقرب من هذه الوحدة.

الظواهر المتعلقة بمستشعر الصورة CMOS الخاص

بالكاميرا

ملاحظة

تخص الظواهر الآتية التي يمكن أن تحدث للصور بمستشعرات الصورة. وهي لا تشير إلى وجود عطب.

البقع البيضاء

على الرغم من إنتاج مستشعرات الصور بتقنية فائقة الدقة، قد تتولد بقع بيضاء دقيقة على الشاشة في حالات نادرة، بسبب الأشعة الكونية، إلخ.

يتعلق هذا الأمر بأساس عمل مستشعرات الصورة ولا يمثل خللاً. تبدو البقع البيضاء مرئية ولا سيما في الحالات الآتية:

- في حالة التشغيل مع ارتفاع درجة حرارة البيئة المحيطة
- إذا قمت برفع الكسب (الحساسية)

وميض الفليكر

في حالة التصوير في ظل إضاءة صادرة عن أضواء فلورسنت، أو مصابيح الصوديوم، أو مصابيح بخار الزئبق، أو LEDs، قد تصدر الشاشة رجفة (فليكر) أو قد تتغير الألوان.

احتياطات متعلقة بمرشحات ND

• طريقة التنظيف

قم بإزالة الغبار والأوساخ من السطح باستخدام فرشاة ناعمة أو منفاخ هواء. إذا كان السطح متسخاً جداً، فببّل قطعة قماش ناعمة أو ورق عدسات بوسائل تنظيف العدسات، ثم امسح السطح بلطف.

• طريقة التخزين

يُحفظ داخل حاوية مرشح ND.

• قد يؤدي تعريض مرشح ND لأشعة الشمس المباشرة لفترات طويلة إلى تدهور الخواص والأداء.

• يجب تحديث الكاميرا إلى إصدار البرنامج التالي أو إلى إصدار أحدث من أجل استخدام هذه الوحدة.

MPC-3628/MPC-3626: الإصدار V4.0 أو أحدث

افصل الوحدة وأعد تجميع الكاميرا إلى حالتها الطبيعية قبل التحديث.

• لا تترك الوحدة في مكان معرض لأشعة الشمس المباشرة. قد تؤدي أشعة الشمس المركزة على الأجسام القريبة إلى نشوب حريق. إذا كان لا بد من ترك الوحدة معرضة لأشعة الشمس المباشرة، فتأكد دائماً من تركيب غطاء العدسة.

• في حالة نقل الوحدة فجأة من مكان بارد إلى مكان دافئ، أو إذا ارتفعت درجة الحرارة المحيطة فجأة، فقد تتكون الرطوبة على السطح الخارجي للوحدة أو داخل الوحدة. وهذا يُعرف بالتكثف. في حالة حدوث التكثف، أوقف تشغيل الوحدة وانتظر حتى زوال التكثف قبل تشغيل الوحدة. قد يؤدي تشغيل الوحدة في حالة وجود التكثف إلى تلف الوحدة.

• يبلغ العمر الافتراضي لمفتاح كشف مرشح ND نحو 5 سنوات.

• قد يؤدي استخدام الوحدة مع وجود أوساخ أو غبار ملتصق بالموصل الموجود بين جسم الكاميرا ومجموعة المستشعر إلى حدوث فشل أو عطل. عند التخزين، احرص على عدم تراكم الأوساخ.

• تعد المروحة من الأجزاء المستهلكة التي تحتاج إلى الاستبدال بصفة دورية.

عند التشغيل في درجة حرارة الغرفة، ستكون دورة الاستبدال العادية حوالي 5 سنوات (8 ساعات في اليوم، 25 يوماً في الشهر).

إذا تخطى الاستخدام معدل الاستخدام الطبيعي المذكور أعلاه، قد يقل العمر المتوقع في المقابل.

مع ذلك، تمثل دورة الاستبدال هذه إرشاداً عاماً فقط ولا تعني أن العمر المتوقع لهذا الجزء مضمون. لمعرفة التفاصيل حول استبدال الأجزاء، اتصل بالموزع.

قبل تشغيل الوحدة، يرجى قراءة هذا الدليل بالكامل والاحتفاظ به للرجوع إليه مستقبلاً.

هذا الجهاز غير مناسب للاستخدام في أماكن من المحتمل فيها تواجد الأطفال.



هذا الرمز يعني «تنبيه»: يرجى الرجوع إلى دليل المستخدم لمعرفة المزيد من المعلومات.»

تنبيه

تم اختبار هذا المنتج وتبين أنه متوافق مع الحدود الواردة في اللائحة الفنية للتوافق الكهرومغناطيسي عند استخدام كابلات للتوصيل طولها أقل من 3 أمتار للمنفذ (المتافذ) التالية:

24 V OUT

LENS META IN

تحذير

قد يؤدي تشغيل هذا الجهاز في بيئة سكنية إلى تداخل لاسلكي.

غير معدّ للاستخدام في البيئات السكنية.

انتبه

قد تؤثر المجالات الكهربائية المغناطيسية عند ترددات معينة على صورة وصوت هذه الوحدة.

للعلماء في الإمارات أوروبا

يجب عدم استخدام هذا الجهاز في منطقة سكنية.